

# 濃尾平野・日光川流域をめぐる 1000年の歷程

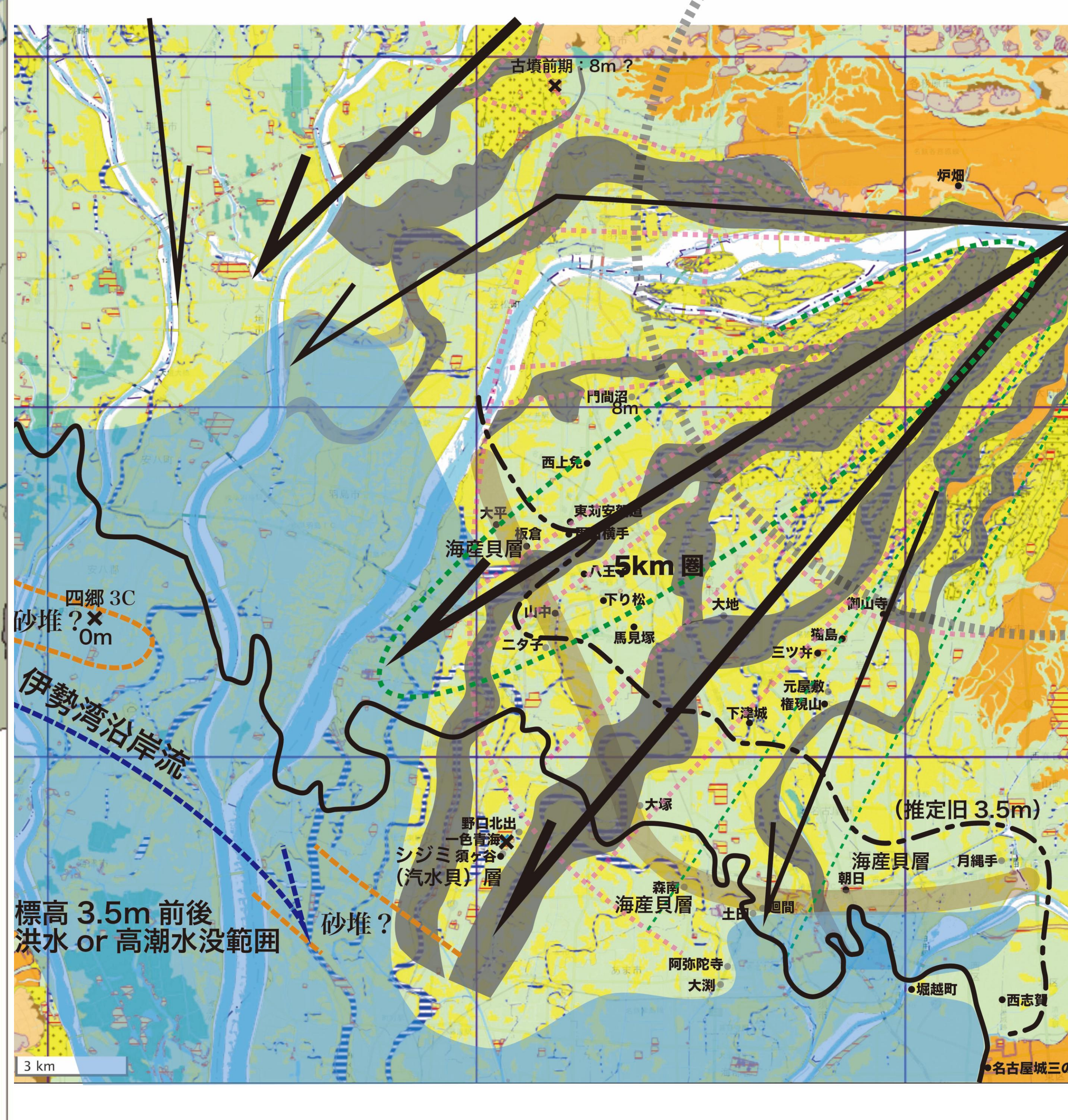
—愛知県—宮市萩原遺跡群の世界—

20260517 石黒立人

国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾空港技術調査事務所  
伊勢湾環境データベースから転載



# 伊勢湾沿岸流

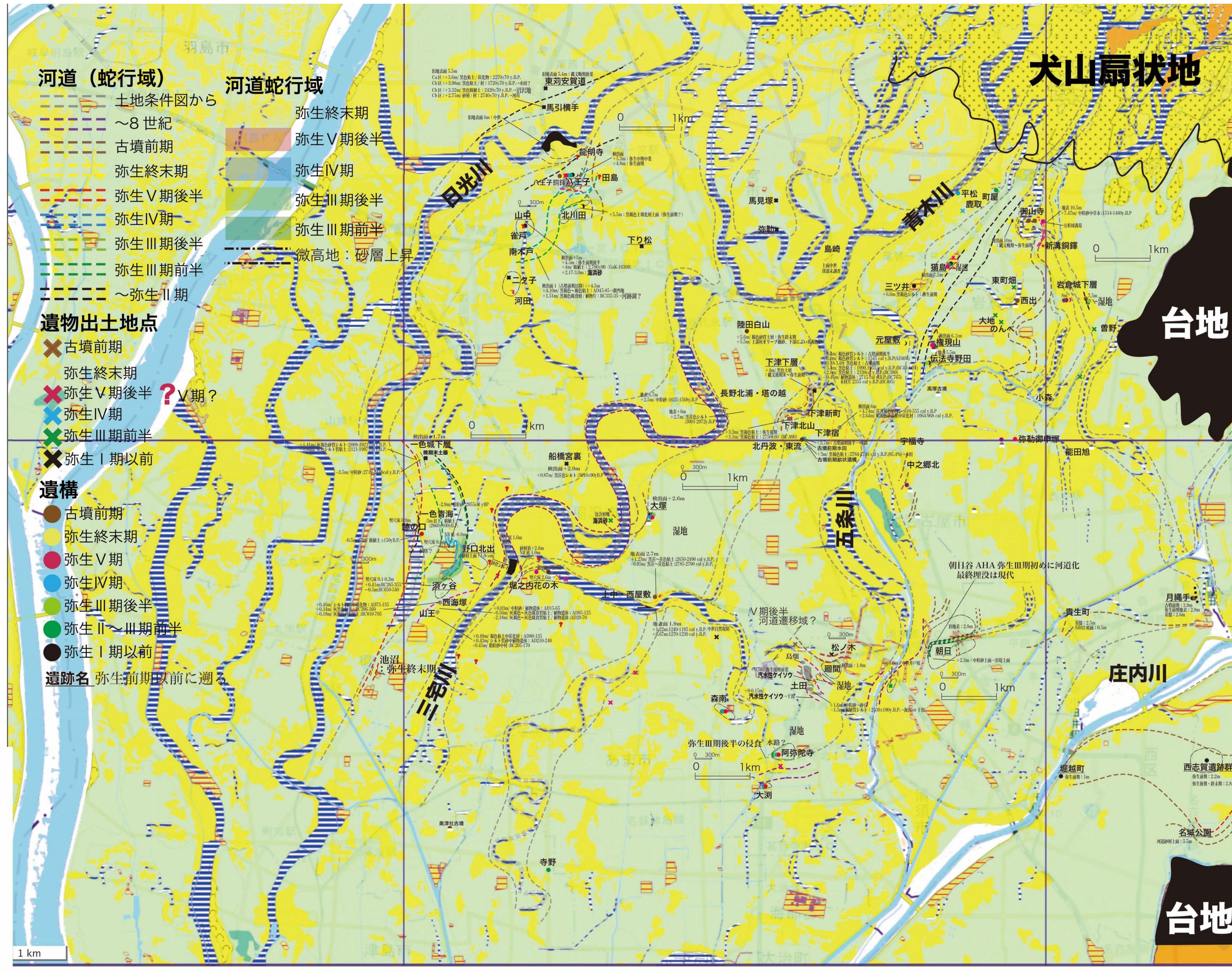


標高 3.5m 前後  
洪水 or 高潮水没範囲

砂堆?

(推定旧 3.5m)

3 km



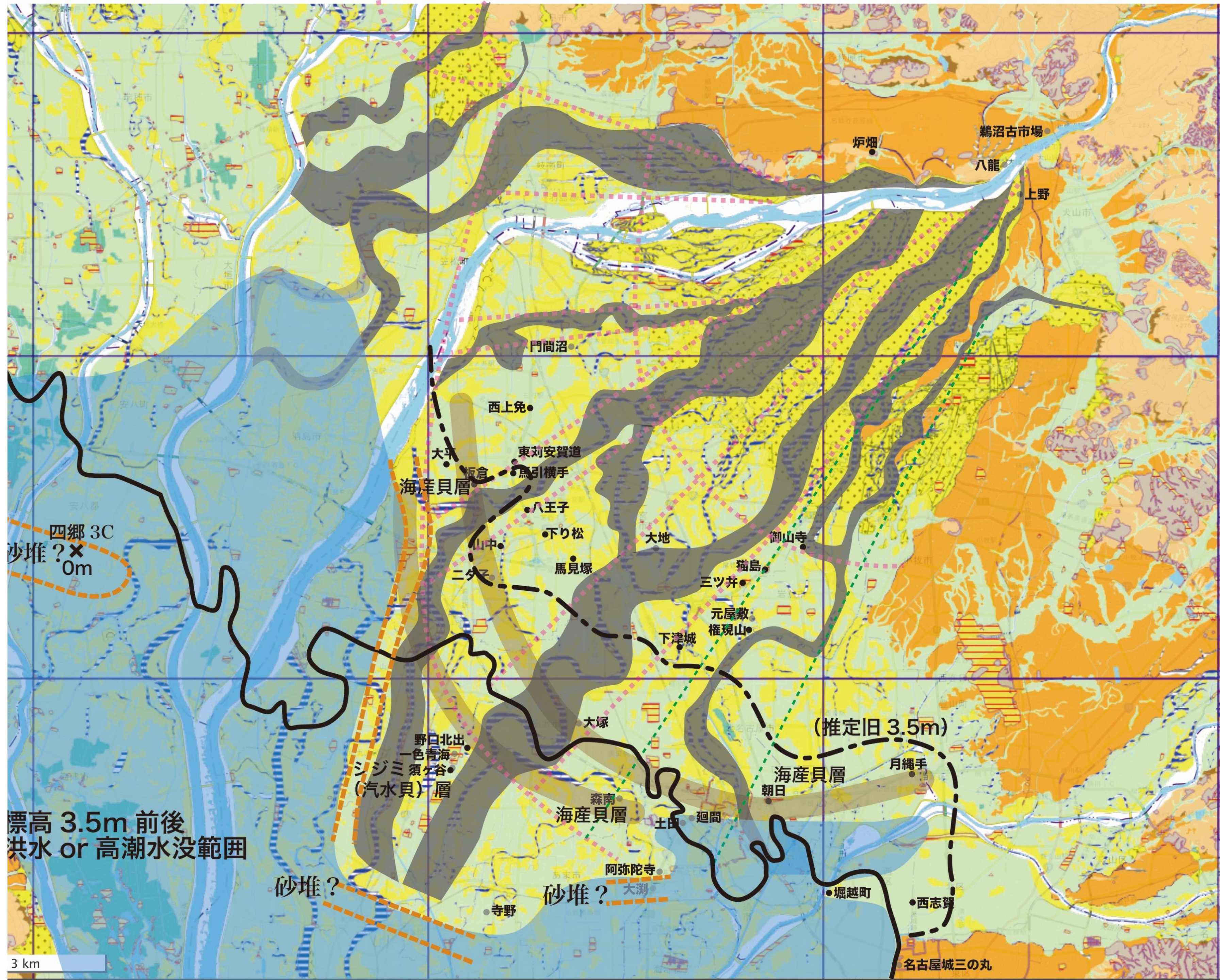
# 濃尾平野の形成

# 濃尾平野の河道

国土地理院治水図の流路  
最大幅を色塗り

遡っても江戸時代、それ  
以前は発掘調査による以  
外はない





四郷 3C  
砂堆? x  
0m

標高 3.5m 前後  
洪水 or 高潮水没範囲

砂堆?

砂堆?

(推定旧 3.5m)

3 km



# 流路軸の変更

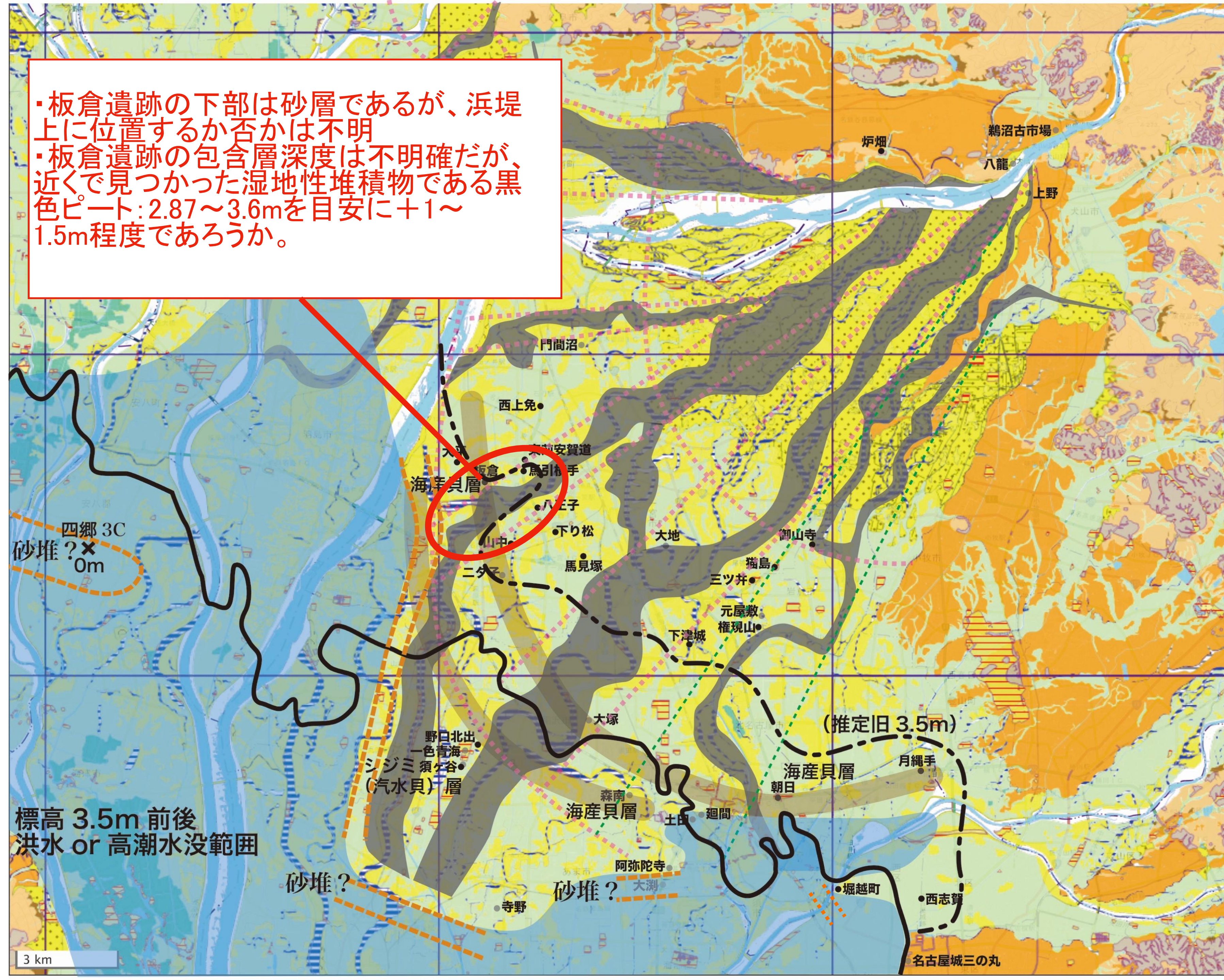
日光川の沖積地の蛇行幅が三宅川に比べて狭いのは流れが早く流量が大きかったからだろうか。

時期は不明だが、流路軸の重心は日光川から三宅川に移動する

合流点付近から三宅川の蛇行幅が広がるのは合流によって流量が増えたから

赤い円の範囲は谷が深く、河口への土砂の流出量も多い

河口に土砂が堆積して海側に砂堆を形成した結果、流路が南へ転進した





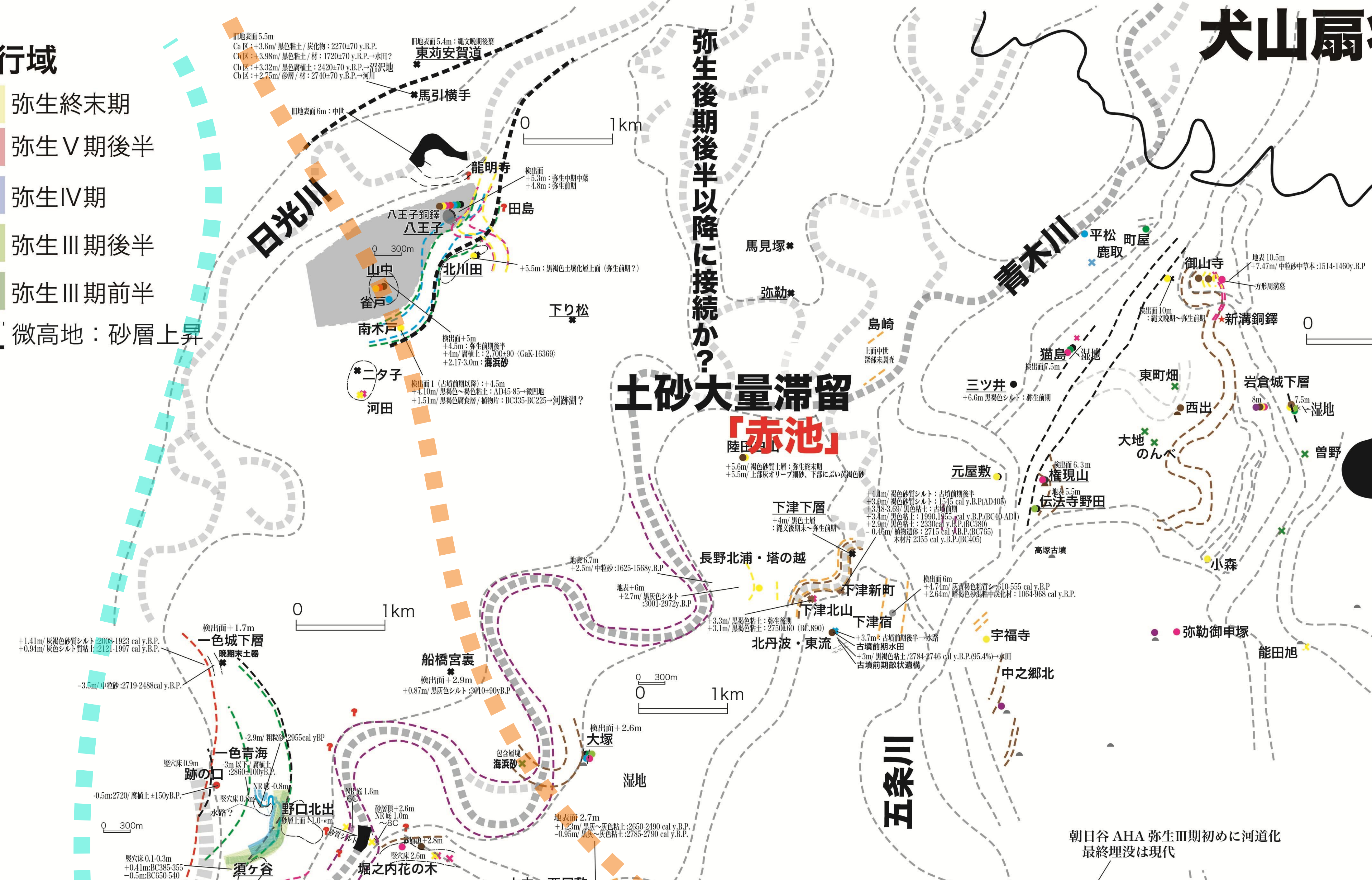
# 犬山扇状

## 河道蛇行域

- 弥生終末期
- 弥生Ⅴ期後半
- 弥生Ⅳ期
- 弥生Ⅲ期後半
- 弥生Ⅲ期前半
- 微高地：砂層上昇

件図から  
紀  
期  
末期  
期後半  
期  
期後半  
期前半  
Ⅱ期

?Ⅴ期?



弥生後期後半以降に接続か?  
土砂大量滞留「赤池」

朝日谷 AHA 弥生Ⅲ期初めに河道化  
最終埋没は現代

旧地表面 5.5m  
Ca区: +3.6m/ 黒色粘土/ 炭化物: 2270±70 y.B.P.  
Cb区: +3.98m/ 黒色粘土/ 材: 1720±70 y.B.P.→水田?  
Cb区: +3.32m/ 黒色腐植土: 2420±70 y.B.P.→沼沢地  
Cb区: +2.75m/ 砂層/ 材: 2740±70 y.B.P.→河川

旧地表面 5.4m: 縄文晩期後葉  
**東苅安賀道**

縄文後期末～縄文晩期初め

古墳前期

マガキ・ハマグリ

1.33～2.87mは細粒砂

川添・鬼頭2008:「地点4」  
のデータ参照

板倉

馬引横手

龍明寺

検出面  
+5.3m: 弥生中期中葉  
+4.8m: 弥生前期

田島

八王子銅鐸  
八王子

+5.5m: 黒褐色土壌化層上面 (弥生前期?)

北川田

山中

雀戸

下り松

南木戸

検出面+5m  
+4.5m: 弥生前期後半  
+4m/ 腐植土: 2,700±90 (GaK-16369)  
+2.17-3.0m: **海浜砂**

二夕子

検出面1 (古墳前期以降): +4.5m  
+4.10m/ 黒褐色～褐色粘土: AD45-85→微凹地  
+1.51m/ 黒褐色腐食層/ 植物片: BC335-BC225→河跡湖?

河田

弥生後期後半以降に接続か?

土砂大量滞留

「赤池」

陸田山

+5.6m/ 褐色砂質土層: 弥生終末期  
+5.5m/ 上部灰オリープ細砂、下部にぶい黄褐色砂

馬見塚

弥勒

島崎

上面中世  
深部未調査

期後半

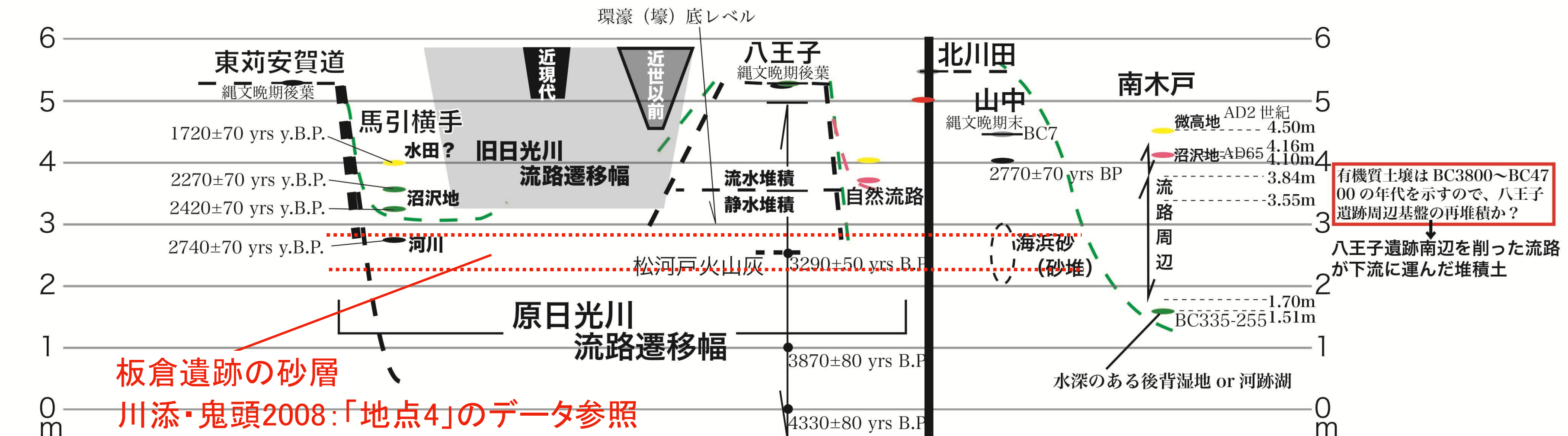
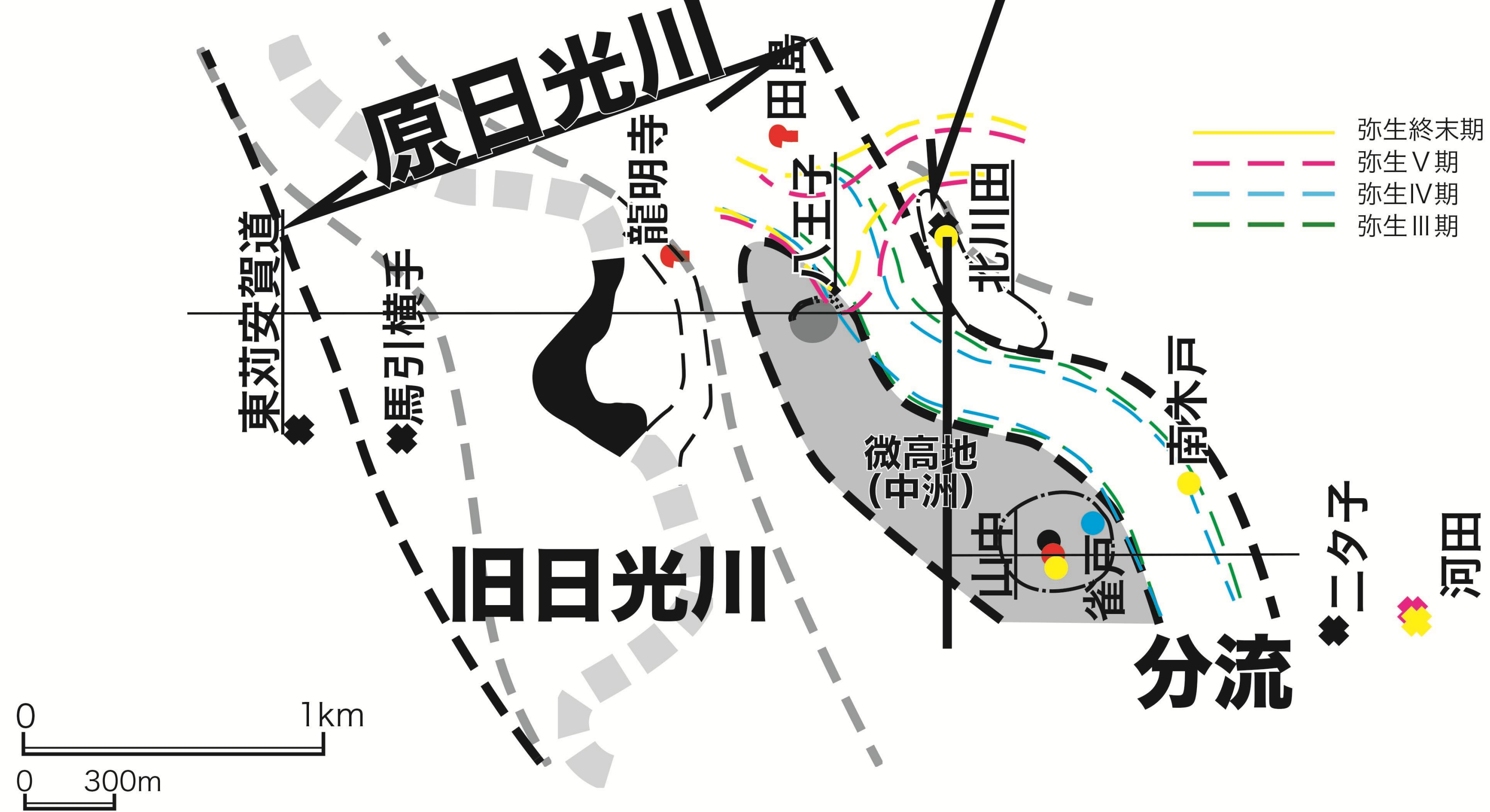
期前半

見: 砂層上昇

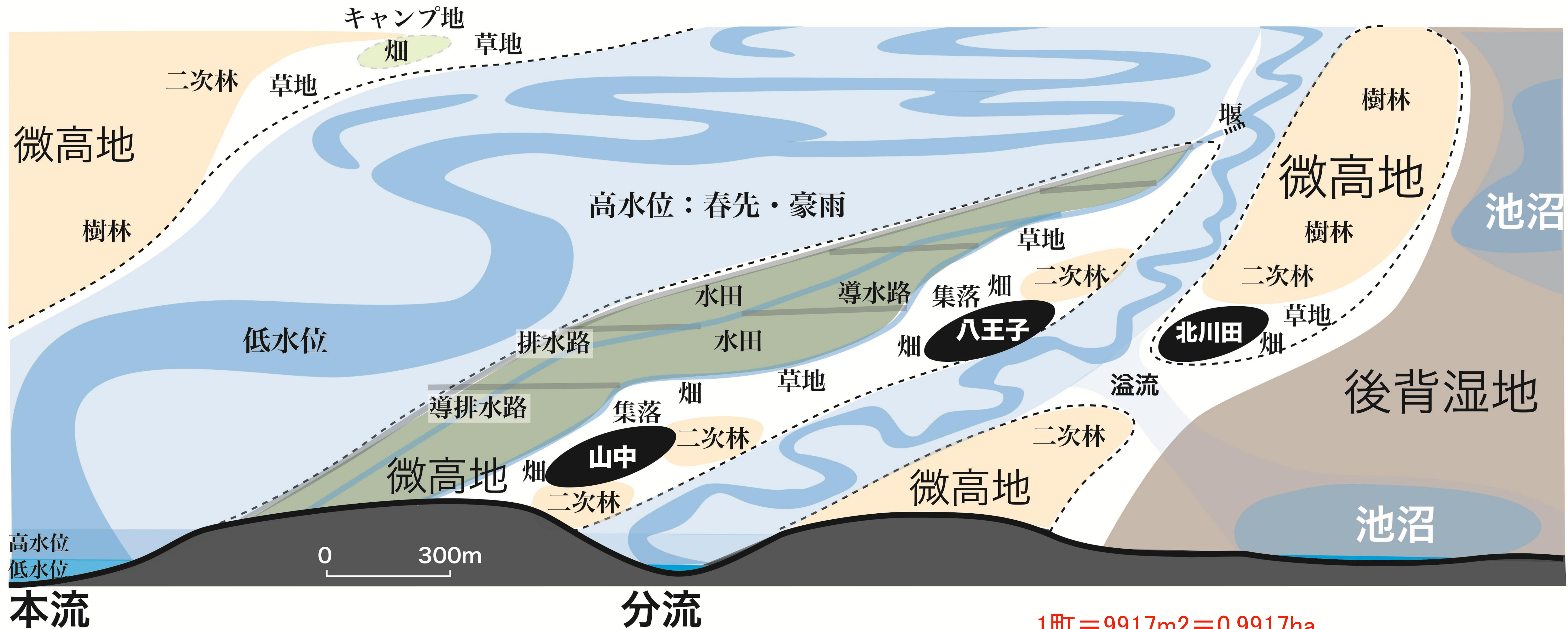
0 1km

0 300m

# 八王子遺跡



# BC4 世紀頃 遺跡周辺想像図



描画の範囲の水田を長さ 2,400m× 幅 500m 程度とするなら面積 1,200,000 m<sup>2</sup>→約 121 町歩

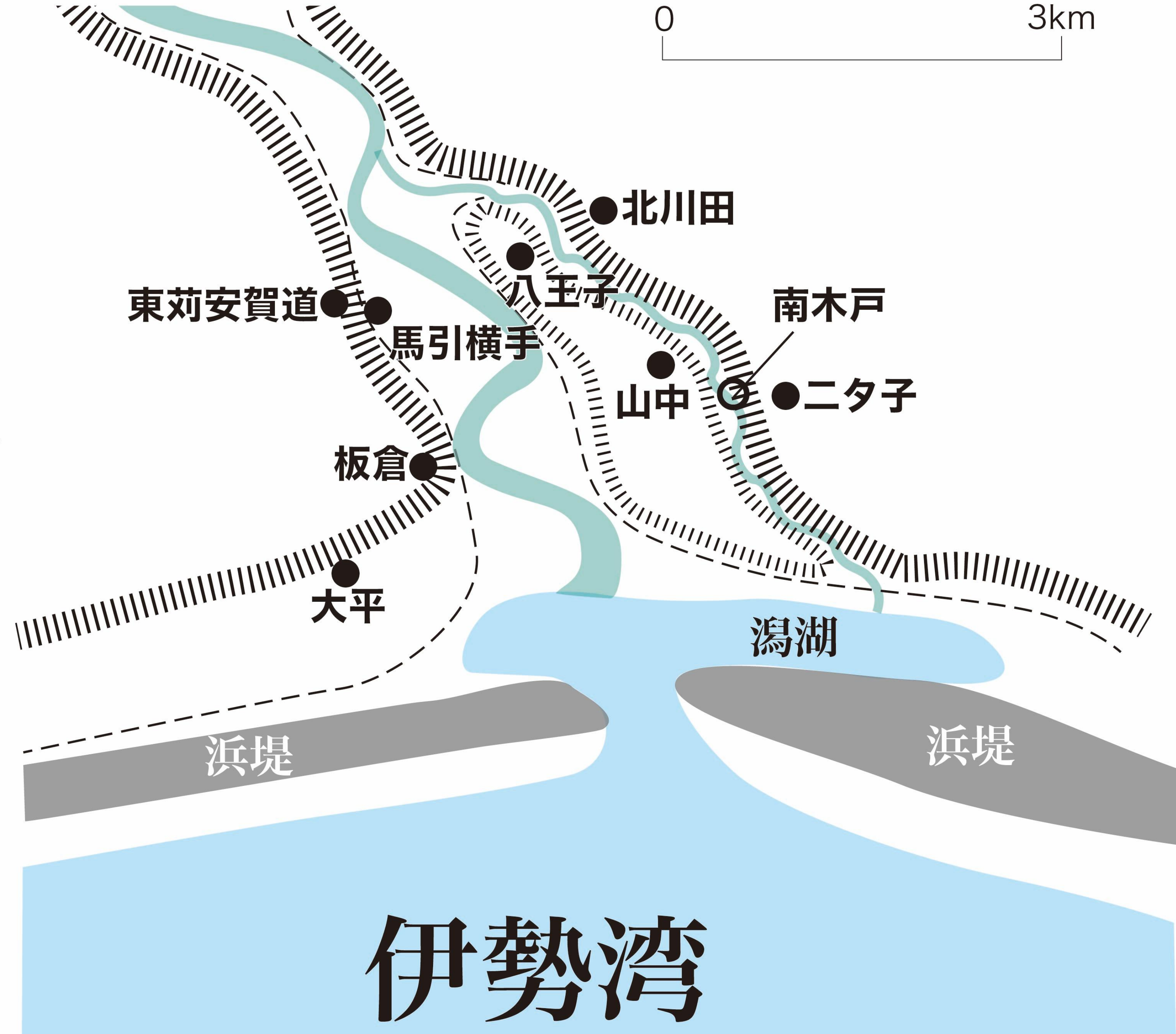
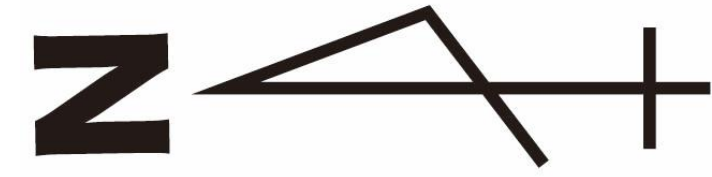
1 町=2 石 (奈良時代) なら 242 石、10 石 (江戸時代) なら 1,210 石

成人一人が 1 年 1 石を消費するなら 242~1210 人分の食糧

※幕末の菟安賀村 2,753.9 石、菟安賀新田 1,246.6 石 計 4,000.5 石

2000年前

0 3km



伊勢湾

浜堤

浜堤

湯湖

北川田

八王子

南木戸

東苅安賀道

馬引横手

山中

二夕子

板倉

大平

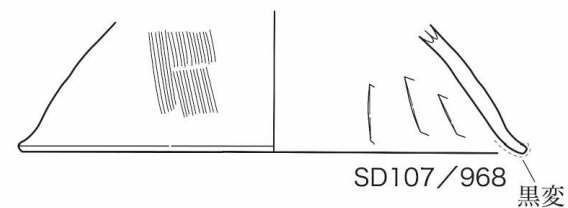
# 八王子遺跡

弥生前期 I BC7世紀

## 遠賀川系土器

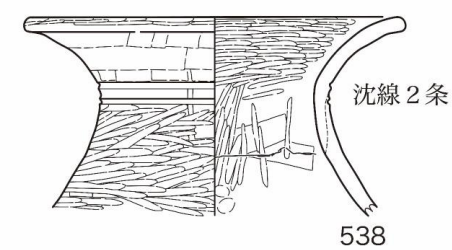


414



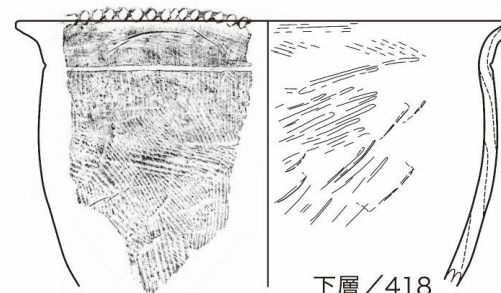
SD107/968

黒変

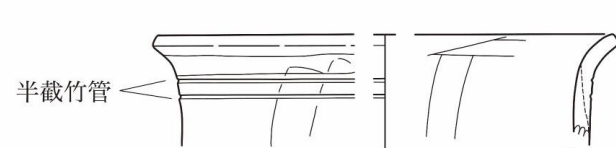


538

沈線 2条

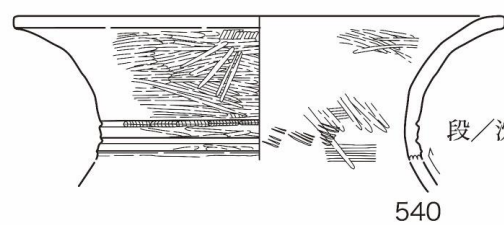


下層/418



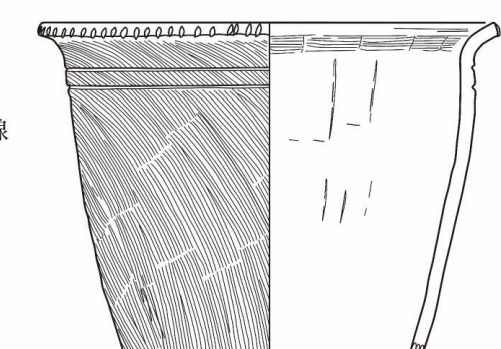
525

半截竹管

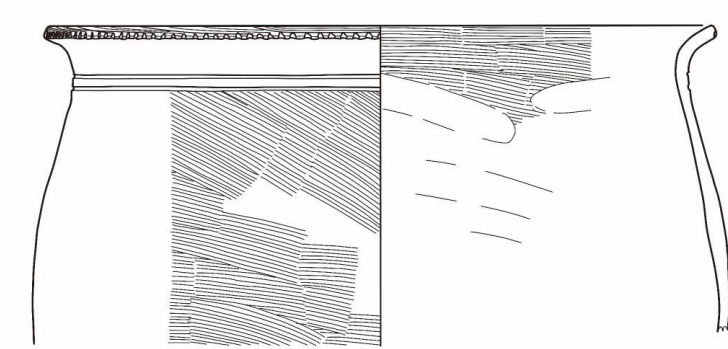


540

段/沈線

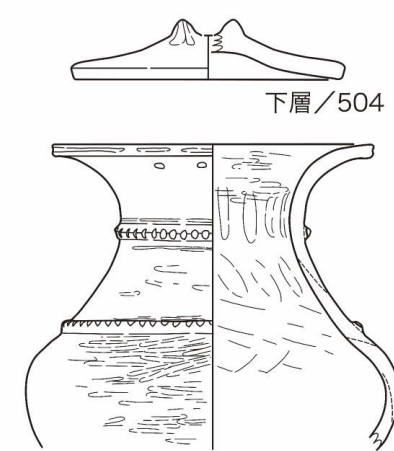


376

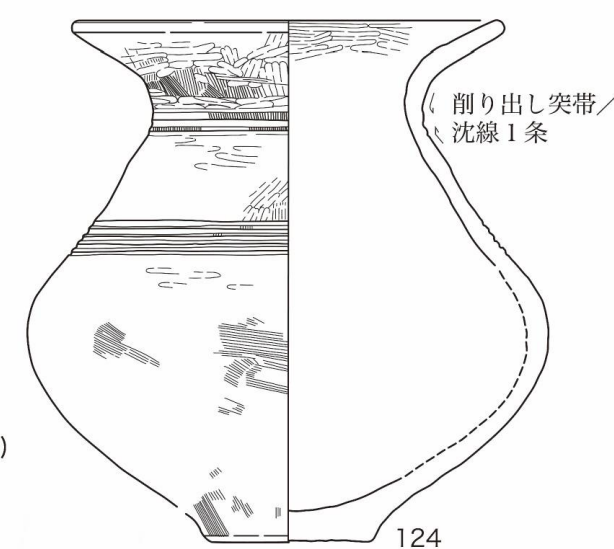


295

弥生前期 II BC5世紀

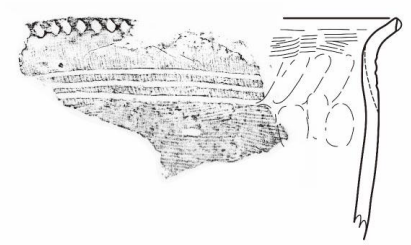


下層/504

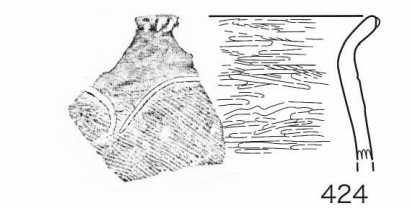


削り出し突帯/  
沈線 1条

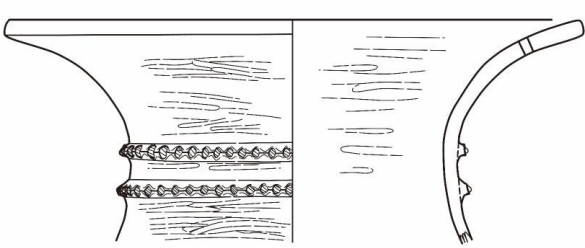
124



下層/423



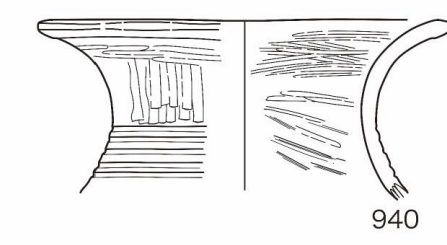
424



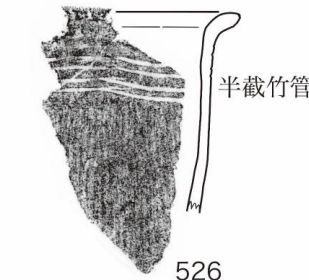
933

SK79(SK66下層)  
/311

## 金剛坂式土器

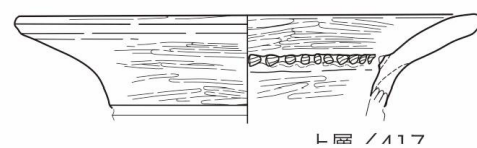


940

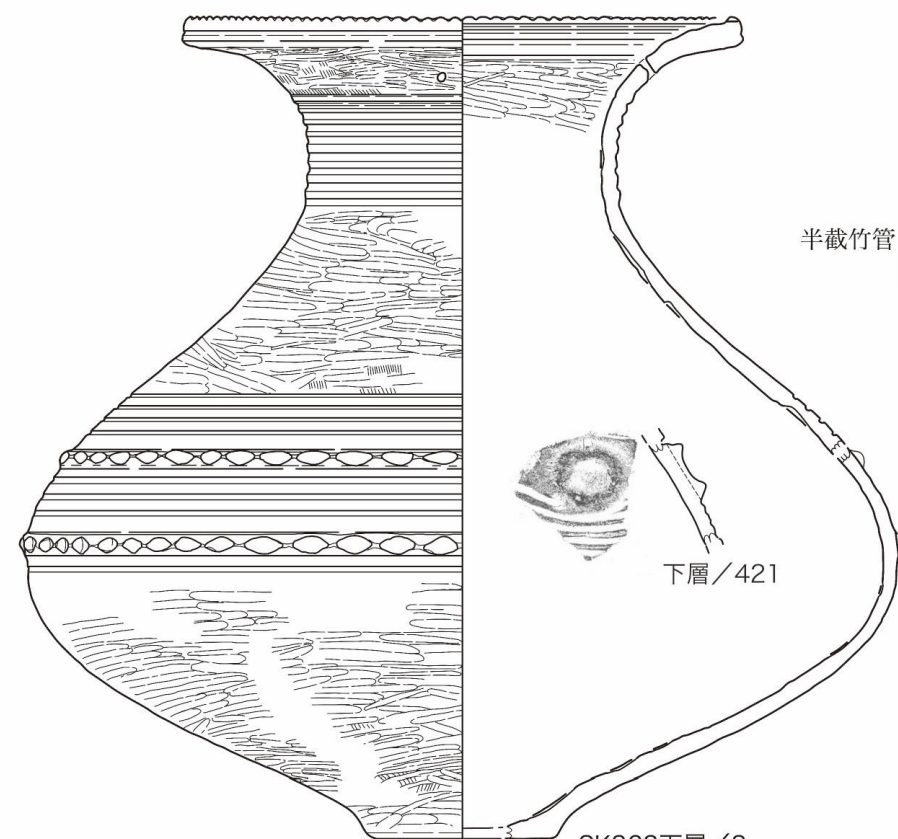


半截竹管

526

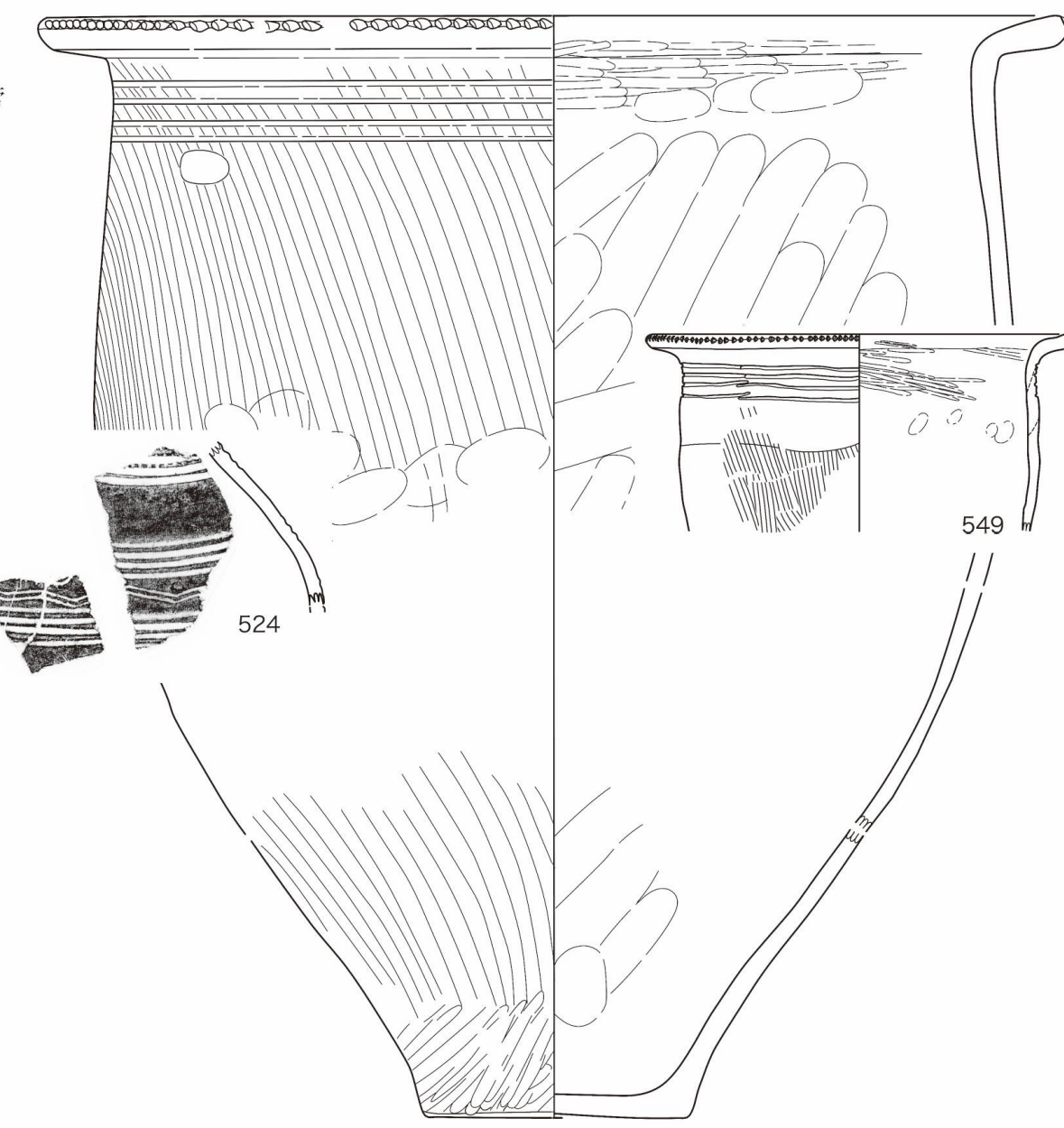


下層/417



SK363下層/8

下層/421



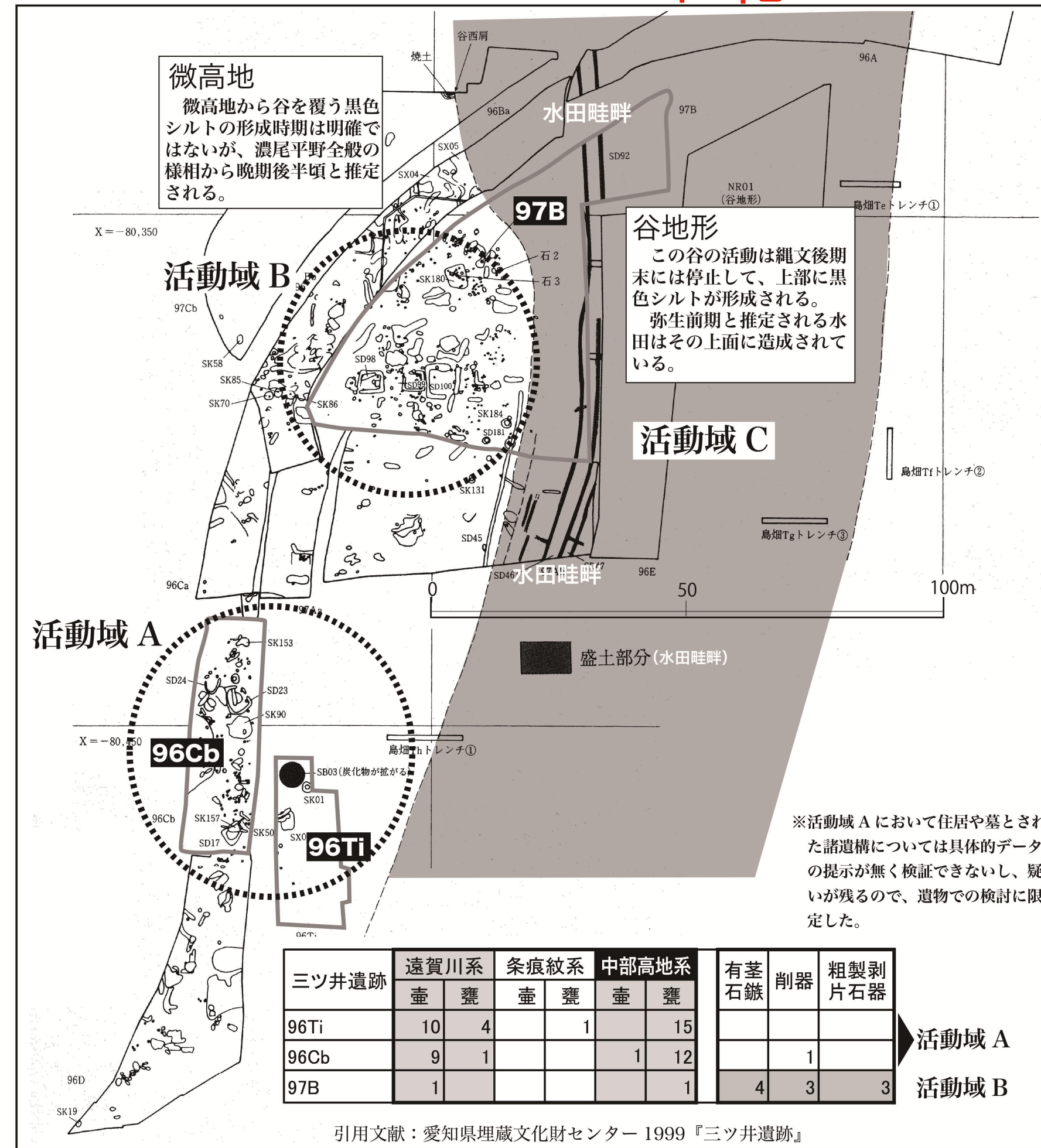
236

半截竹管

524

549

# 一宮市三ツ井遺跡の様相BC7世紀



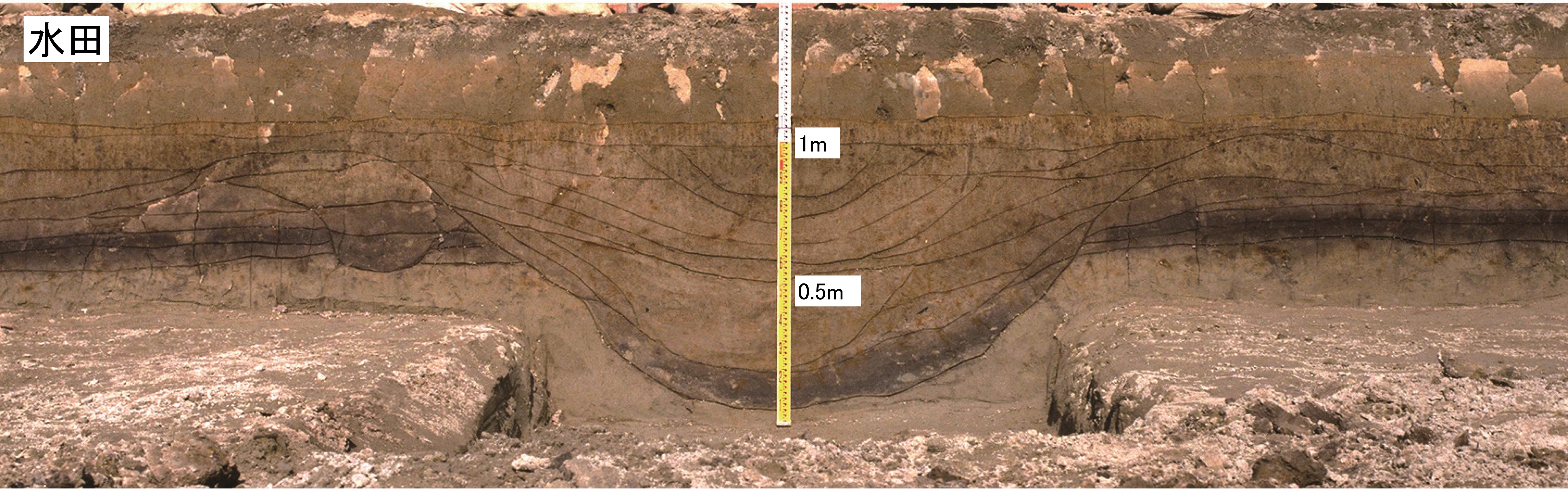
活動域 A：居住や生活に関わるエリア；遠賀川系 I-2 期～；土器組成は [ 遠賀川系 + 中央高地系 ] で生活相を構成し、条痕文系は不明

活動域 B：狩猟・収穫などの生産活動に関わるエリア（方形周溝遺構等は実態が不明）

活動域 C：稲作等、特定の生産活動に関わるエリア



水田



1m

0.5m

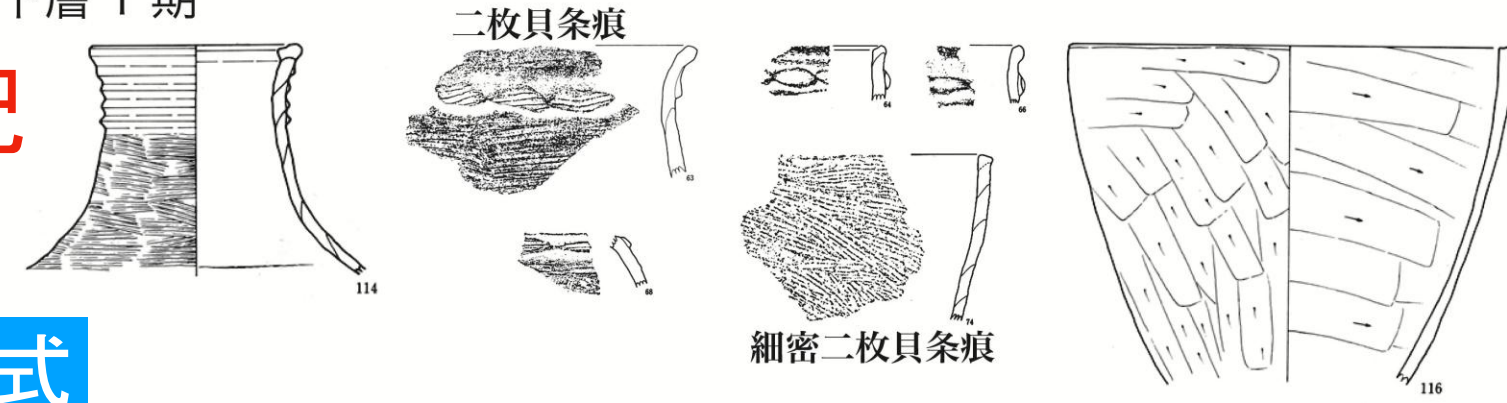


# 山中遺跡

## 馬見塚式終末

山中下層 1 期

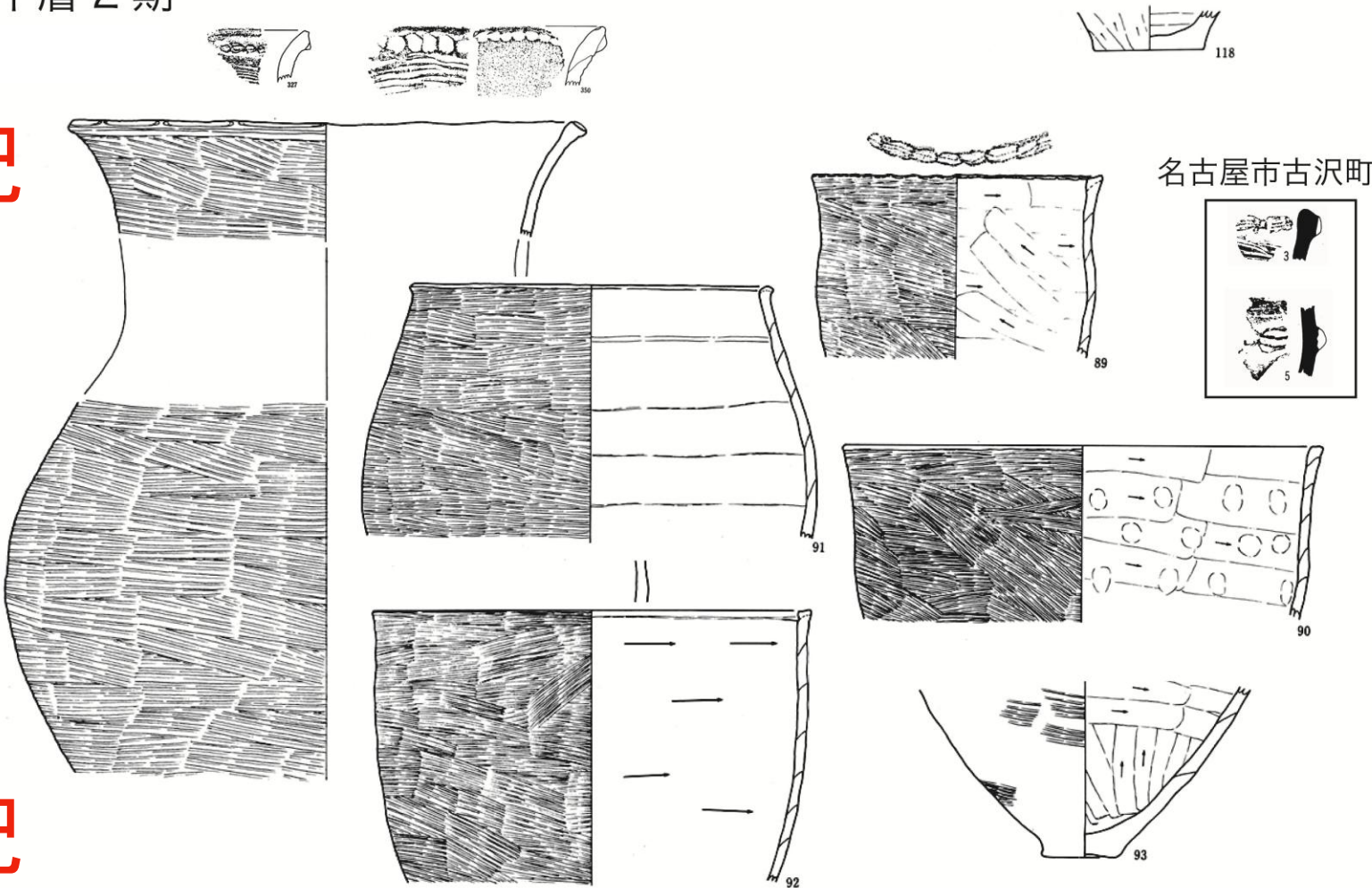
BC7世紀



## 山中下層式

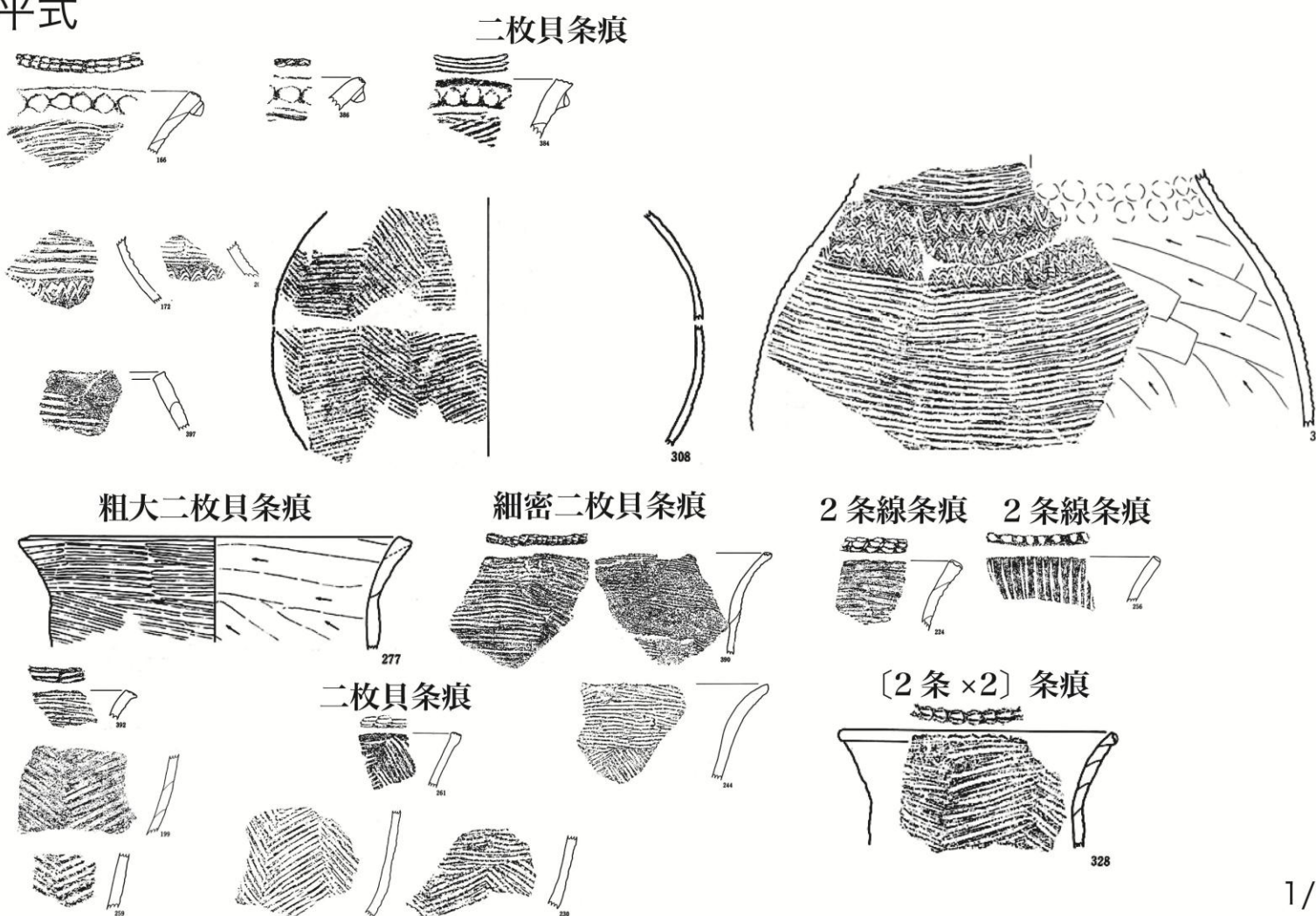
山中下層 2 期

BC6世紀



BC5世紀

水神平式



# サルボウガイ



17. サルボウ (上) 表面殻頂側押引  
(下) 表面腹縁側押引

18. サルボウ内面腹縁側押引

19. サルボウ内側鉸板を当てた押引

20. ハイガイ (最左) 腹縁内側傾斜しての刺突  
(左中) 腹縁直立しての刺突  
(右中) 腹縁外側傾斜しての刺突  
(最右) 表面殻頂側の押圧

# ハイガイ



21. ハイガイ (上) 表面殻頂側押引  
(下) 表面腹縁側押引

22. ハイガイ内面腹縁側押引

23. ハイガイ内側鉸板を当てた押引

24. ハマグリ (最左) 腹縁内側傾斜しての刺突  
(左中) 腹縁直立しての刺突  
(右中) 腹縁外側傾斜しての刺突

# 二枚貝の生態的特徴

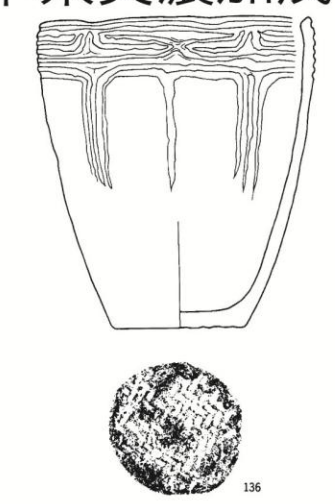
- 1) 河口や潟湖のような汽水域に生息するヤマトシジミ (*Corbicula japonica*) の感潮域群集
- 2) 湾奥部の潮間帯砂泥底に生息するハイガイ、オキシジミ (*Cyclina sinensis*)、ウミニナ (*Batillaria multiformis*) などによる干潟群集
- 3) 湾奥～湾央部の潮間帯から水深20m前後までの砂底に生息するサルボウ (*Anadara subcrenata*)

松島義章 1984 日本列島における後氷期の浅海性貝類群集—特に環境変遷に伴うその時間・空間的変遷—神奈川県博研報(自然科学)、15:37-109.

# 山中・八王子遺跡と外部世界

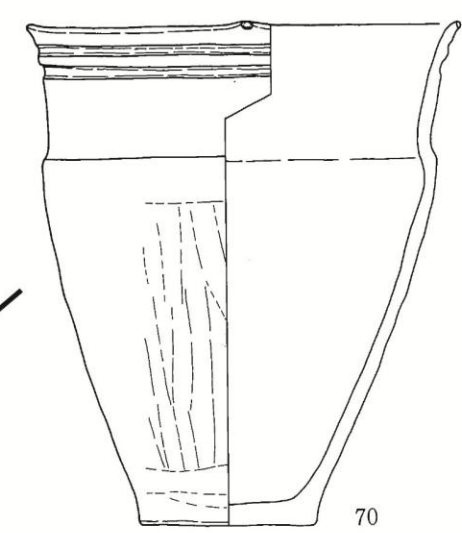
## 縦コ字区画系列

岐阜県美濃加茂市野笹遺跡



## 中部高地系

長野県松本市赤木山遺跡群—石行遺跡



松本盆地

BC7世紀

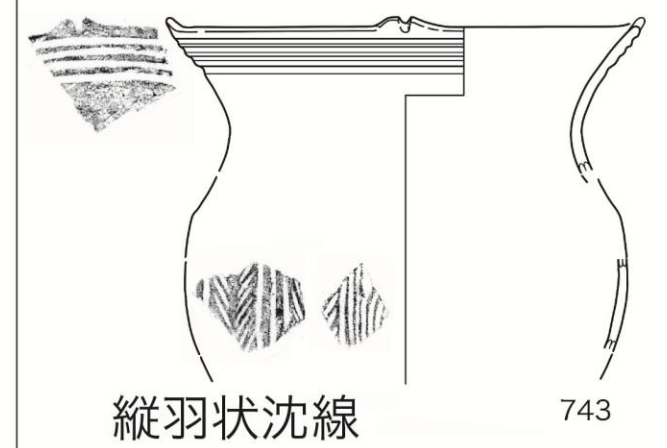
縄文晩期

## 北陸系

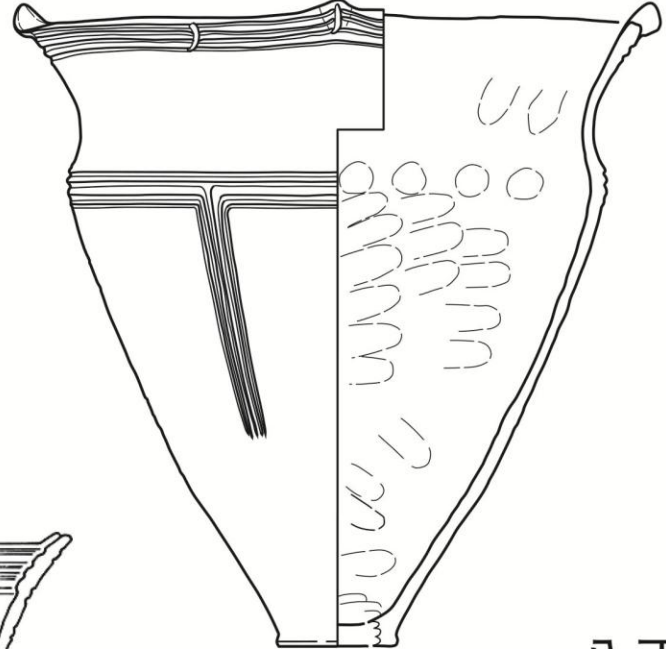
BC5世紀

弥生前期

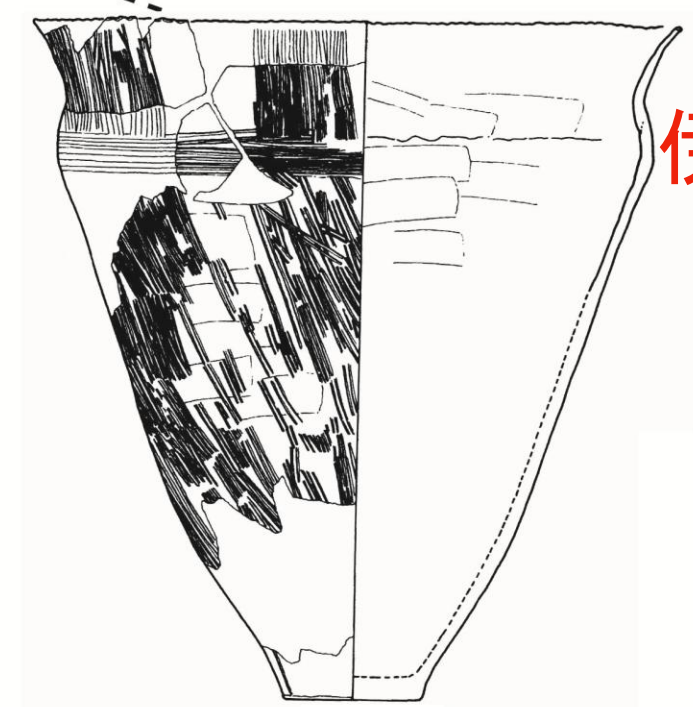
八王子遺跡



八王子遺跡



長野県中川村苅谷原遺跡

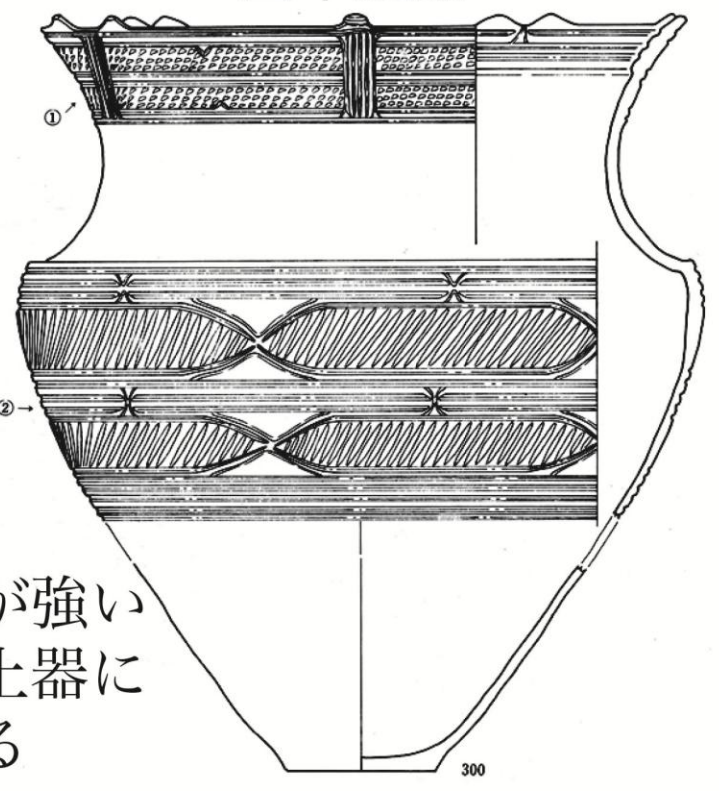


伊那谷

縦羽状沈線

743

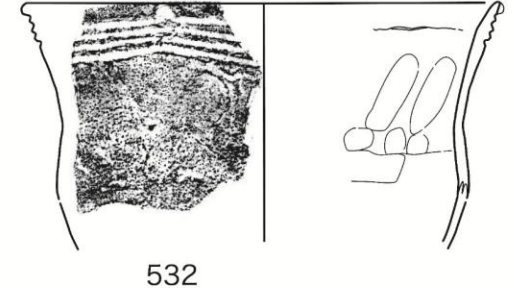
山中遺跡



斜行沈線

肩の屈曲が強い  
→大地形土器に  
つながる

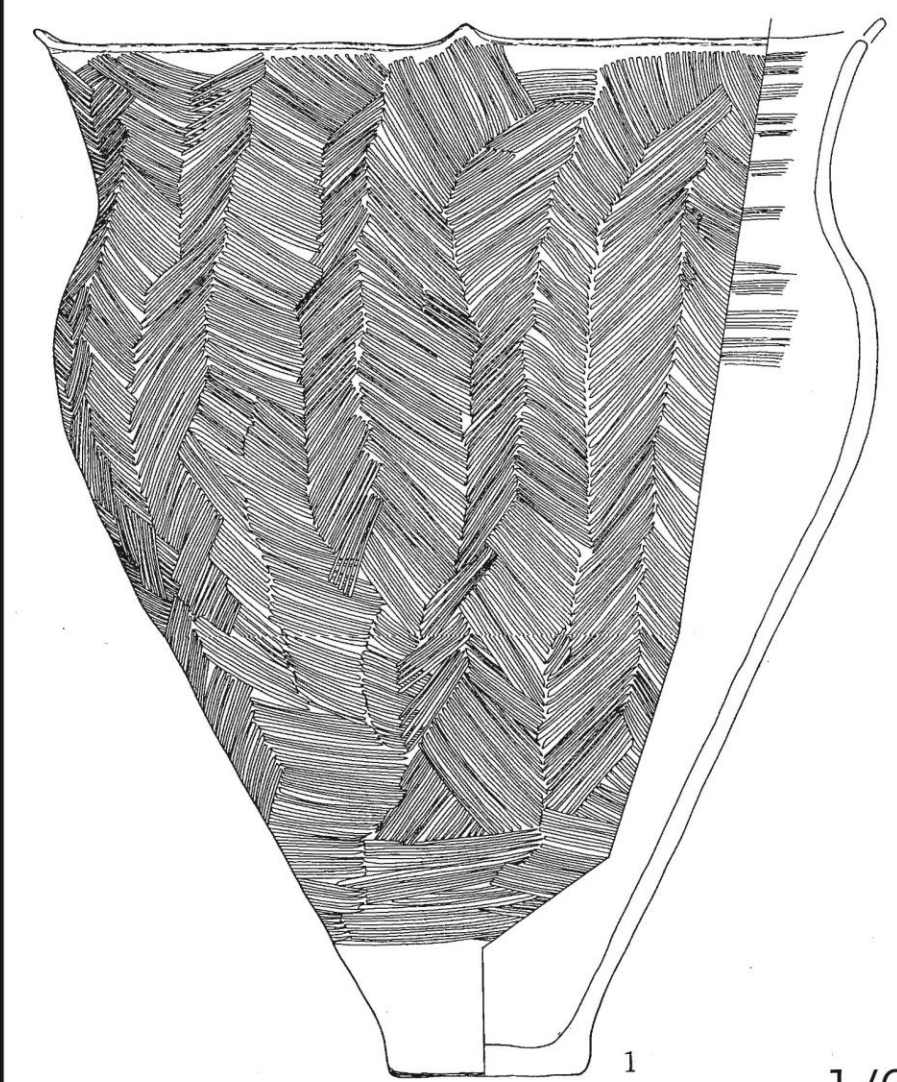
SK317/747 八王子遺跡



532

弥生中期

長野県塩尻市下境沢



松本盆地

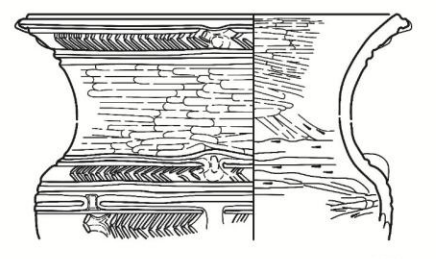
BC4世紀

弥生中期

八王子遺跡

大地形土器

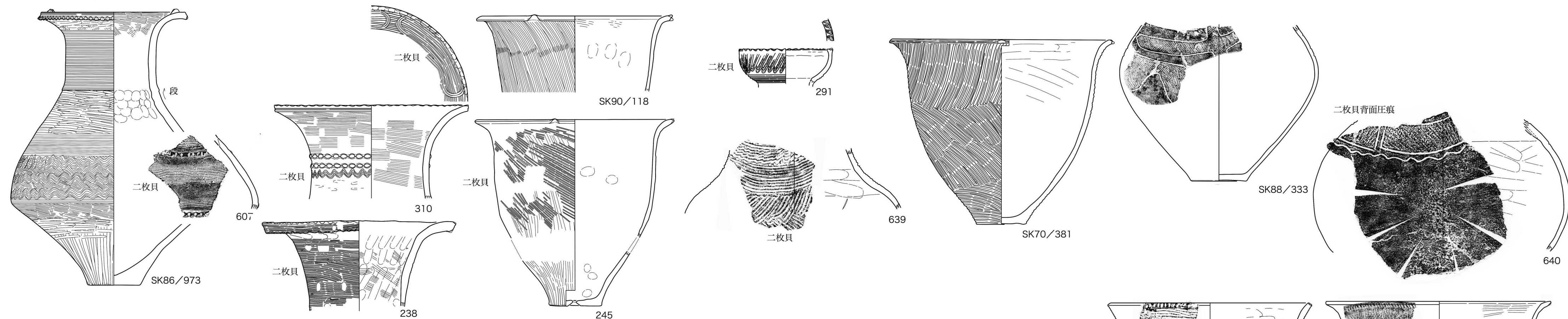
横羽状沈線



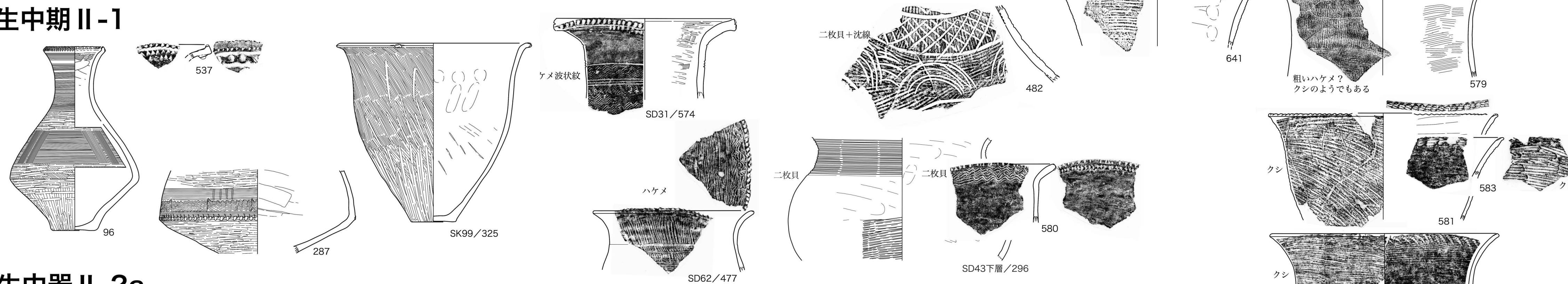
182

八王子遺跡

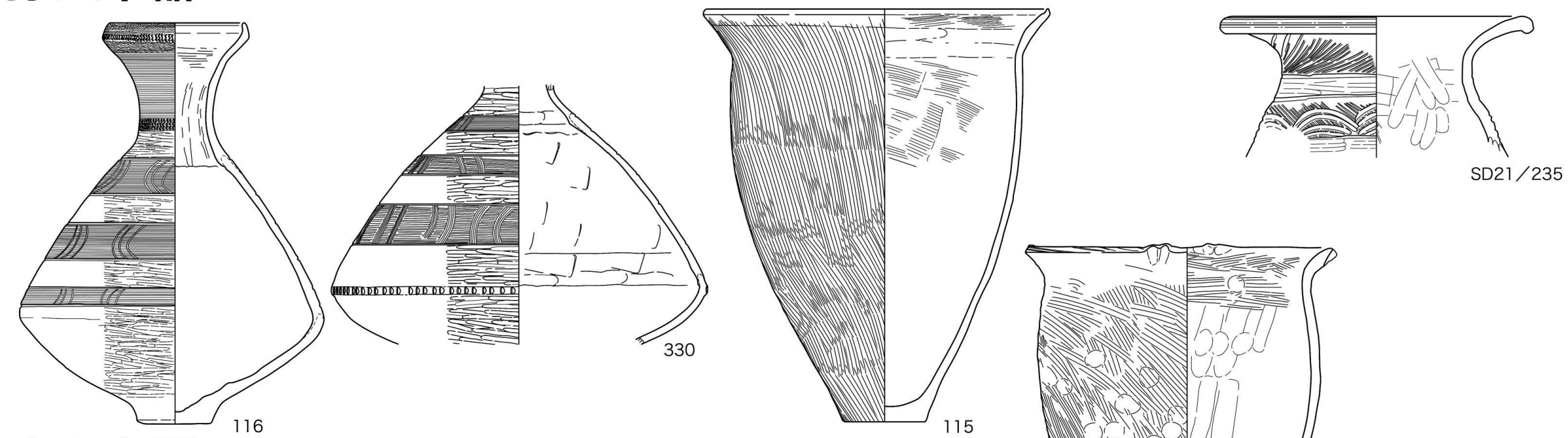
弥生中期 I -2b



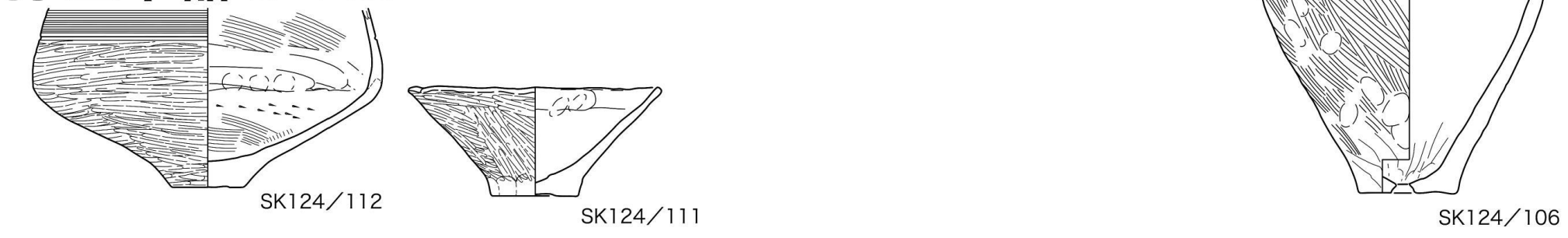
弥生中期 II -1



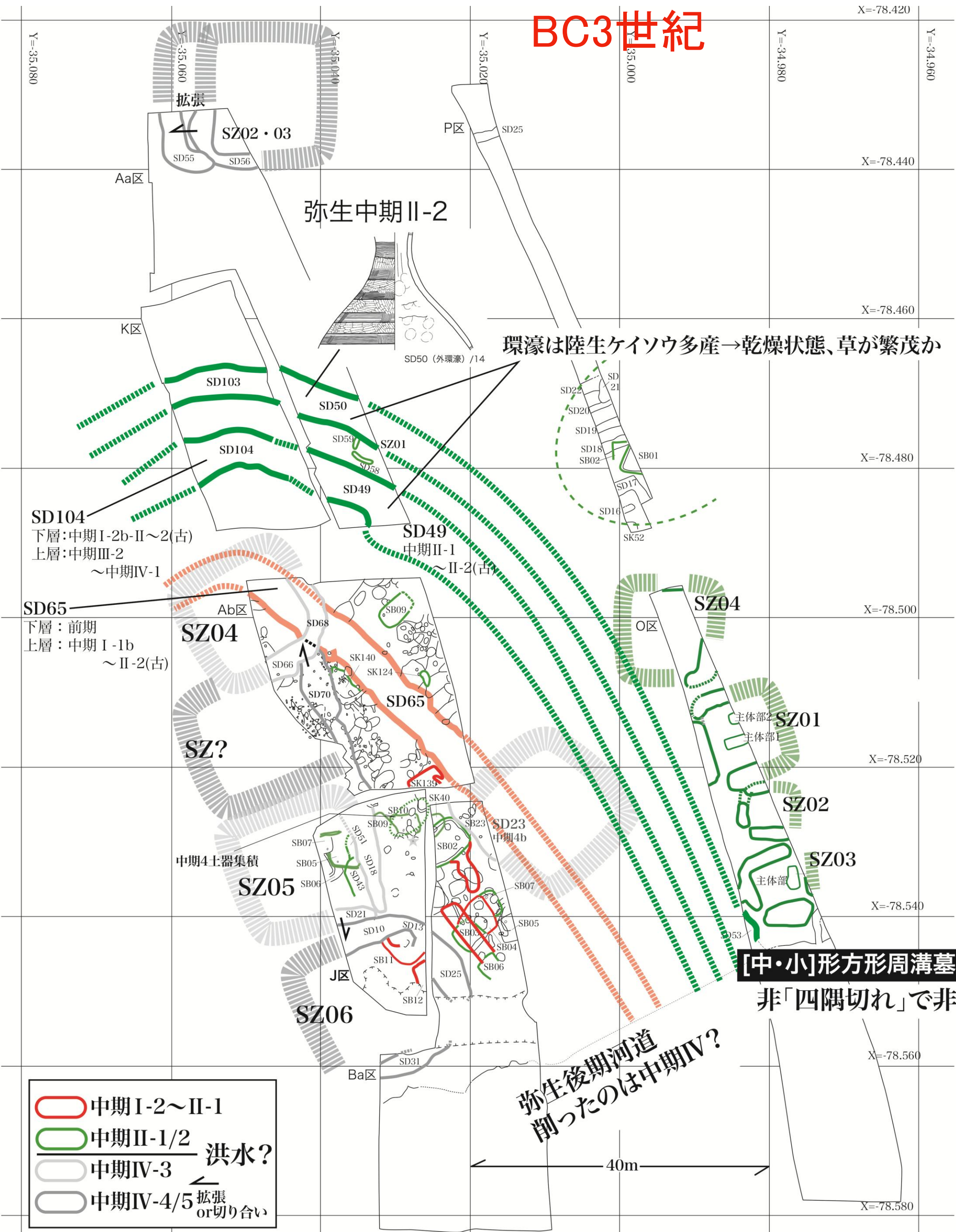
弥生中器 II -2a



弥生中器 II -2b

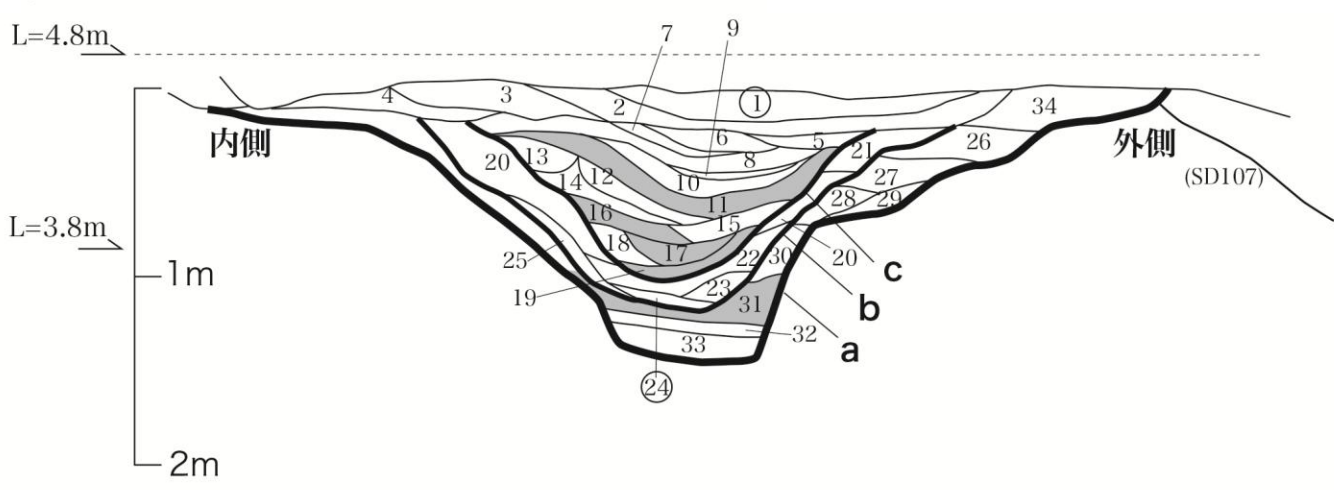


# 八王子遺跡・弥生中期前半以前の遺構配置



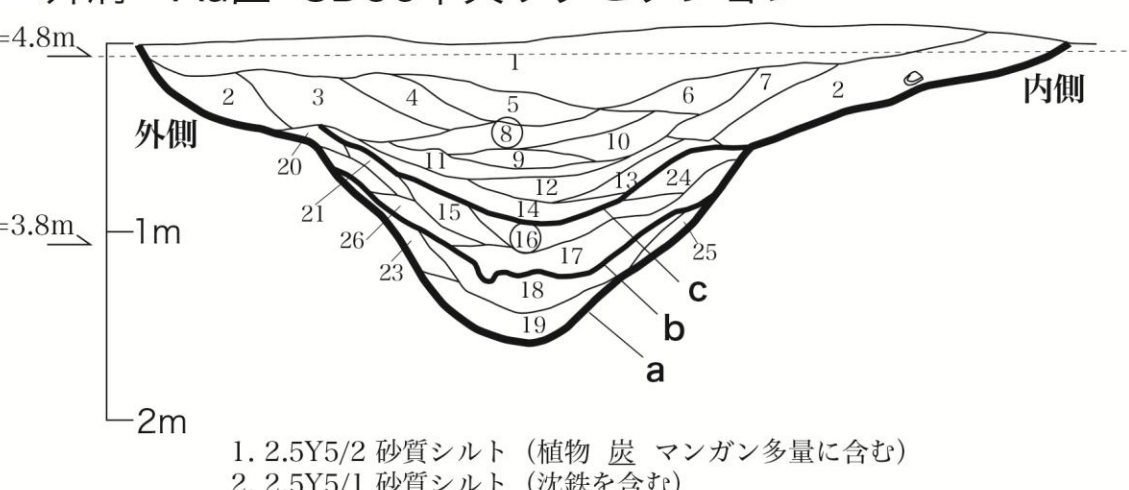
# 環濠(壕)断面

①外溝：K区 SD103 西壁セクション



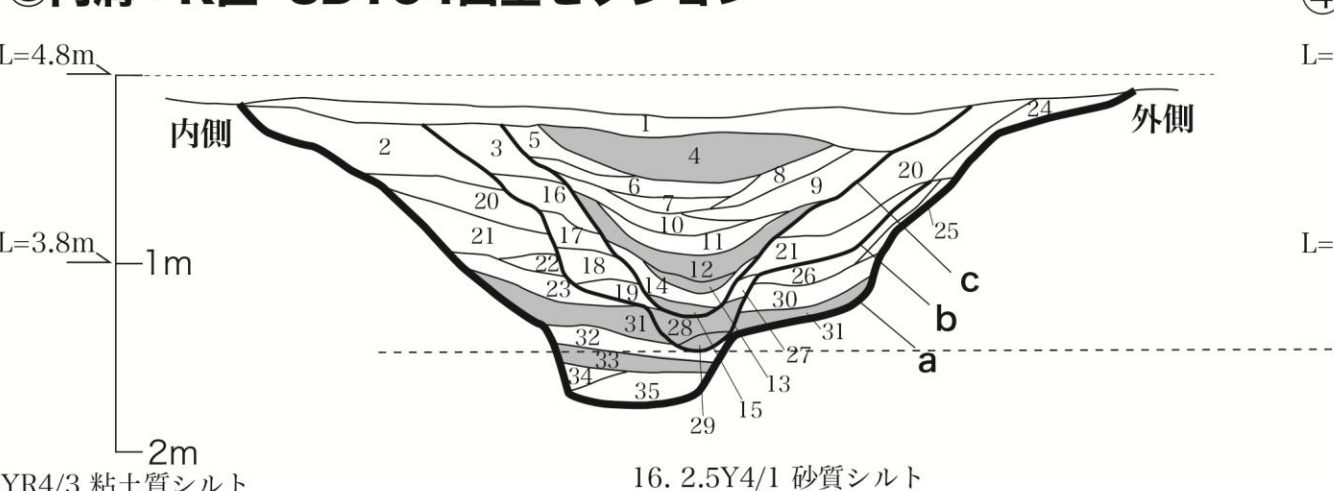
- ① 10YR5/1 粘土質シルト
- 2. 2.5Y5/1 粘土質シルト
- 3. 2.5Y4/2 粘土質シルト
- 4. 2.5Y4/2 砂質シルトと2.5Y3/3 シルトブロックの斑土
- 5. 2.5Y5/1 粘土質シルト (炭化物小片少量含む)
- 6. 2.5Y4/2 シルト (炭化物小片少量含む)
- 7. 2.5Y4/1 シルト (炭化物小片少量含む)
- 8. 5Y4/1 極細粒砂質シルト (炭化物小片少量含む)
- 9. 2.5Y4/1 シルト (炭化物小片少量含む)
- 10. 2.5Y4/1 シルトと2.5Y3/1 シルトの斑土 (炭化物小片含む)
- 11. 10YR4/1 シルトと2.5Y3/1 シルトの互層 (ラミナ状)
- 12. 2.5Y3/1 シルトと7.5Yシルトの斑土
- 13. 5Y3/1 砂質シルトと5Y4/1 シルトの斑土
- 14. 2.5Y4/1 シルトと5Y3/1 シルトの斑土
- 15. 2.5Y4/1 粘土質シルト (炭化物小片含む)
- 16. 2.5Y3/1 シルトと2.5Y3/1 砂質シルトと2.5Y2/1 粘土質シルトの互層 (炭化物小片含む ラミナ状)
- 17. 2.5Y2/1 粘土質シルトと2.5Y4/1 粘土質シルトと炭化物層の互層 (ラミナ状)
- 18. 2.5Y3/1 粘土質シルトと2.5Y4/1 粘土質シルトの斑土 (炭化物小片含む)
- 19. 2.5Y4/1 シルト質極細粒砂と2.5Y4/1 粘土質シルトと2.5Y4/1 粘土と炭化物層の互層 (ラミナ状)
- 20. 5Y4/1 砂質シルトと5Y4/1 シルトの斑土
- 21. 2.5Y4/1 シルト
- 22. 2.5Y4/1 砂質シルトと2.5Y3/1 シルト (やや粒子粗い) の斑土
- 23. 2.5Y3/1 砂質シルト
- 24. 10YR3/1 粘土質シルト
- 25. 2.5Y3/1 粘土質シルト
- 26. 2.5Y4/2 砂質シルト
- 27. 2.5Y4/1 シルト
- 28. 2.5Y4/1 砂質シルト
- 29. 2.5Y4/2 シルト質極細粒砂
- 30. 2.5Y5/1 砂質シルトと2.5Y4/1 シルトの斑土
- 31. 2.5Y4/1 シルト質粘土と2.5Y4/1 シルト質極細粒砂の互層
- 32. 5Y5/1 シルト質粘土
- 33. 2.5Y5/1 粘土
- 34. 10YR4/2 極細粒砂質シルト

②外溝：Aa区 SD50中央サブセクション



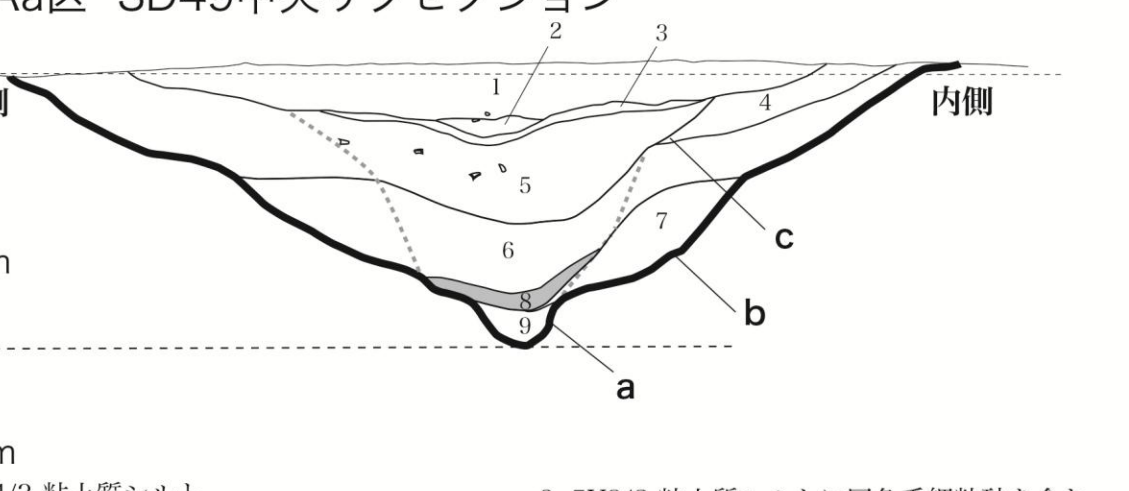
- 1. 2.5Y5/2 砂質シルト (植物炭 マンガン多量に含む)
- 2. 2.5Y5/1 砂質シルト (沈鉄を含む)
- 3. 2.5Y4/1 砂質シルト (沈鉄を含む)
- 4. 2.5Y3/2 砂質シルト (沈鉄を含む)
- 5. 2.5Y4/2 砂質シルト (マンガン粒多量に含む)
- 6. 2.5Y5/2 細粒砂質シルト (マンガン粒多量に含む 沈鉄を含む)
- 7. 2.5Y6/1 砂質シルト (マンガン粒多量に含む 沈鉄を含む)
- ⑧ 10YR4/1 砂質シルト (沈鉄を含む)
- 9. 2.5Y4/1 細粒砂質シルト (沈鉄を含む)
- 10. 2.5Y5/1 細粒砂質シルト (沈鉄を含む)
- 11. 2.5Y4/1 粘土質シルト
- 12. 2.5Y5/1 粘土質シルト (炭化物1mm大以下を含む)
- 13. 2.5Y3/1 粘土質シルト (炭化物1mm大以下を含む)
- 14. 2.5Y4/1 砂質シルト (炭化物1mm大以下を含む)
- 15. N3/1 砂質シルト
- ⑬ 10YR4/1 粘土質シルト (炭化物多量に含む)
- 17. 2.5Y4/1 粘土質シルト (炭化物多量に含む)
- 18. N1/4 砂質シルト+2.5Y6/1 粘土をブロック状に含む
- 19. N4/1 極細粒砂質シルト
- 20. 2.5Y4/1 砂質シルト (砂混入) 沈鉄を含む
- 21. 2.5Y5/1 砂質シルト+2.5Y7/1 粘土をブロック状に含む
- 22. 2.5Y6/2 細粒砂質シルト
- 23. N3/1 細粒砂
- 24. 2.5Y4/1 中粒砂質シルト (沈鉄を含む)
- 25. 2.5Y5/1 極細粒砂質シルト

③内溝：K区 SD104西壁セクション



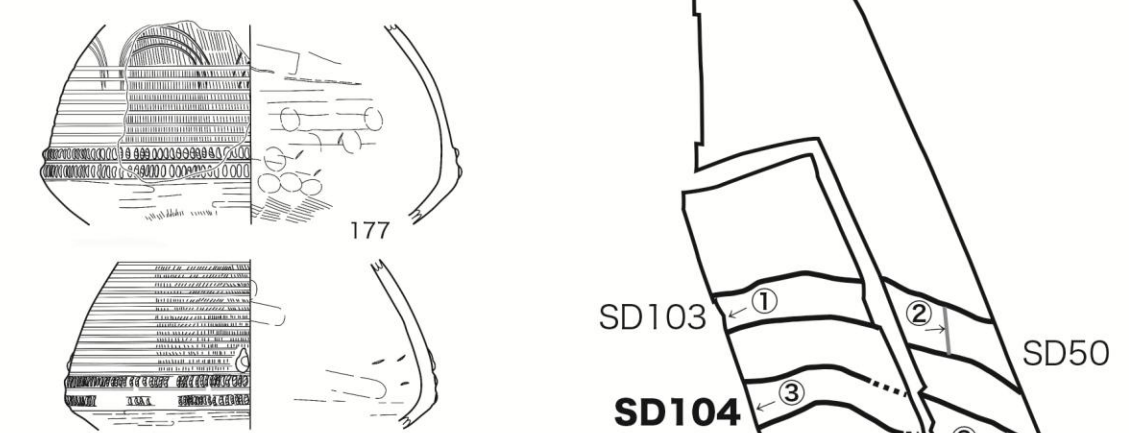
- 1. 10YR4/3 粘土質シルト
- 2. 10YR4/3 シルト質粘土
- 3. 2.5Y4/1 粘土質シルト
- 4. 2.5Y4/1 粘土質シルトと2.5Y5/1 シルト質極細粒砂との互層 (炭化物小片多く含む)
- 5. 2.5Y4/1 粘土質シルト (炭化物小片多く含む)
- 6. 5Y4/1 シルト (炭化物小片多く含む)
- 7. 5Y3/1 粘土質シルト (炭化物小片多く含む ラミナ状の堆積痕顕著)
- 8. 2.5Y4/1 粘土質シルト (炭化物小片多く含む)
- 9. 5Y4/1 粘土質シルト (炭化物小片多く含む)
- 10. 5Y4/1 粘土質シルト (炭化物小片多く含む 細粒砂幾分多く混じる)
- 11. 5Y3/1 粘土と5Y3/1 細粒砂混じり粘土質シルトとの互層 (炭化物小片多く含む)
- 12. 2.5Y3/1 粘土と2.5Y4/1 粘土との互層 (炭化物小片多く含む)
- 13. 10YR4/1 粘土質シルトと2.5Y4/2 中粒砂との互層 (炭化物小片多く含む)
- 14. 2.5Y2/1 粘土 (2.5Y2/1 細粒砂若干混じる 炭化物小片含む)
- 15. 2.5Y2/1 粘土と2.5Y2/1 細粒砂との互層 (炭化物小片含む)
- 16. 2.5Y4/1 砂質シルト
- 17. 2.5Y3/1 シルト
- 18. 2.5Y2/1 粘土ブロックと2.5Y4/1 砂質シルトの斑土
- 19. 2.5Y4/2 シルト質極細粒砂
- 20. 2.5Y4/1 シルト (5Y6/1 シルトブロックと7.5Y4/1 粘土ブロック含む)
- 21. 2.5Y3/1 シルト (2.5Y5/3 細粒砂ブロック含む) と2.5Y4/1 砂質シルトの斑土
- 22. 5Y4/1 シルト質極細粒砂 (2.5Y2/1 粘土ブロック含む)
- 23. 2.5Y4/2 シルト質粘土 (2.5Y2/1 粘土ブロック含む)
- 24. 2.5Y4/1 シルト
- 25. 5Y5/1 シルト質極細粒砂と2.5Y3/1 砂質シルトの斑土
- 26. 2.5Y3/1 砂質シルト
- 27. 2.5Y4/1 シルトと2.5Y3/1 シルトの斑土
- 28. 10YR3/1 粘土と10YR4/2 細粒砂の互層
- 29. 2.5Y3/1 シルトと2.5Y4/2 細粒砂の互層
- 30. 2.5Y4/2 シルトと2.5Y3/2 シルトと5Y5/1 シルト質極細粒砂の斑土
- 31. 10YR3/1 シルトと10YR4/1 シルト質極細粒砂の互層
- 32. 5Y5/1 細粒砂と10YR4/1 シルトと7.5Y5/1 粘土の斑土
- 33. 32層の3種の土の互層
- 34. 2.5Y4/1 シルトと2.5Y4/1 シルト質極細粒砂の斑土
- 35. 2.5Y3/2 粘土 (2.5Y2/1 粘土ブロック含む)

④内溝：Aa区 SD49中央サブセクション



- 1. 10YR4/3 粘土質シルト (植物炭混入 遺物包含 マンガン多量に含む)
- 2. 10YR4/2 粘土質シルト (植物炭混入 遺物包含)
- 3. 10YR5/3 細粒砂
- 4. 10YR4/3 砂質シルト (マンガン多量に含む)
- 5. 2.5Y3/2 粘土質シルト (マンガン多量に含む 遺物包含 植物含む)
- 6. 5Y3/2 粘土質シルトに同色系細粒砂を含む 所々 5Y2/1 黒色粘土をブロック状に含む (マンガン少量含有 炭多量混入)
- 7. 5Y3/2 極細粒砂
- ⑧ 5Y2/2 粘土に同色系細粒砂をマール状に含む
- 9. 5Y3/2 中粒砂

再掘削は中期IIIか?



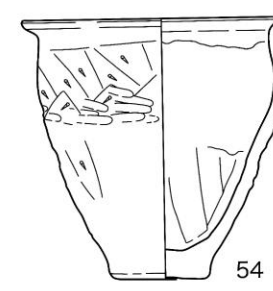
※凹線文系土器が入らないので 中期III-5には廃絶

# 八王子遺跡

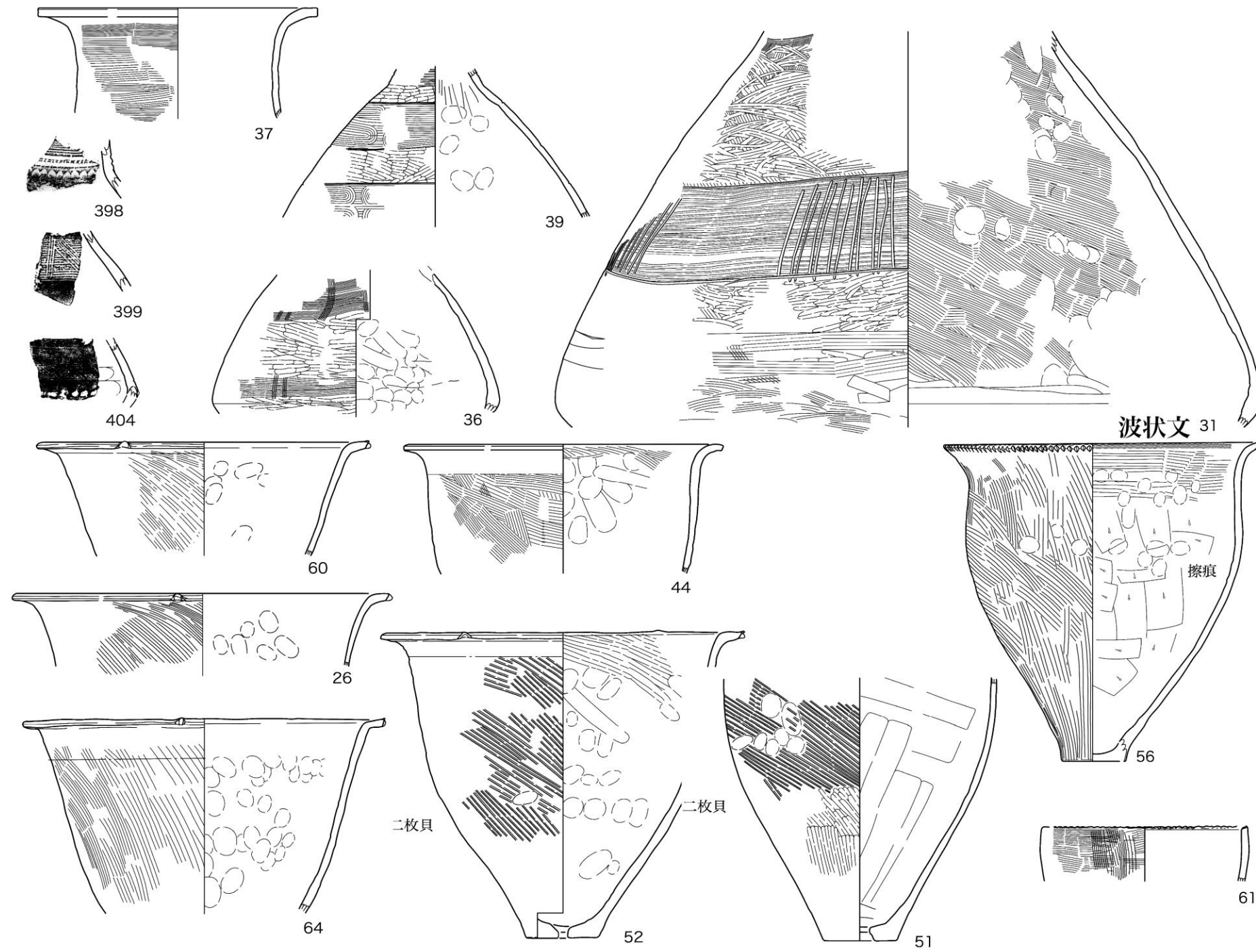
SD49

内環濠(壕)

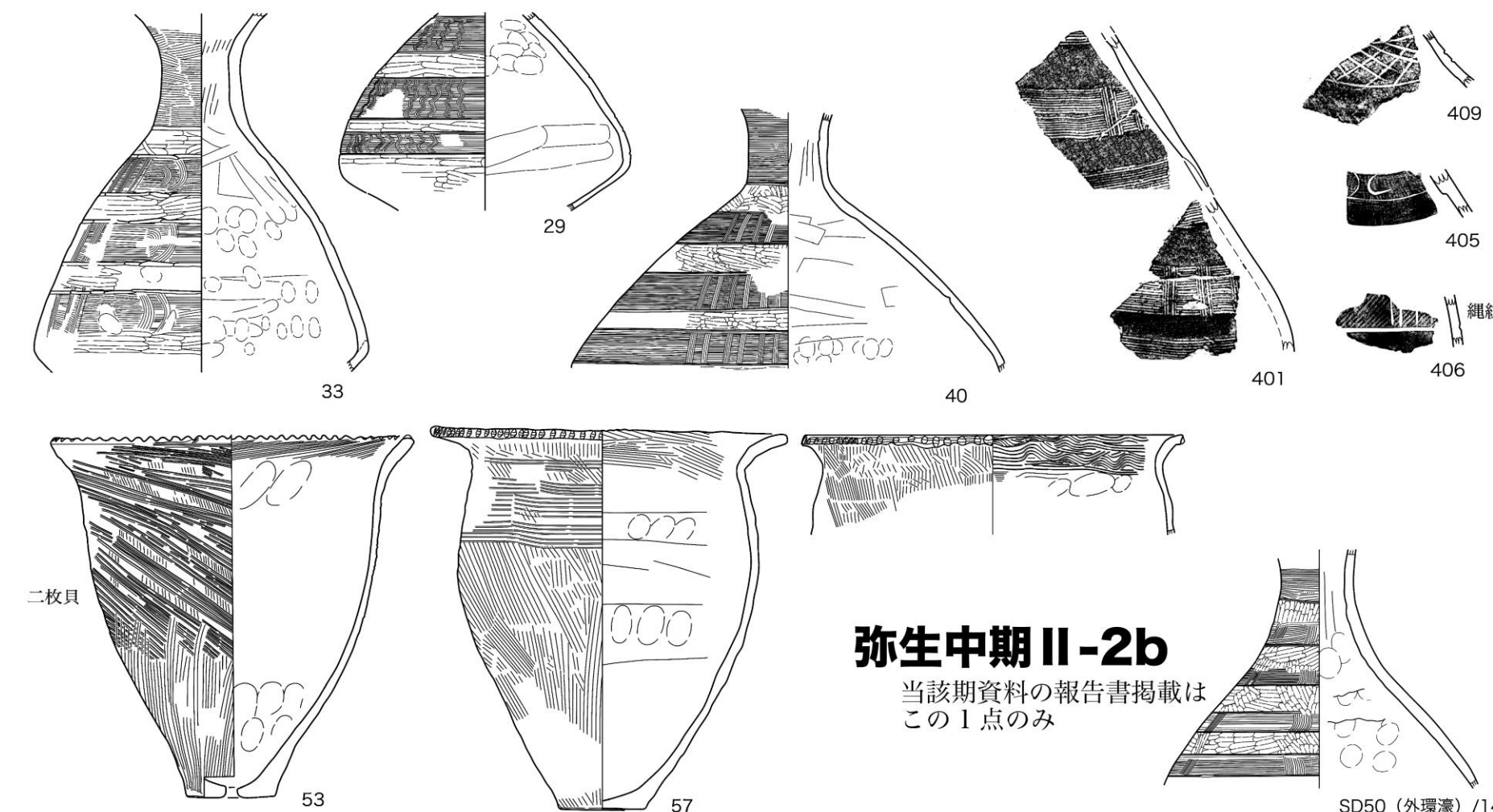
先行する時期



弥生中期II-1

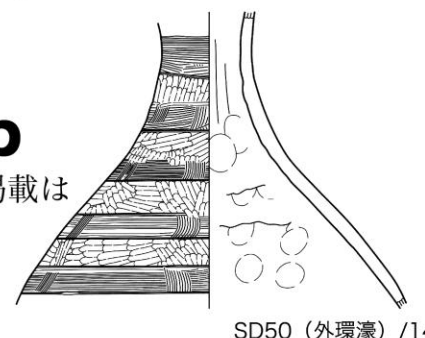


弥生中期II-2a



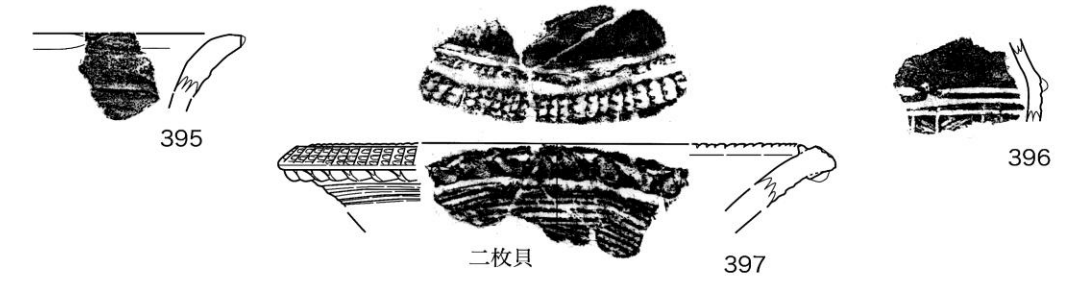
弥生中期II-2b

当該期資料の報告書掲載はこの1点のみ

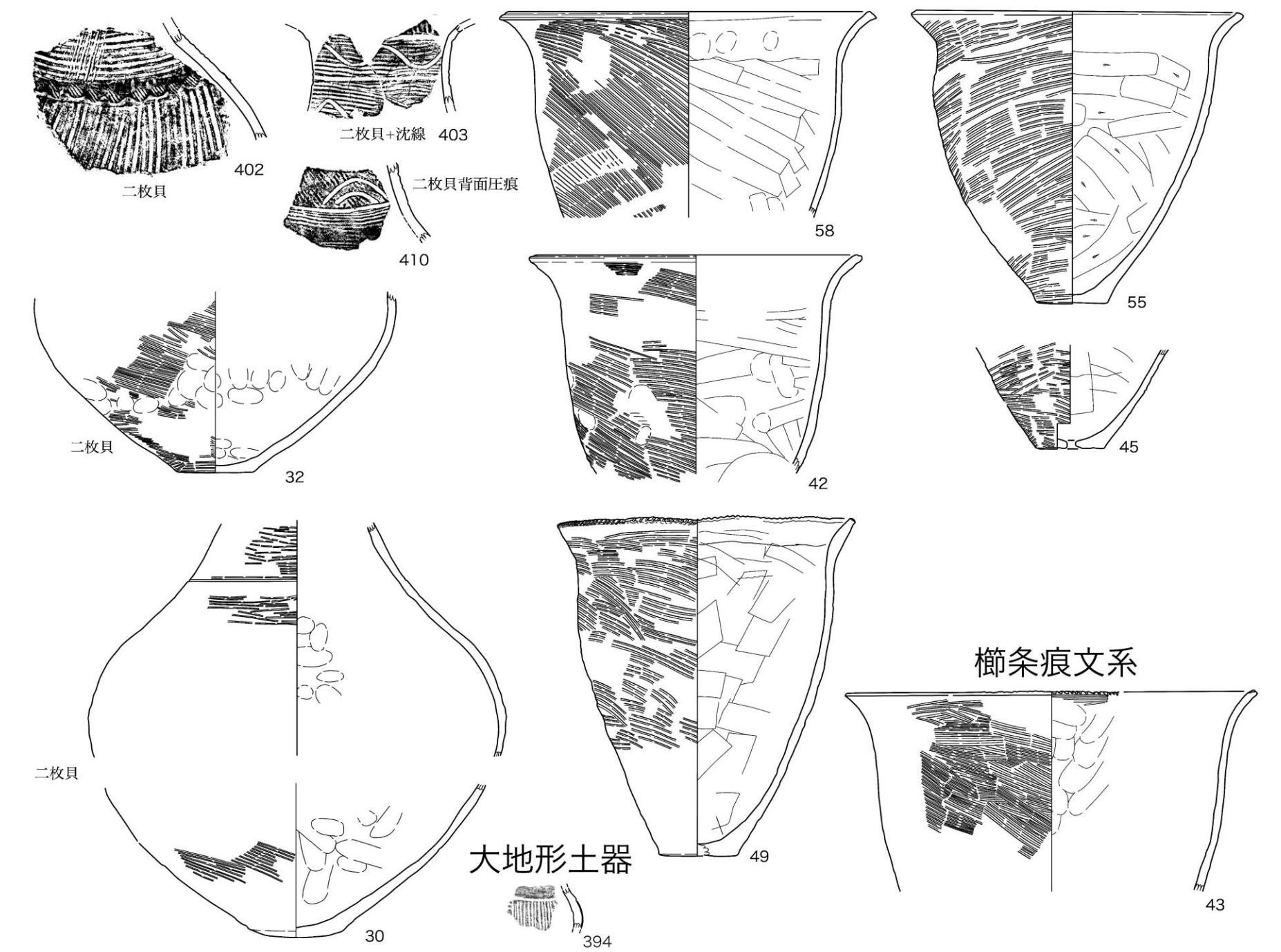


SD50 (外環濠) /14

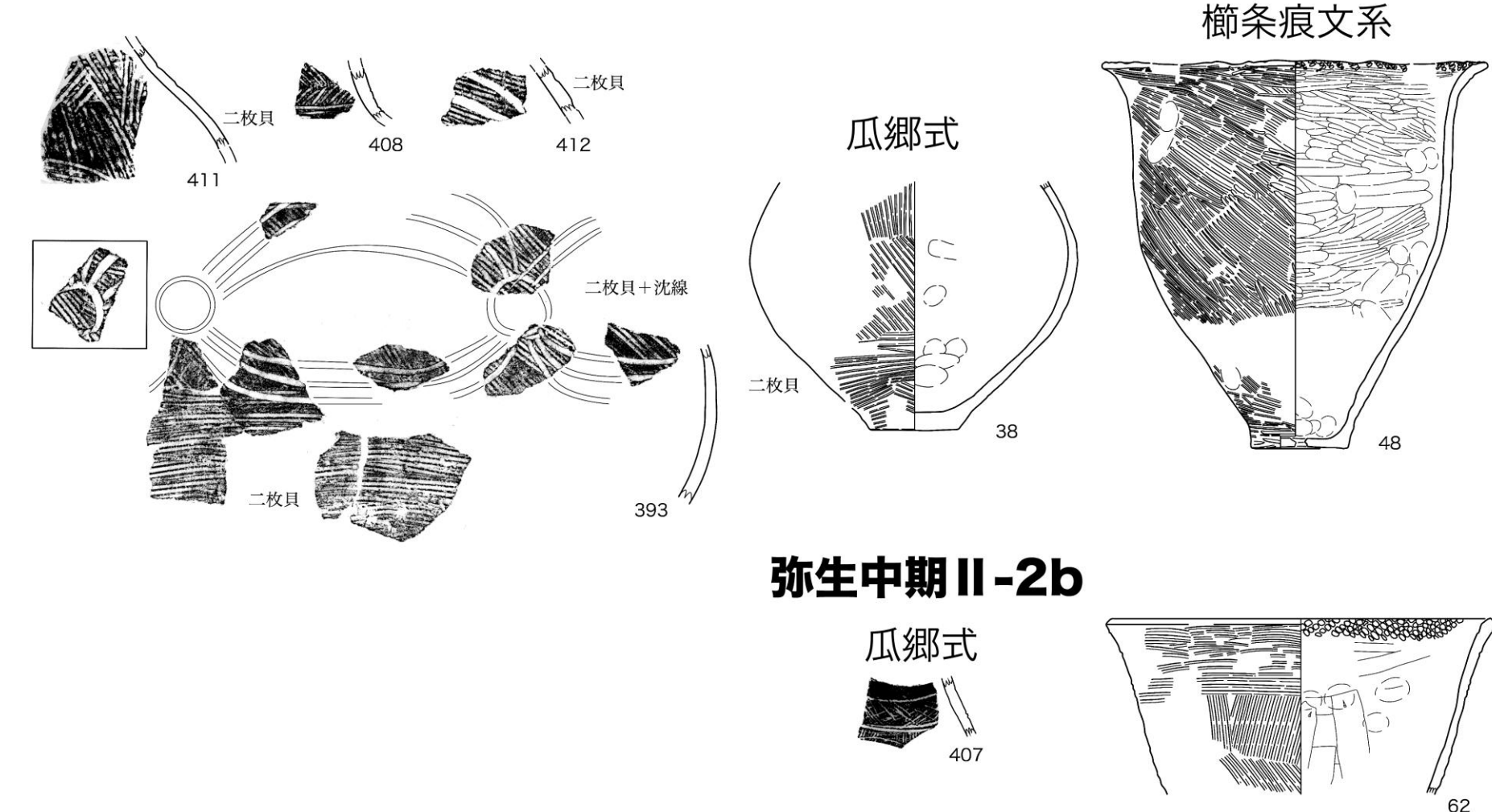
先行する時期



弥生中期II-1



弥生中期II-2a



弥生中期II-2b

瓜郷式

瓜郷式



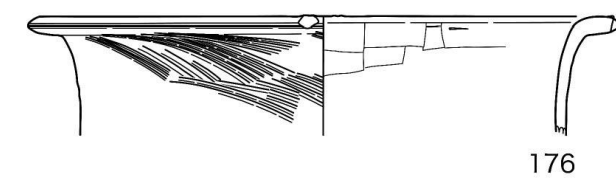
62

# 八王子遺跡

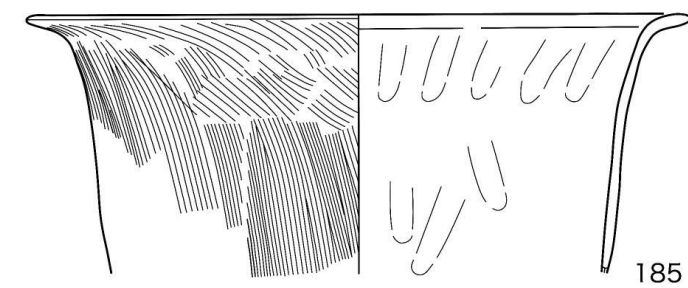
SD104

## 内環濠(壕)

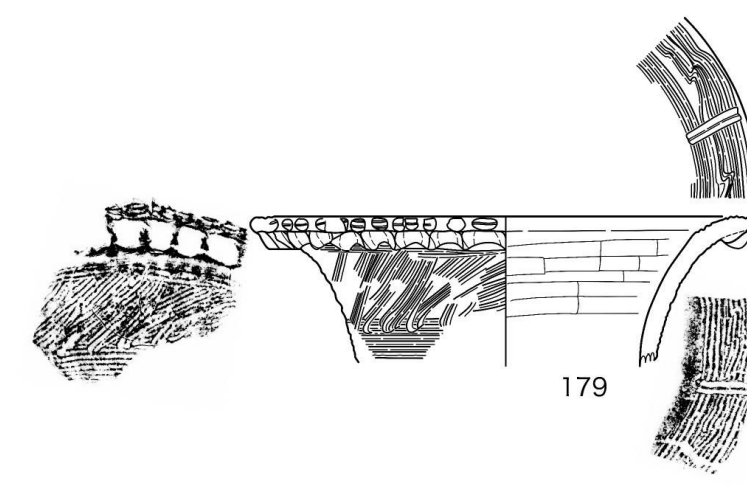
### 弥生中期 I -2b



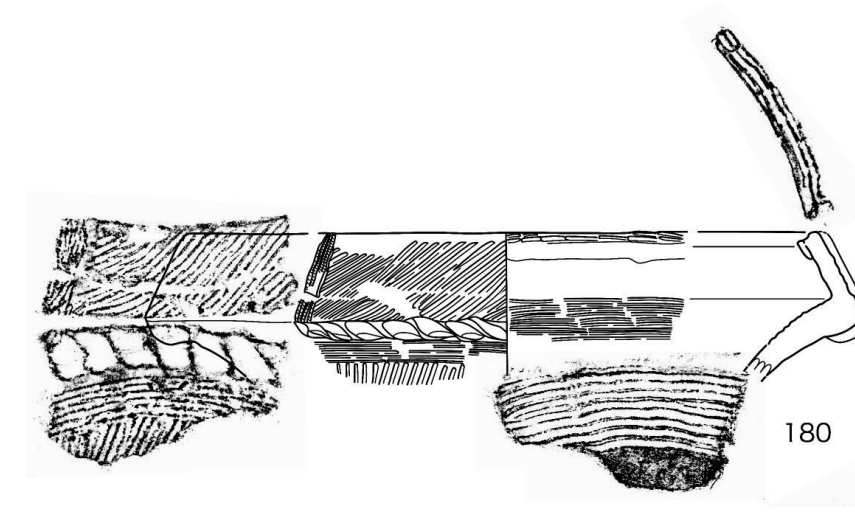
176



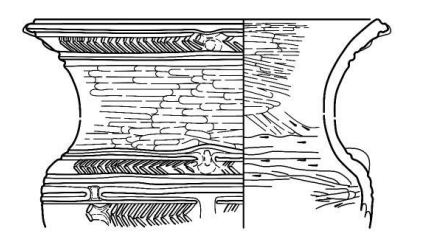
185



179



180

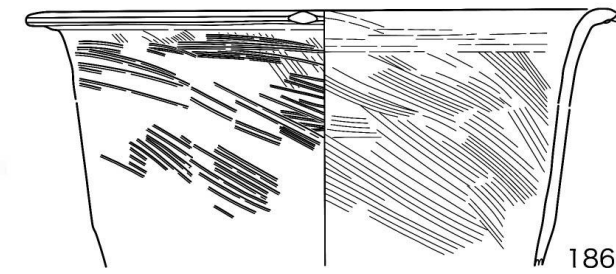


182

### 弥生中期 II -1



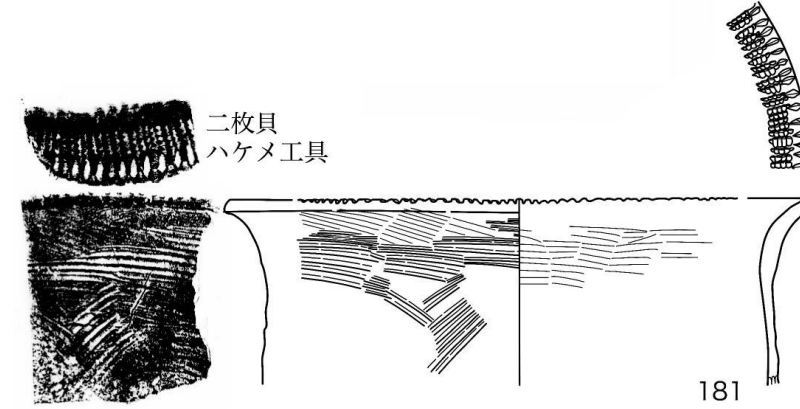
685



186

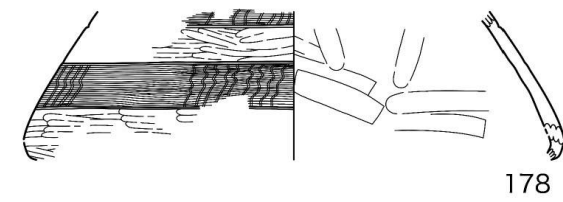


686



181

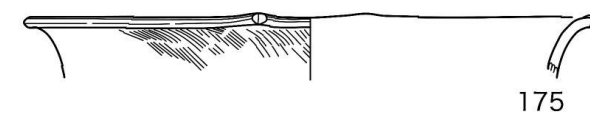
### 弥生中期 II -2a



178

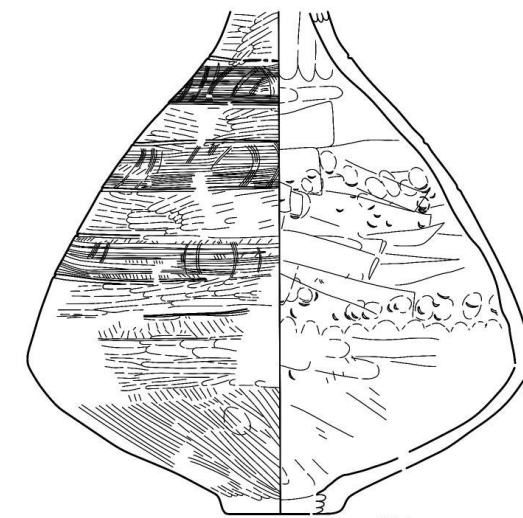


684

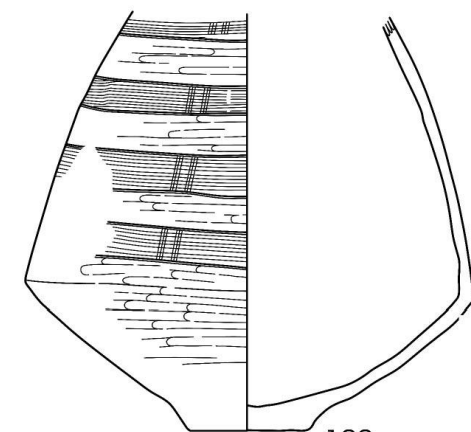


175

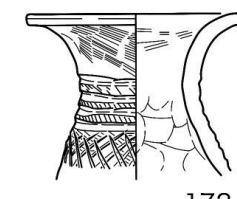
### 弥生中期 II -2b



187



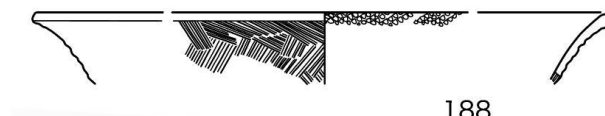
183



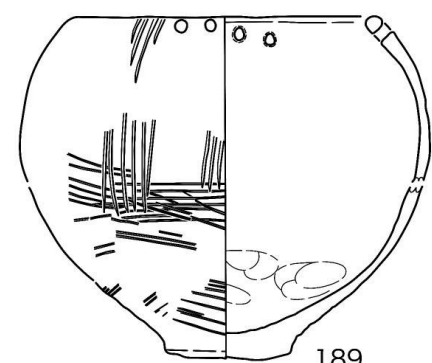
172



190

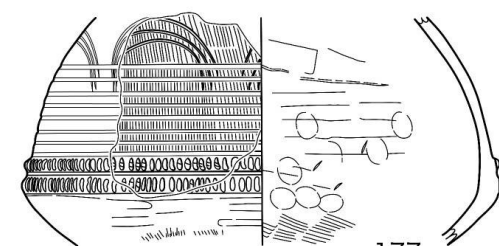


188

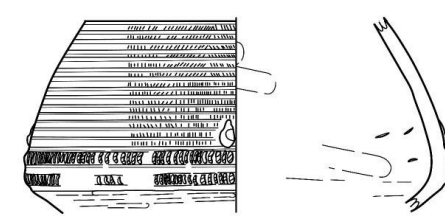


189

### 弥生中期 III -2b



177



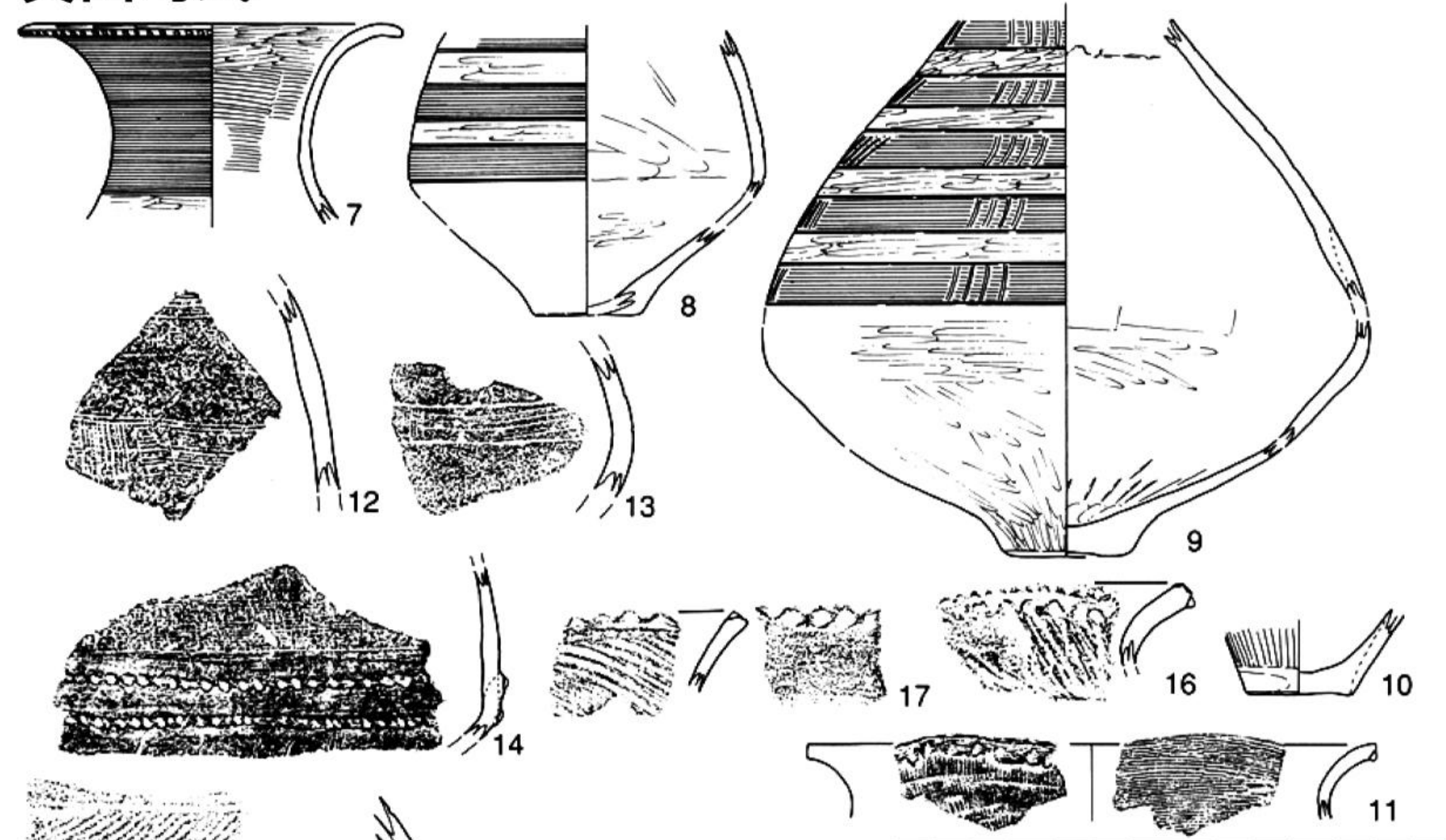
174



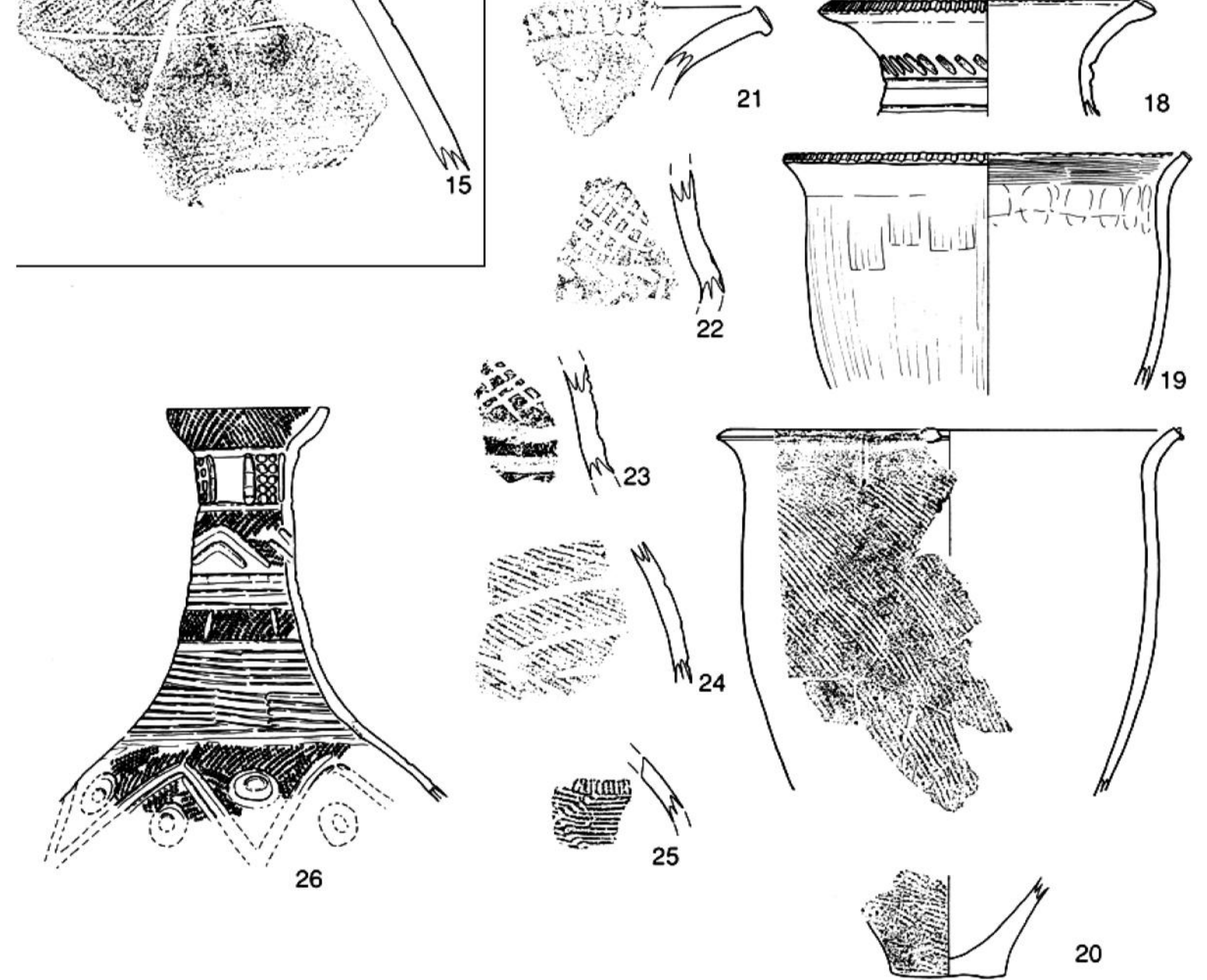
# 西上免遺跡

BC3世紀

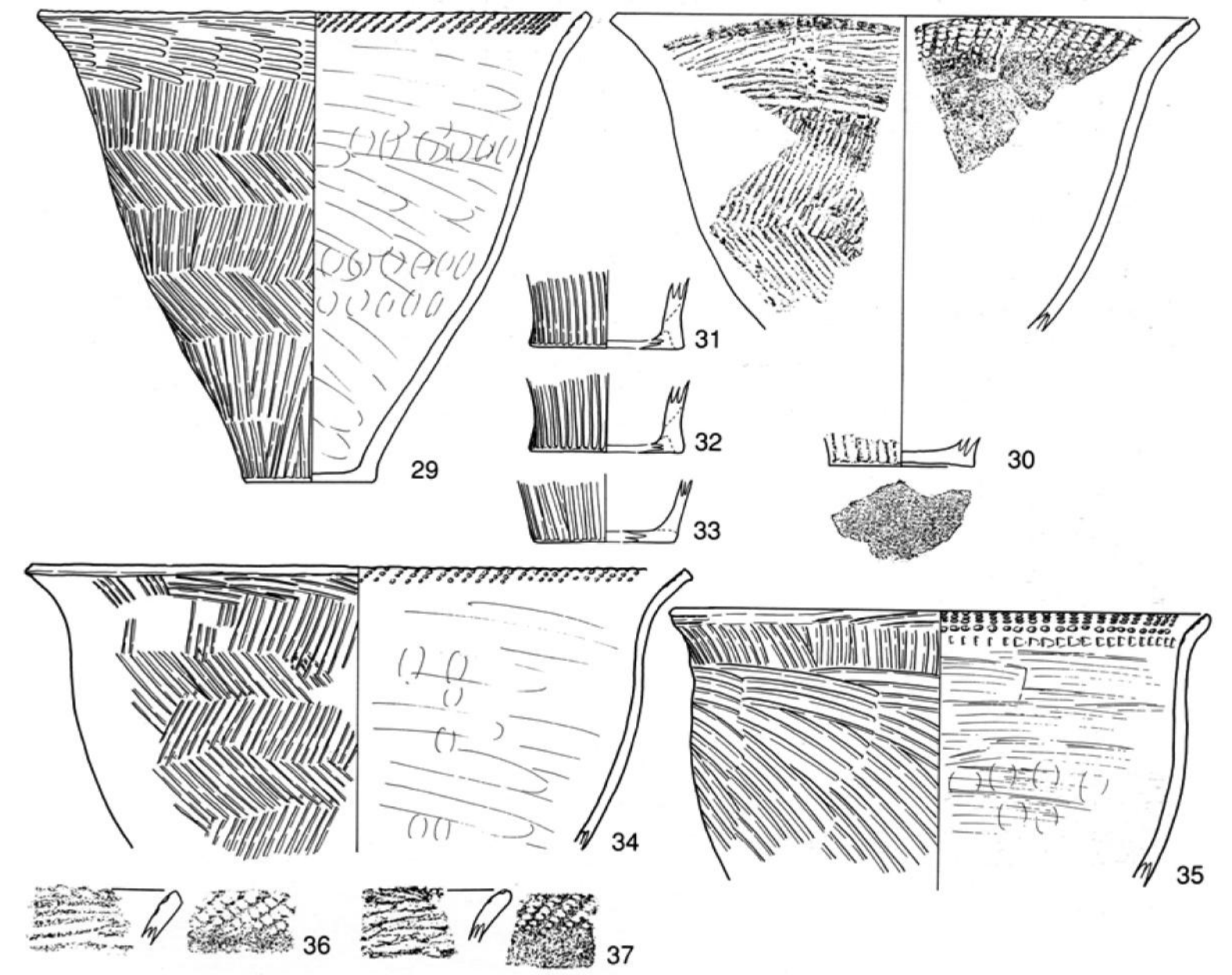
## 貝田町式



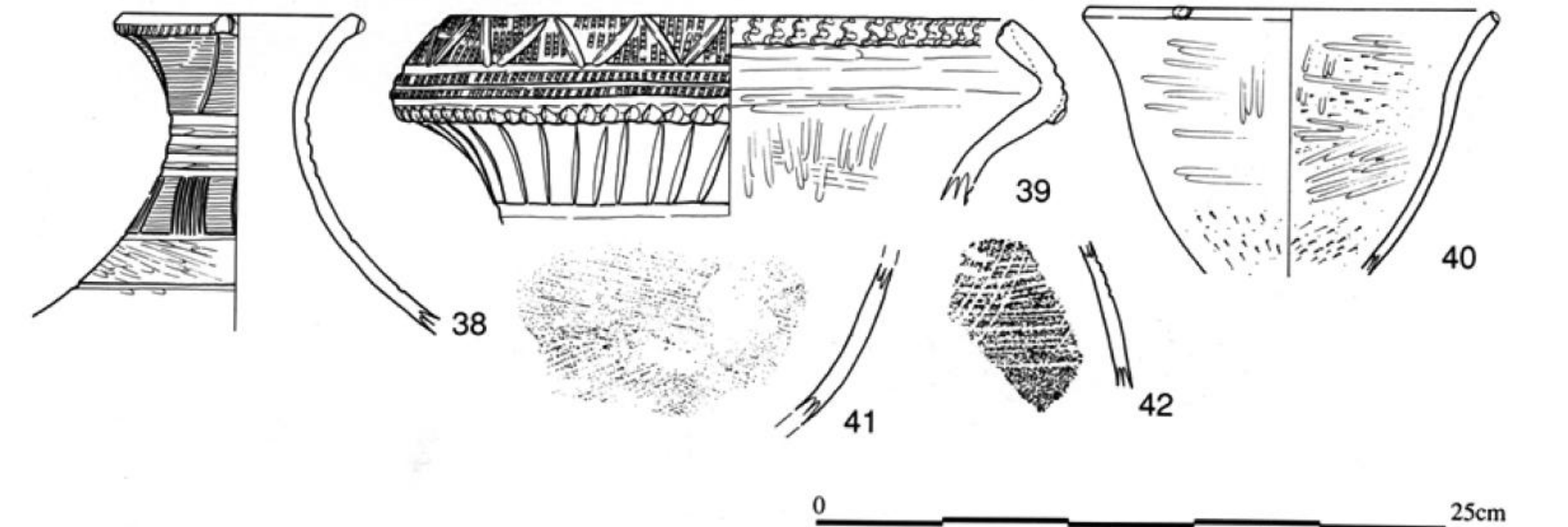
## 二枚貝条痕系



## 櫛条痕系

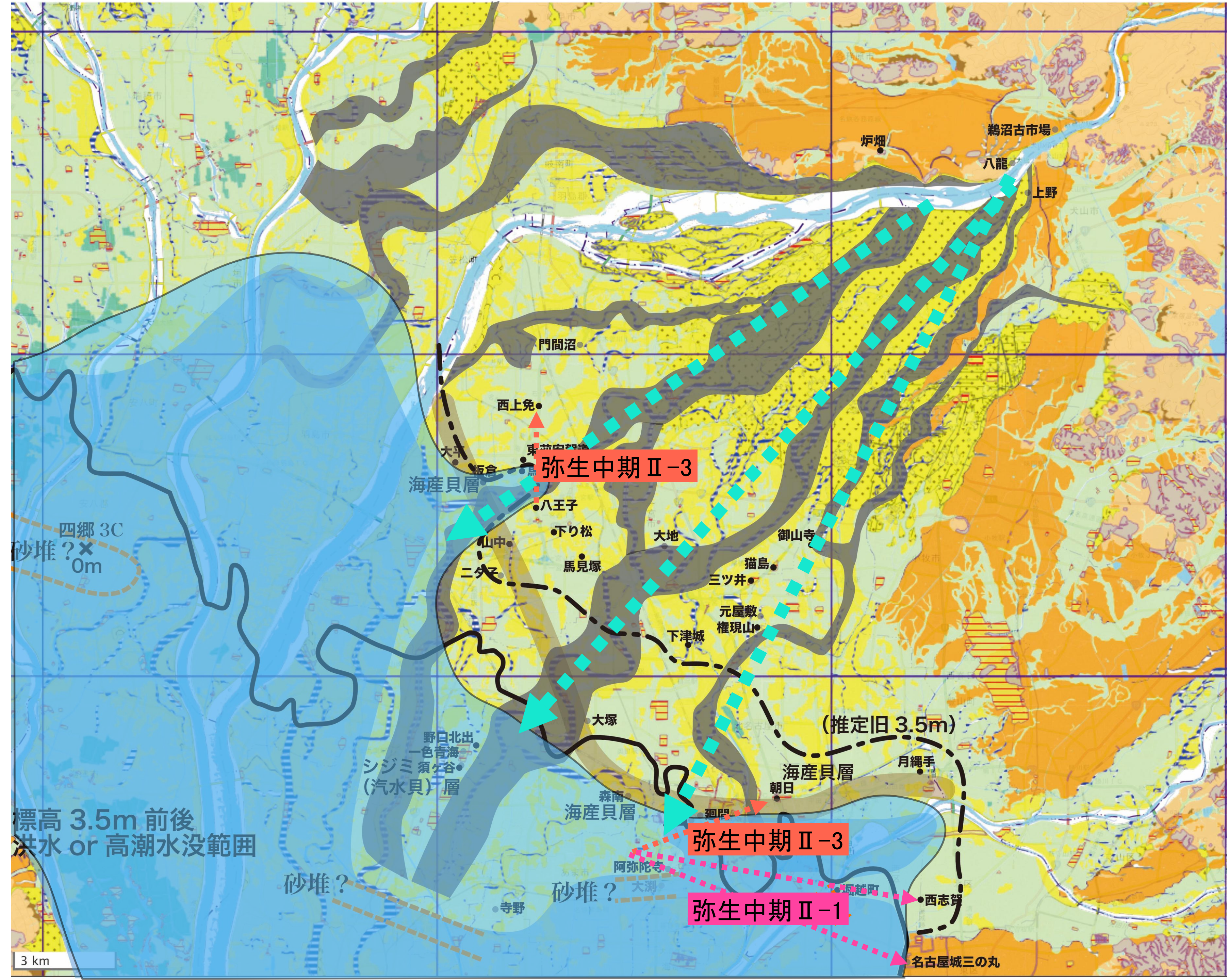


## 瓜郷式

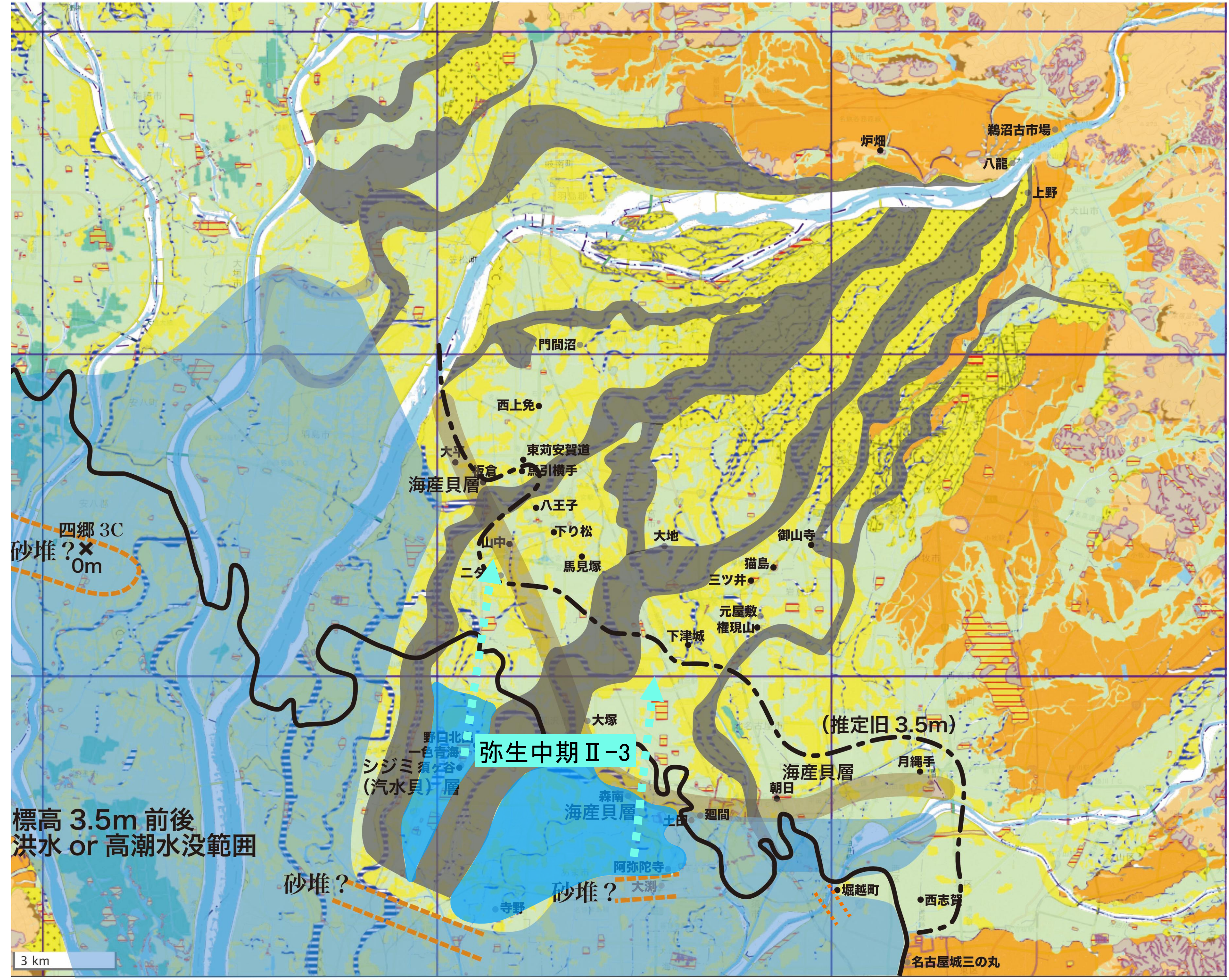


0 25cm

弥生中期中葉に洪水  
直後には復旧

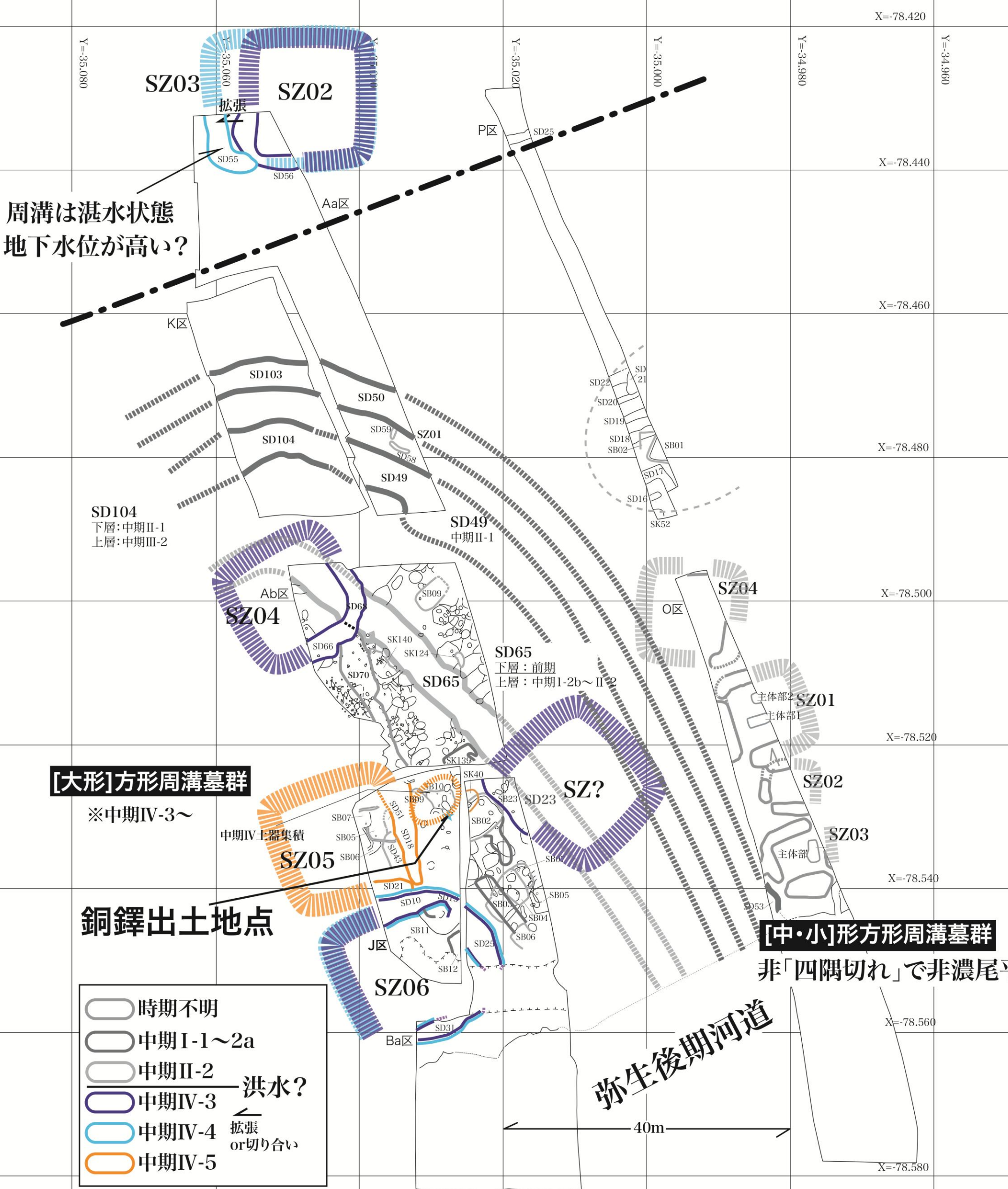


# 弥生中期Ⅳの湿地化範囲 人々は徐々に移動

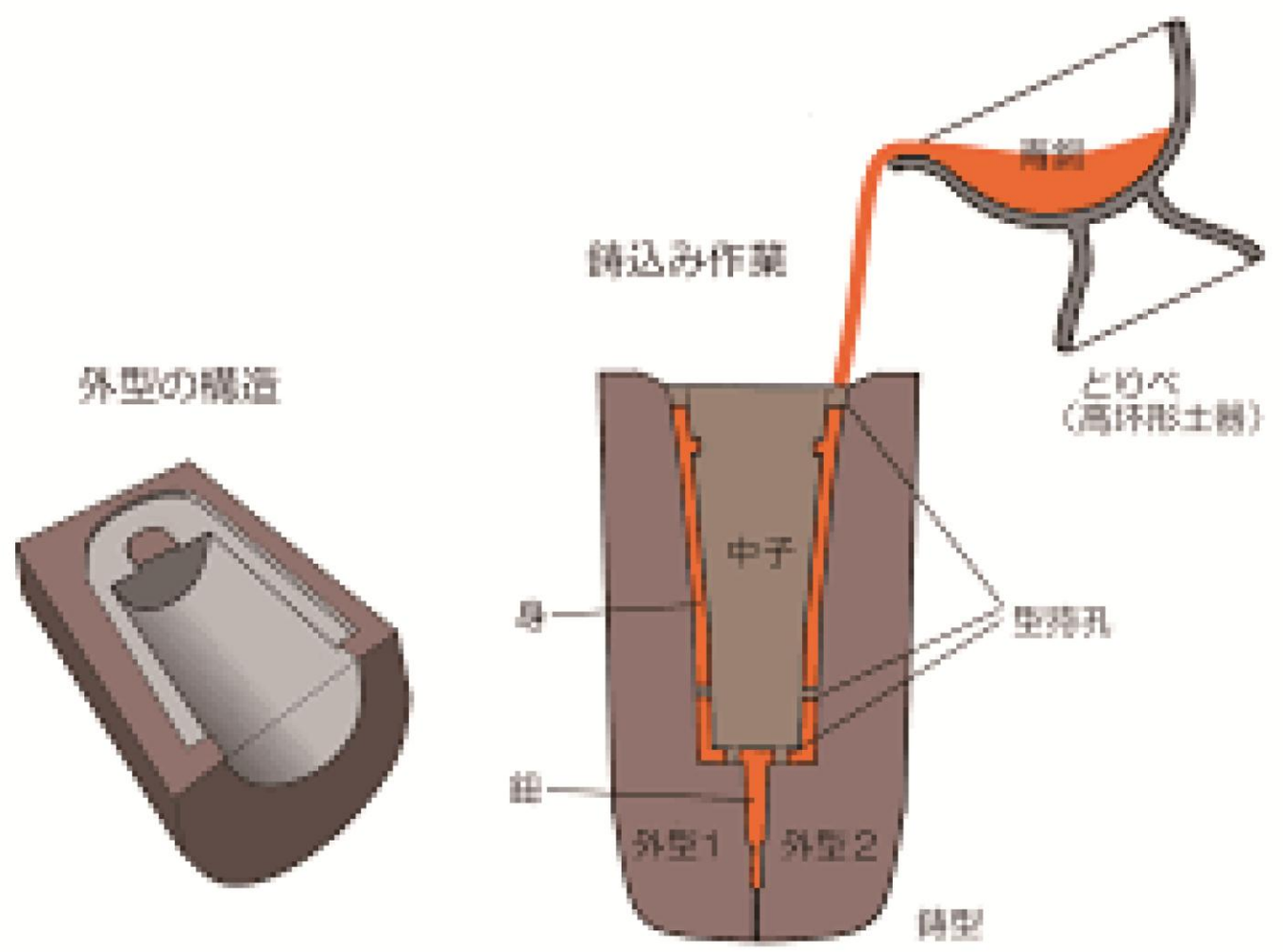
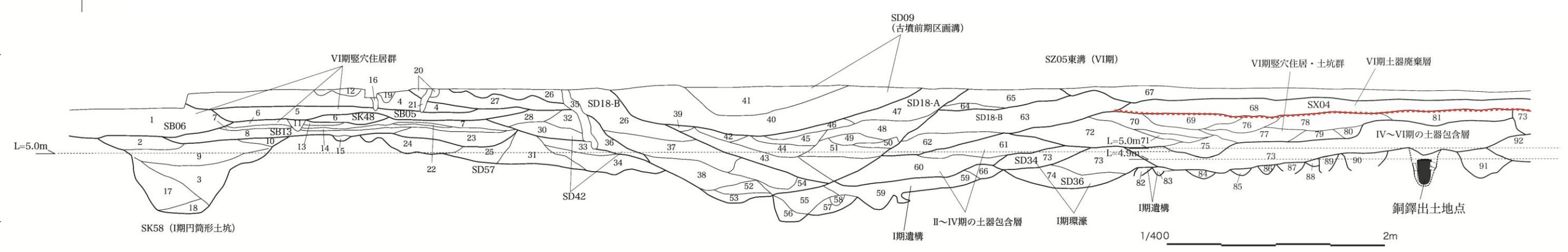


# 八王子遺跡の弥生中期IV方形周溝墓群

BC1世紀



# 八王子銅鐸



J区銅鐸出土状況 (A: VI期)



J区銅鐸出土状況 (A: VI期)

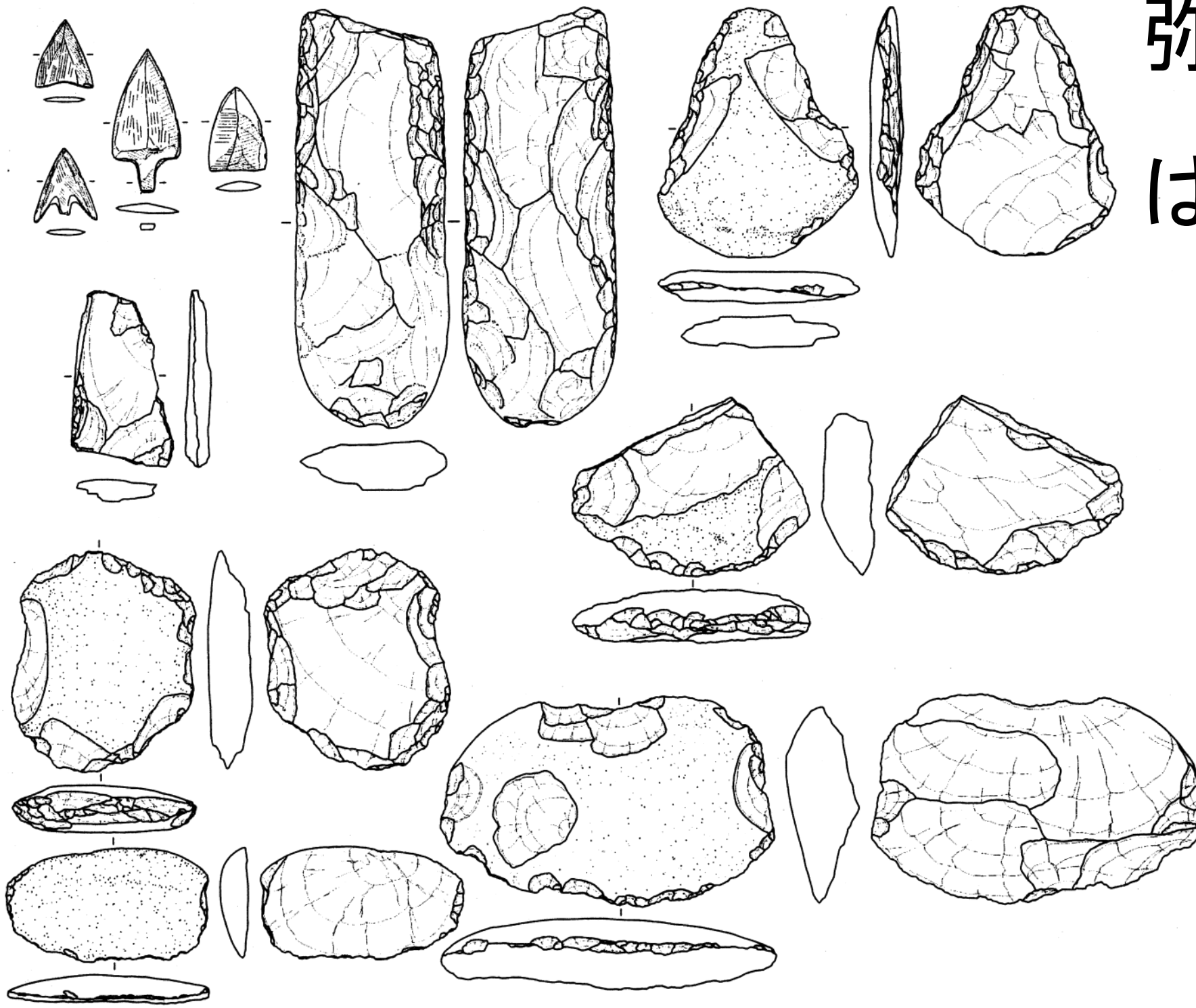


J区銅鐸出土状況 (A: VI期)



J区銅鐸出土状況 (A: VI期)

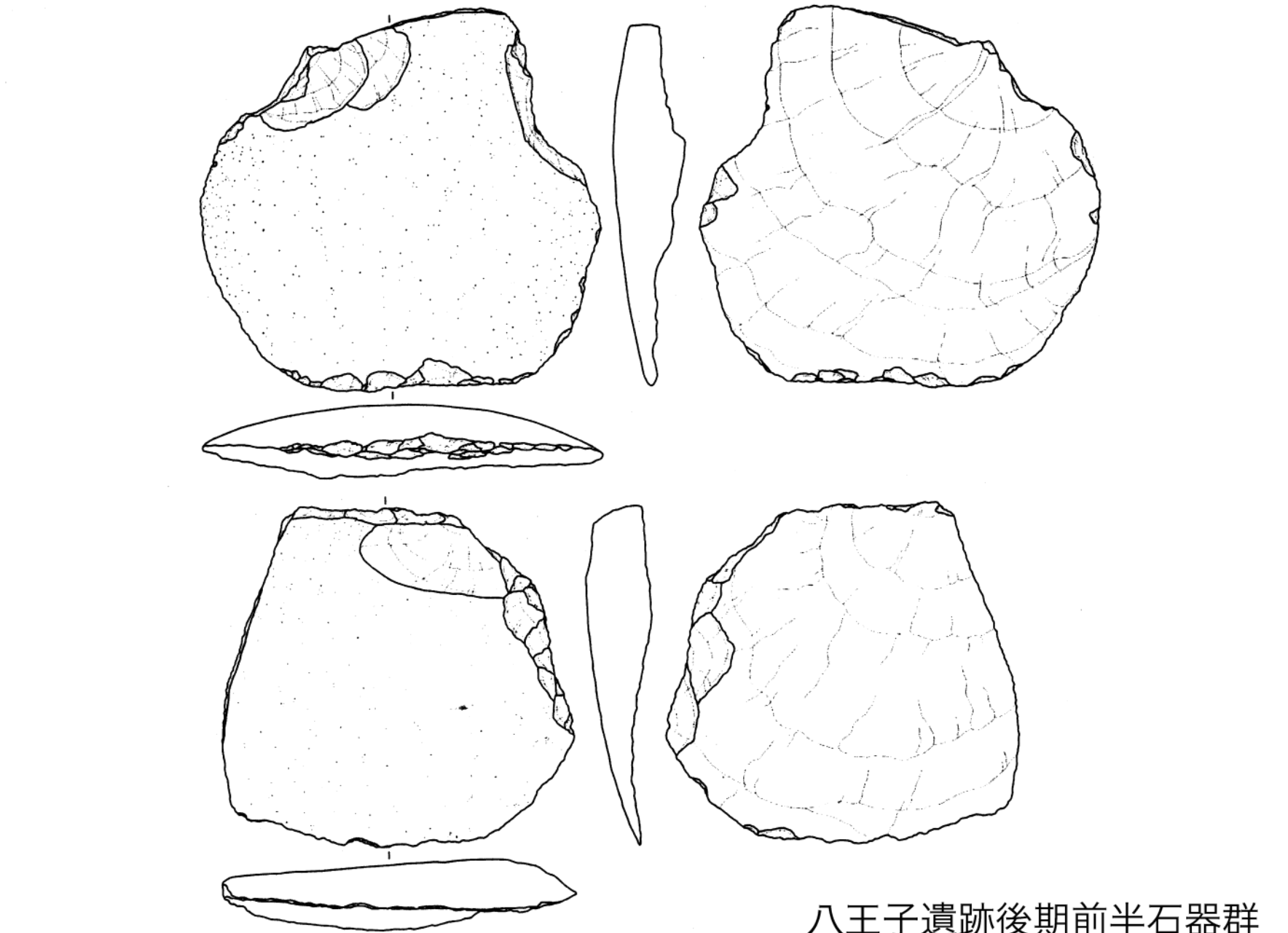
# 八王子遺跡



# 弥生後期

# の打製石器

AD1世紀



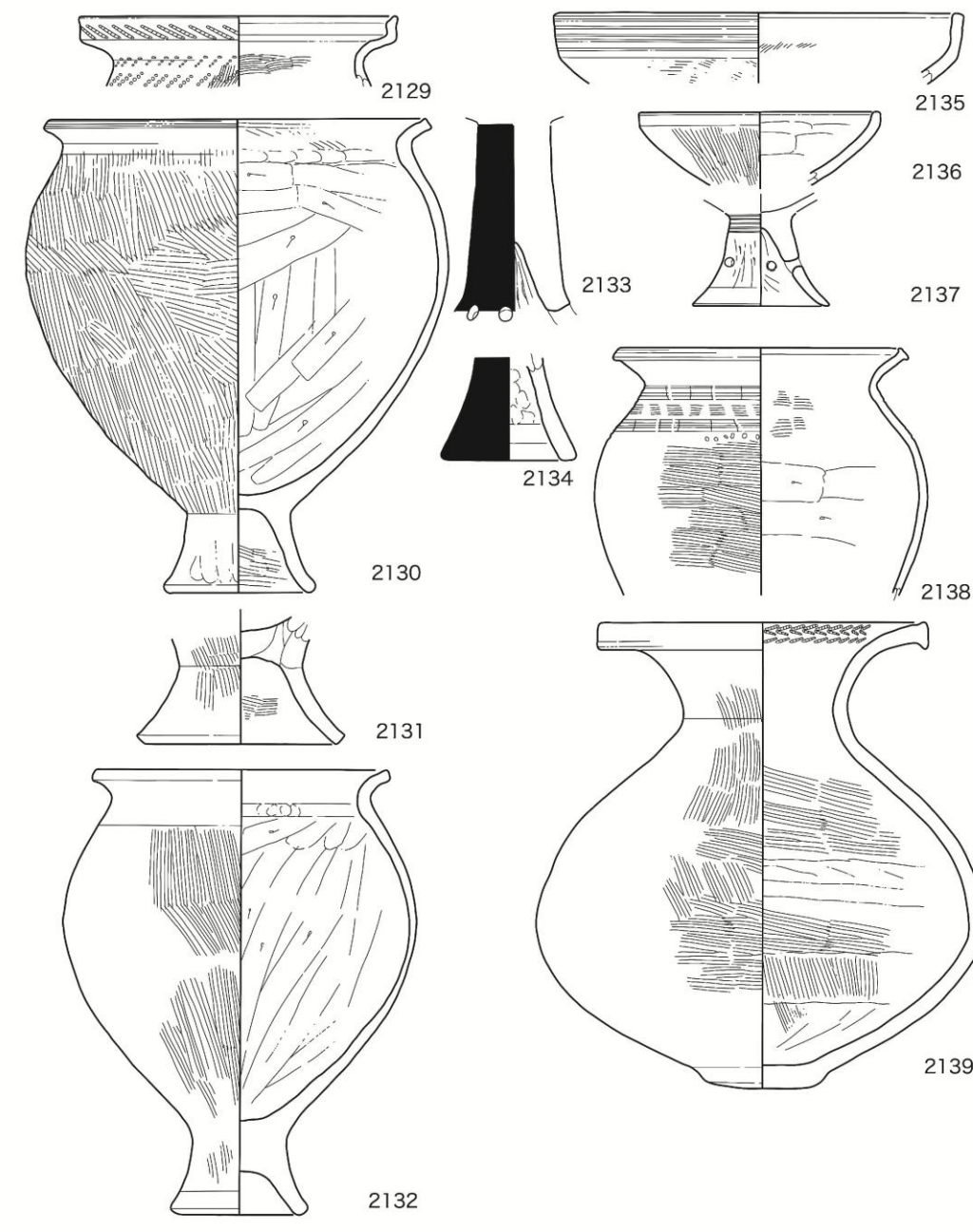
八王子遺跡後期前半石器群

# 弥生後期

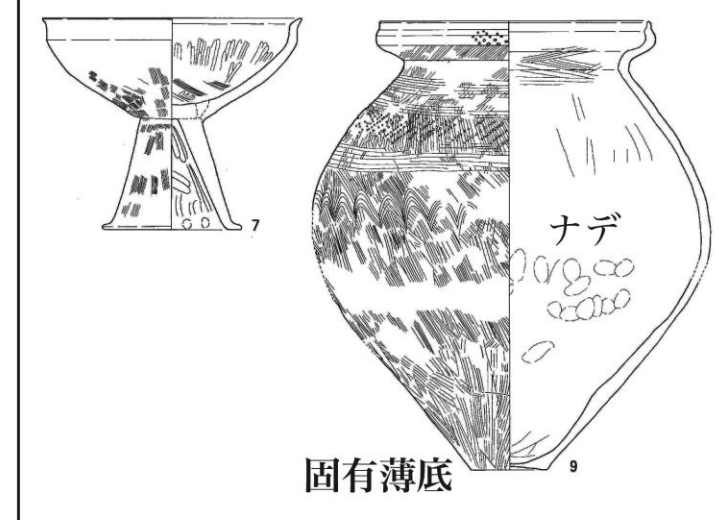
# はじめの土器

AD1世紀

一宮市八王子 E 区 SB16



岐阜市岩田東 A

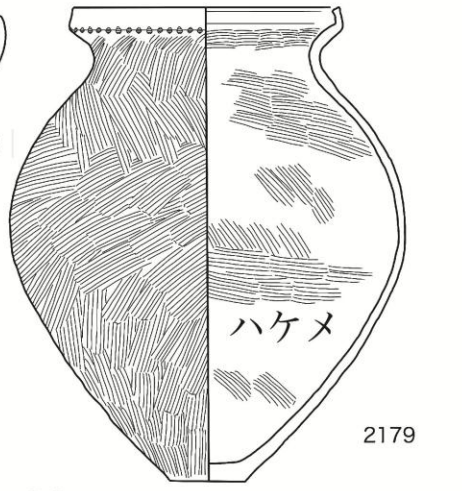


固有薄底

E 区 SB14

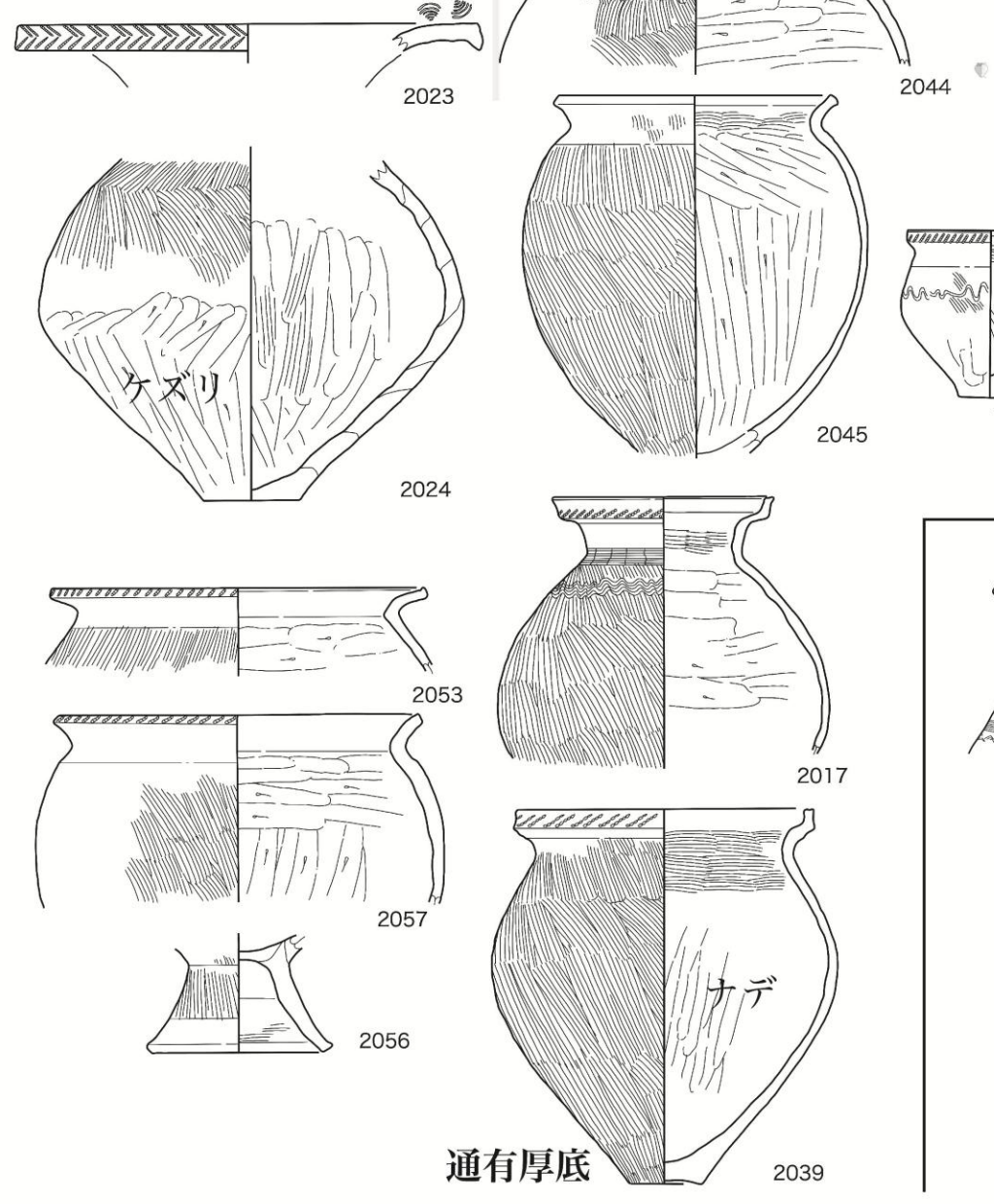


Hb 区 SB22

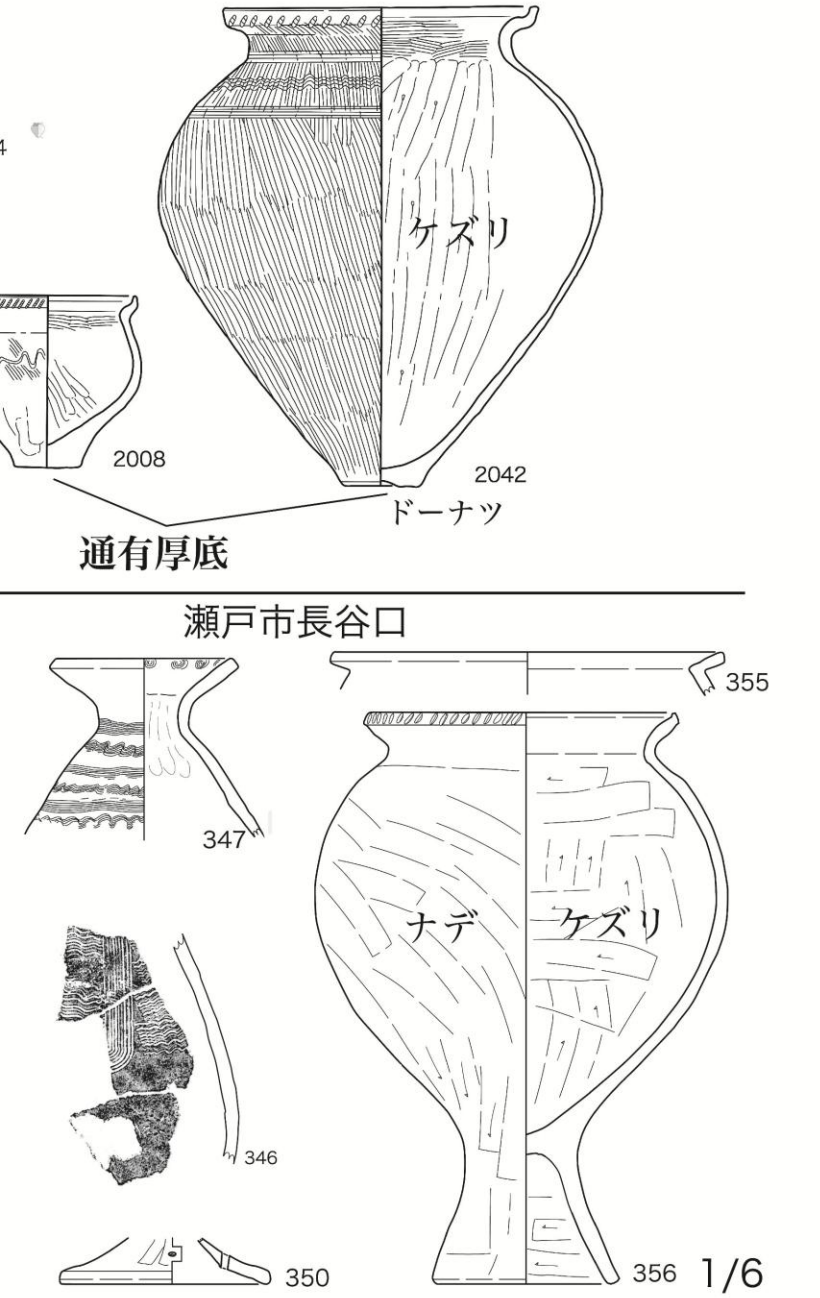


E 区 SB30

一宮市八王子 NR01



瀬戸市長谷口



通有厚底

通有厚底

356 1/6

# 現木曾川



門間沼

西上免

大平

板倉

東苅安賀道

馬引横手

八王子

下り松

山中

ニ夕子

馬見塚

大地

御山寺

猫島

三ツ井

元屋敷

権現山

下津城

野口北出

一色青海

須ヶ谷

大塚

森南

朝日

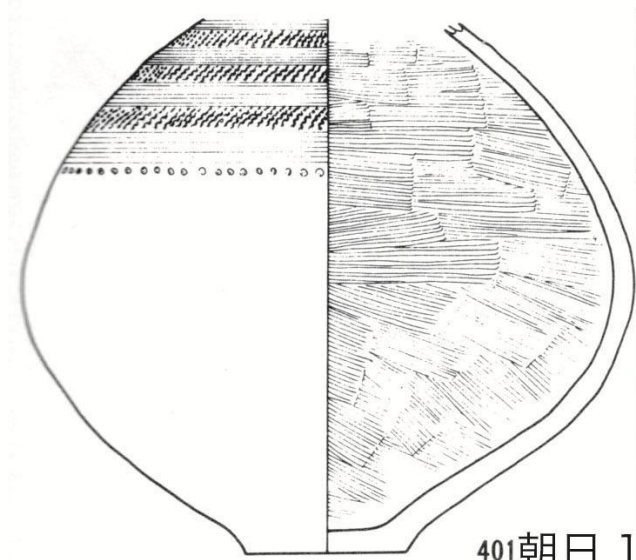
月縄手

現 10m

現 3.5m

# 弥生後期の二枚貝刺突文土器

AD1世紀



401朝日 1982



サルボウ

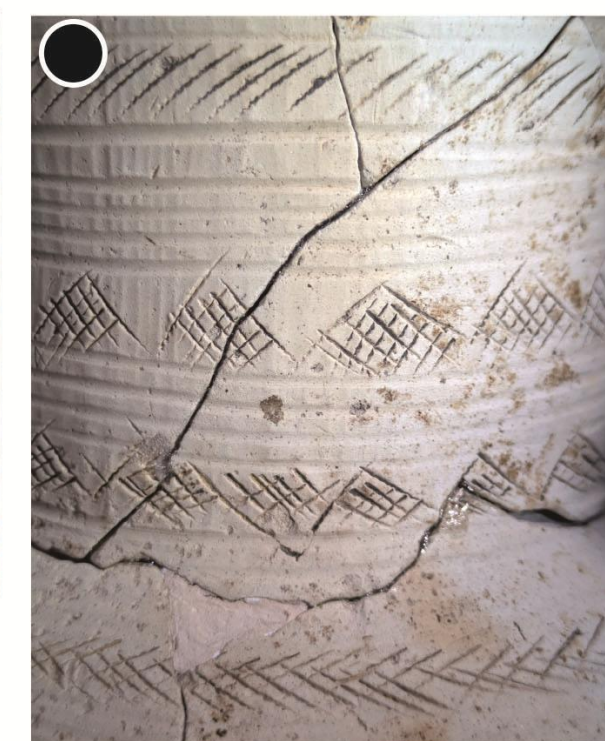


朝日VIII 05Aa-063SB-d079 289

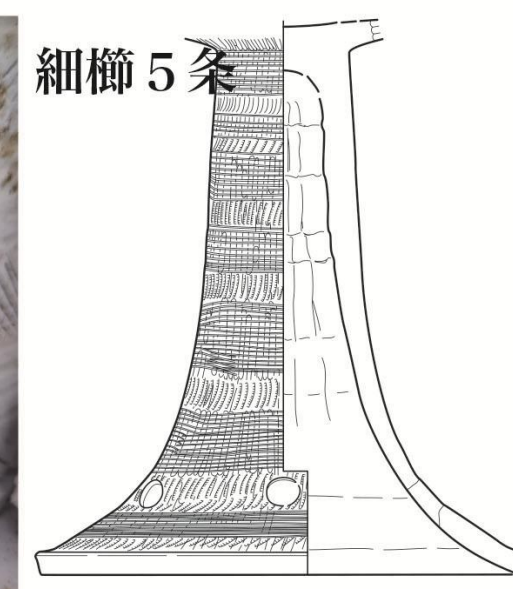
沈線



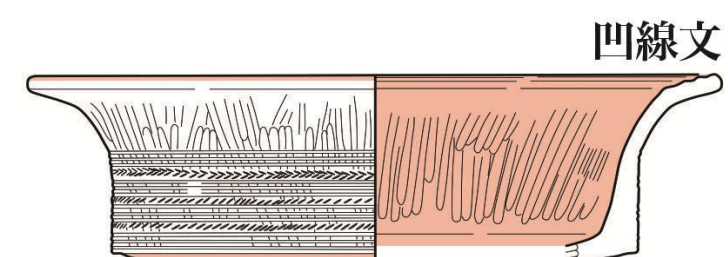
沈線 + 櫛3条



細櫛5条

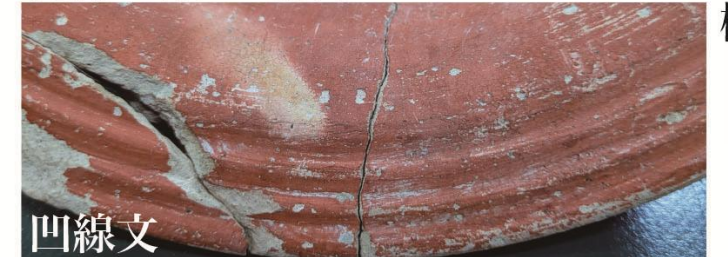


朝日VII E-01Aa-179



凹線文

沈線3条 朝日VIII 06A-西トレ-d001 652



凹線文



櫛5条

朝日V 981

横2個1対円孔

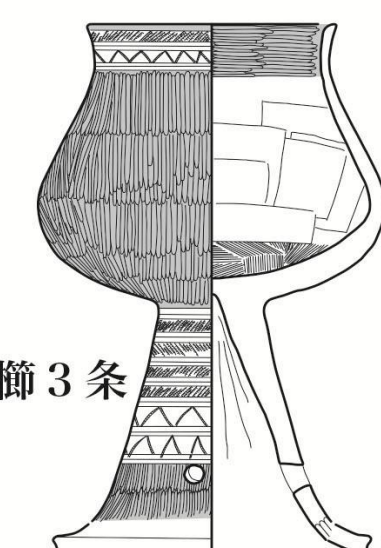


ヘラ刺突



櫛3条

朝日VI 1751

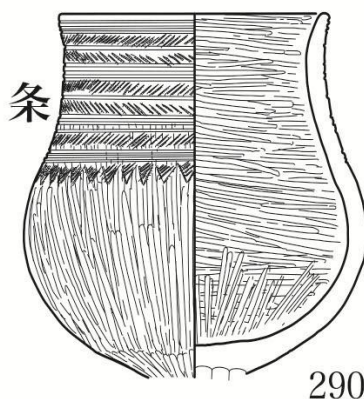


櫛3条

朝日VIII 04Ab-SD01-3層-d077 94



沈線3条



290

05Aa-063SB-d078 朝日VIII



04Bb-SD01-上層-d013 667 朝日VIII



櫛4条

櫛4条

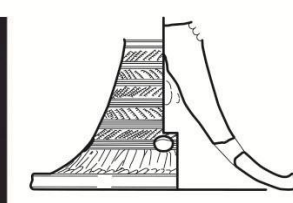
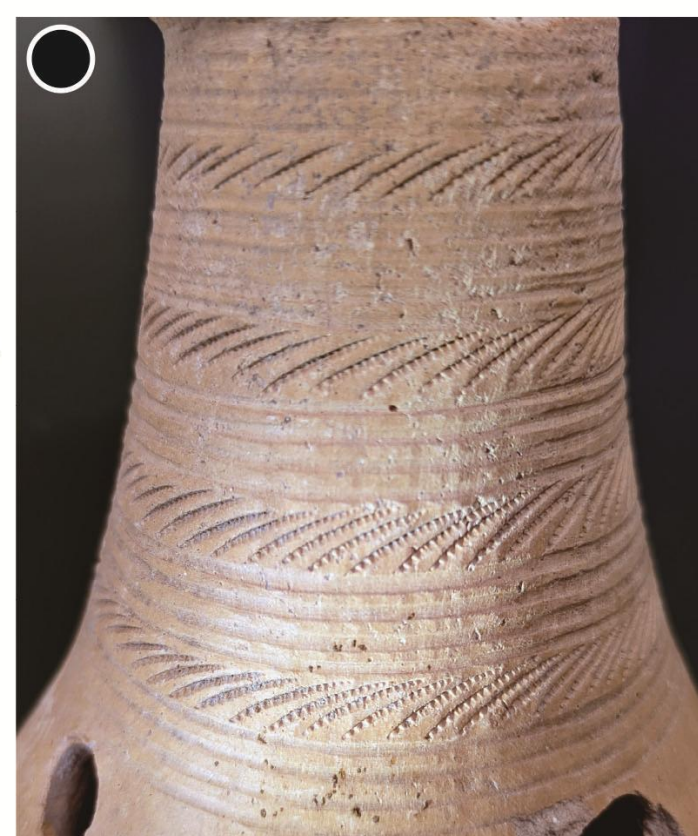
櫛5条



櫛4条

朝日VIII 663

04Bb-SB12-d165.171



343 05Ab-113SD-d550 朝日VIII

櫛3条



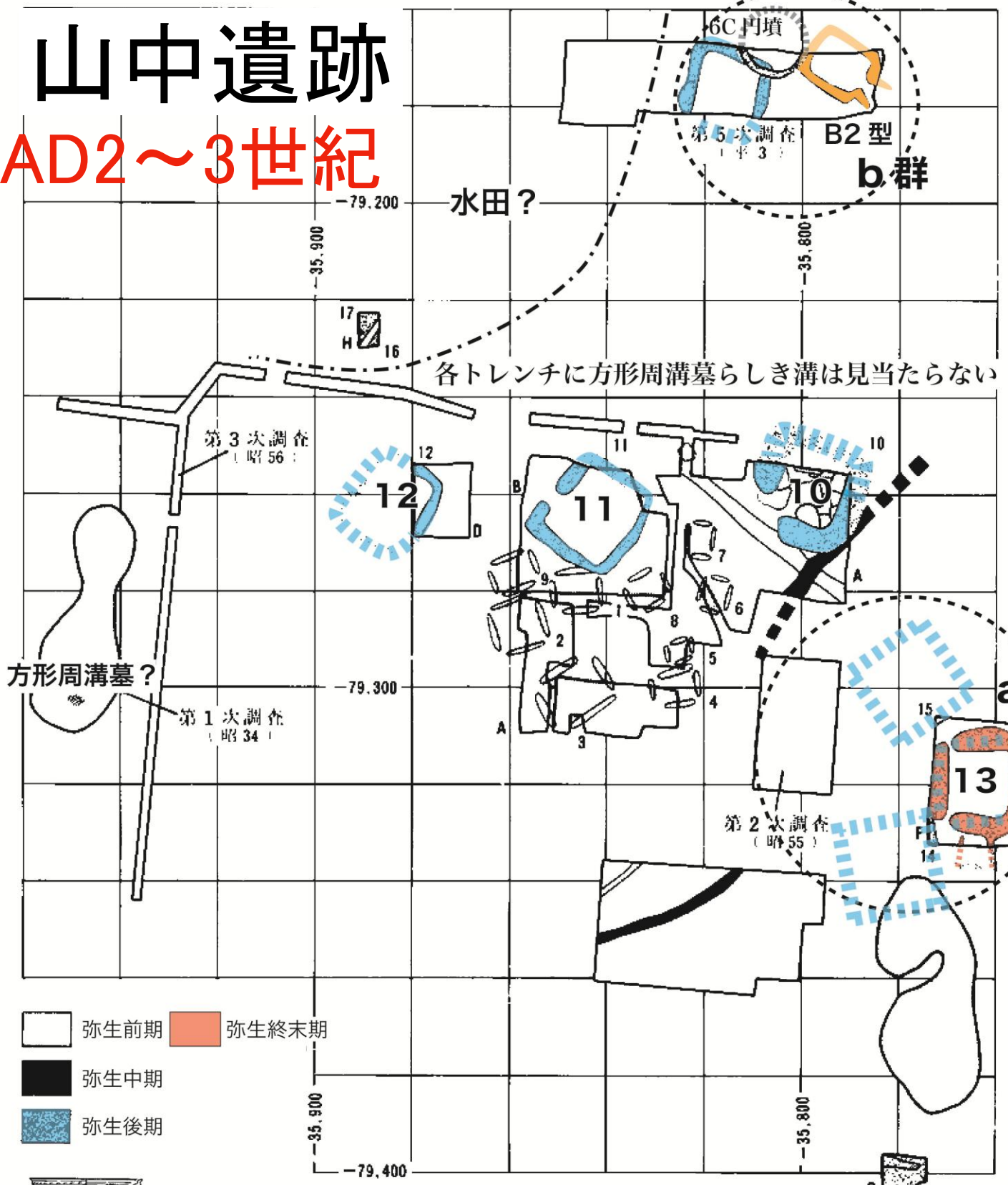
櫛2条

外洋産二枚貝 ●

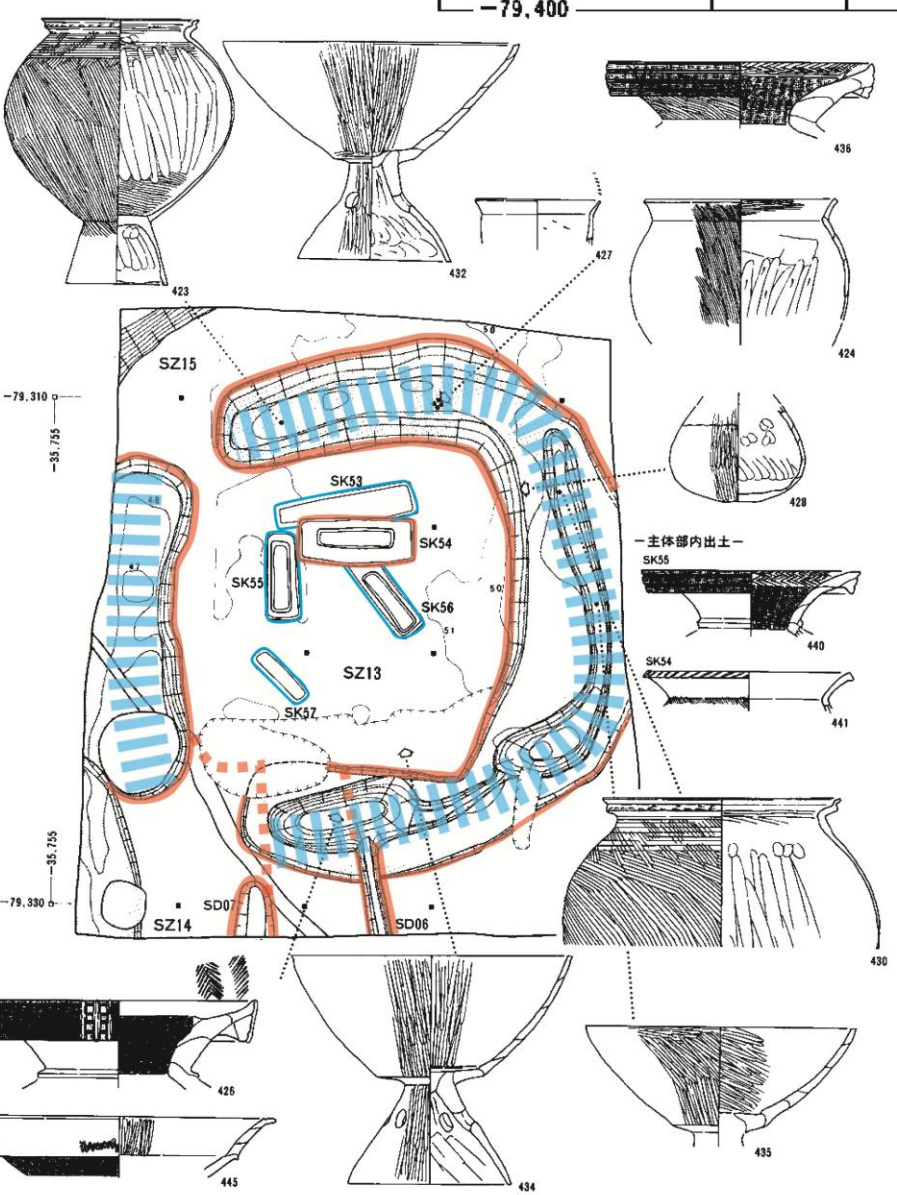
ベンケイガイ・タマキガイ

# 山中遺跡

AD2~3世紀

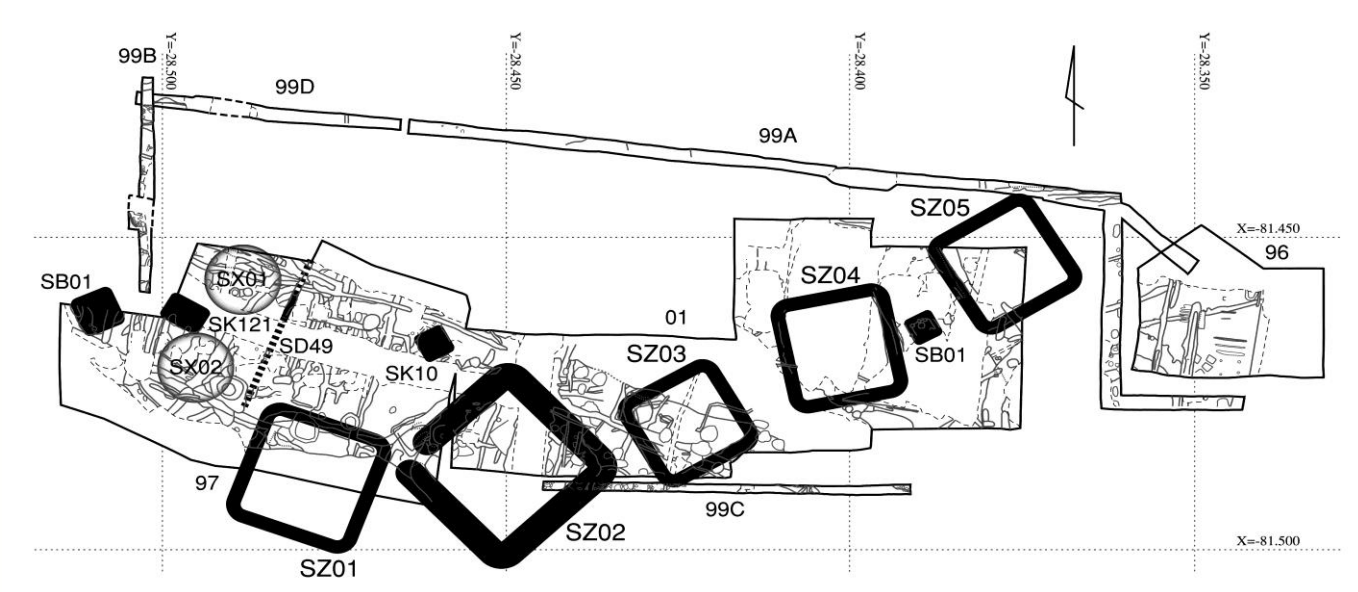


- 弥生前期
- 弥生中期
- 弥生後期
- 弥生終末期

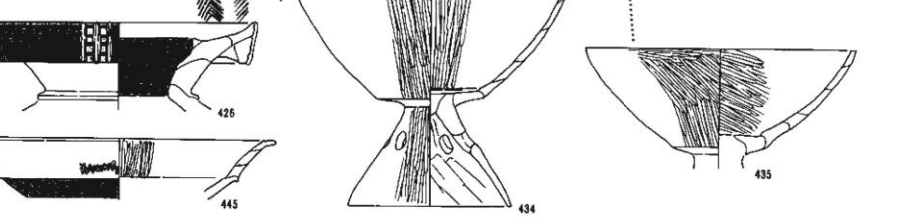


報告書では後期後半の方形周溝墓に弥生終末期に突出部を付設したとされている。主丘と突出部の間の溝は埋め戻されていたかは不明。

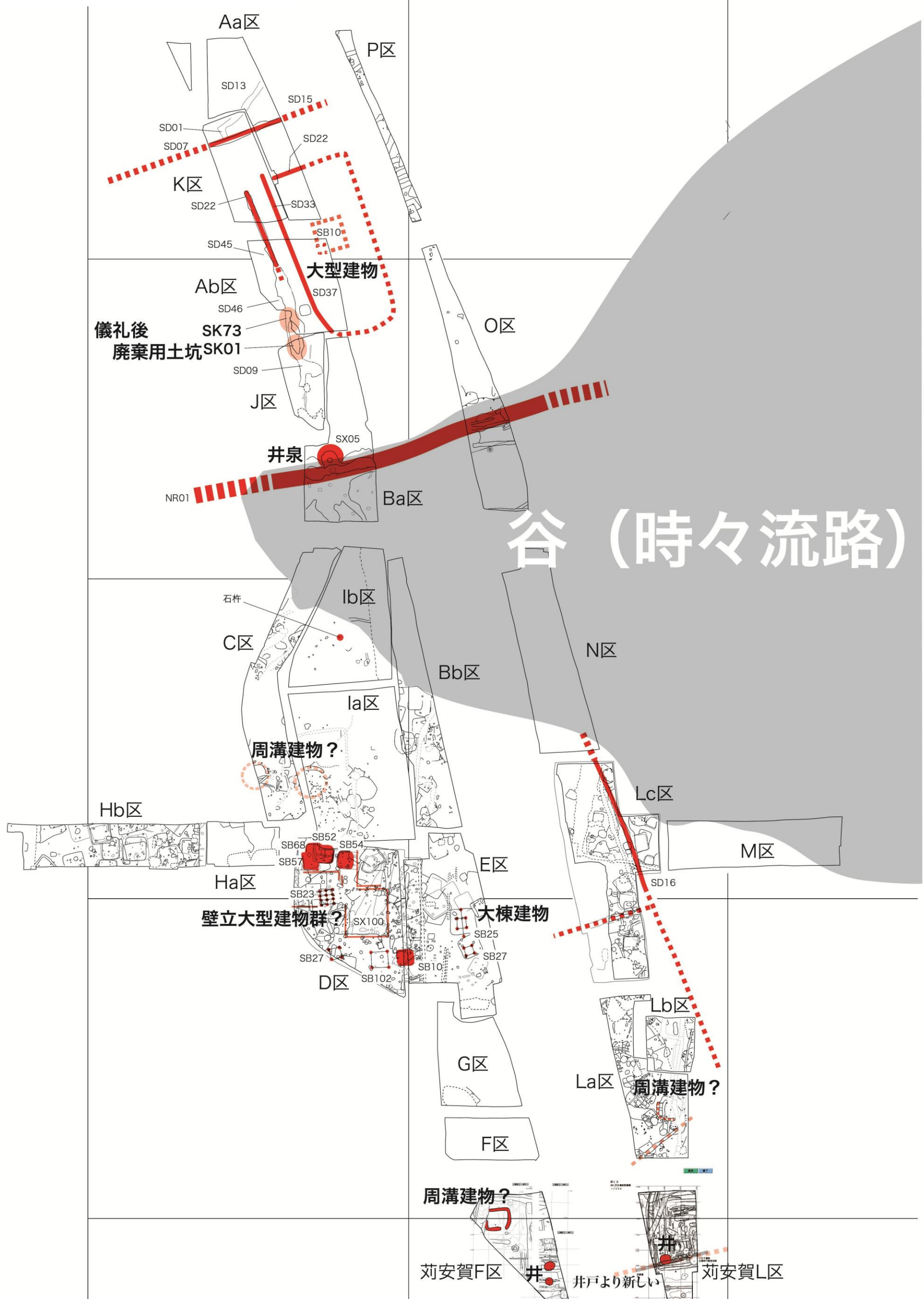
# 岩倉市権現山遺跡



AD2世紀



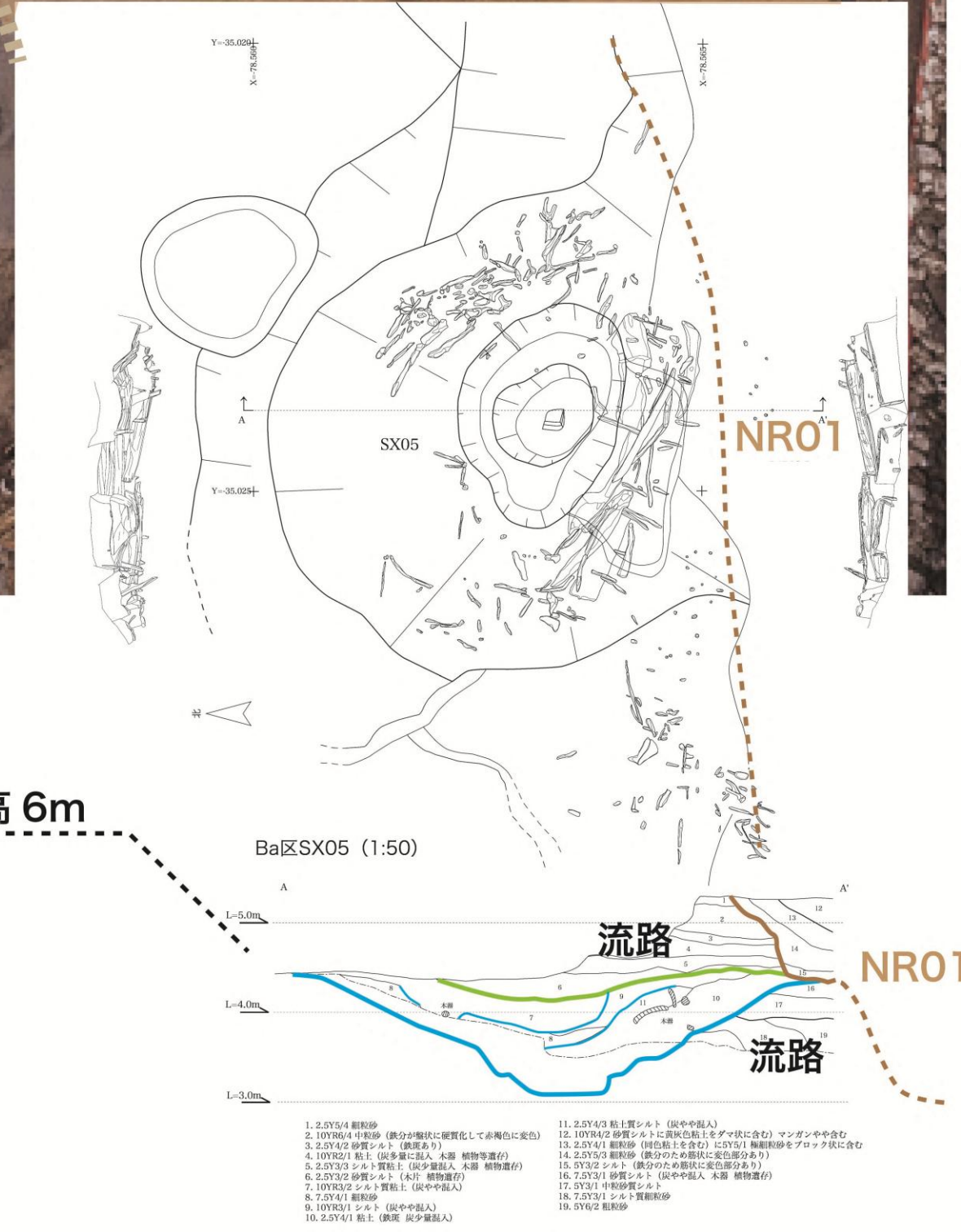
# 八王子遺跡 AD3世紀



X=-78400  
X=-78500  
X=-78600  
X=-78700  
X=-78800

(1 : 2,000)

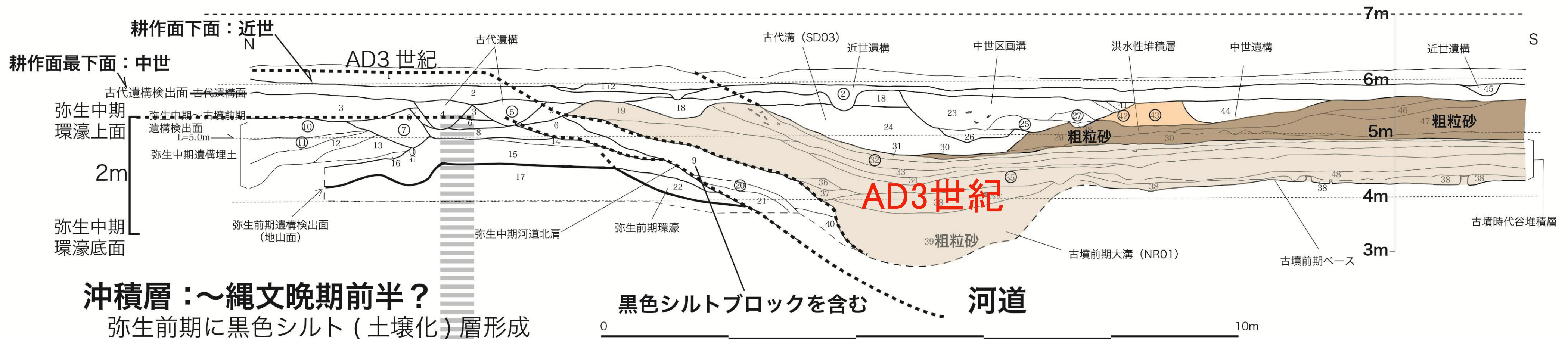
# 八王子遺跡 井泉



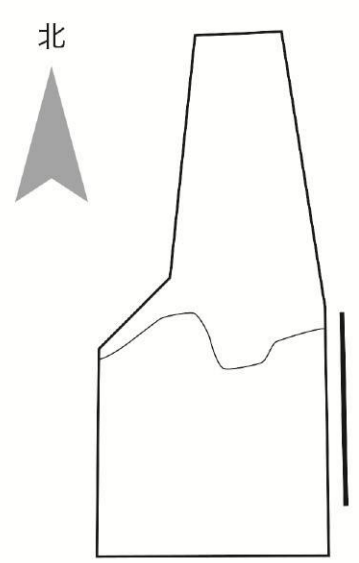
Ba区 NR01・SX05 全景 (B期)



# 八王子遺跡

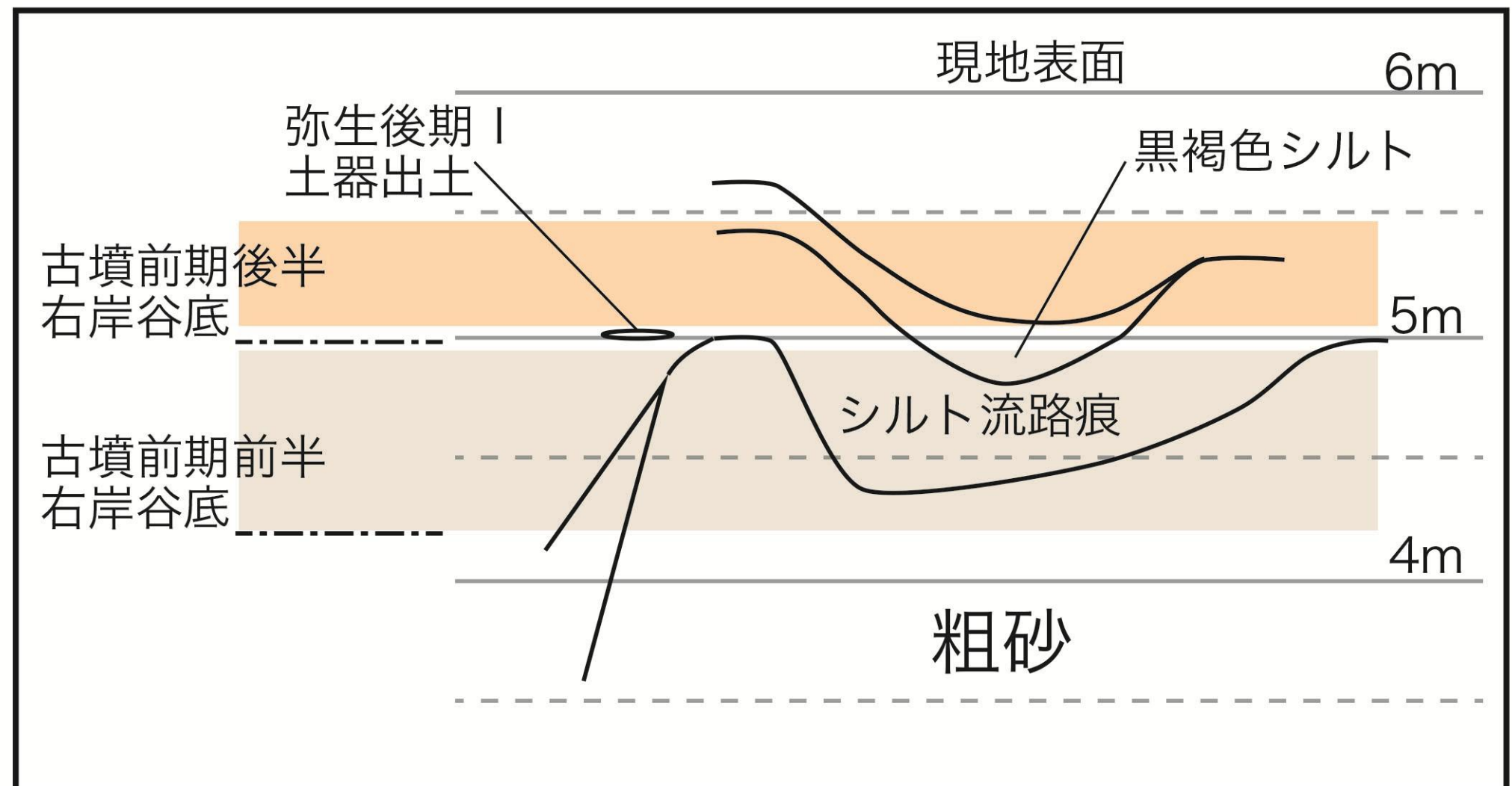


**沖積層：～縄文晩期前半？**  
 弥生前期に黑色シルト(土壤化)層形成



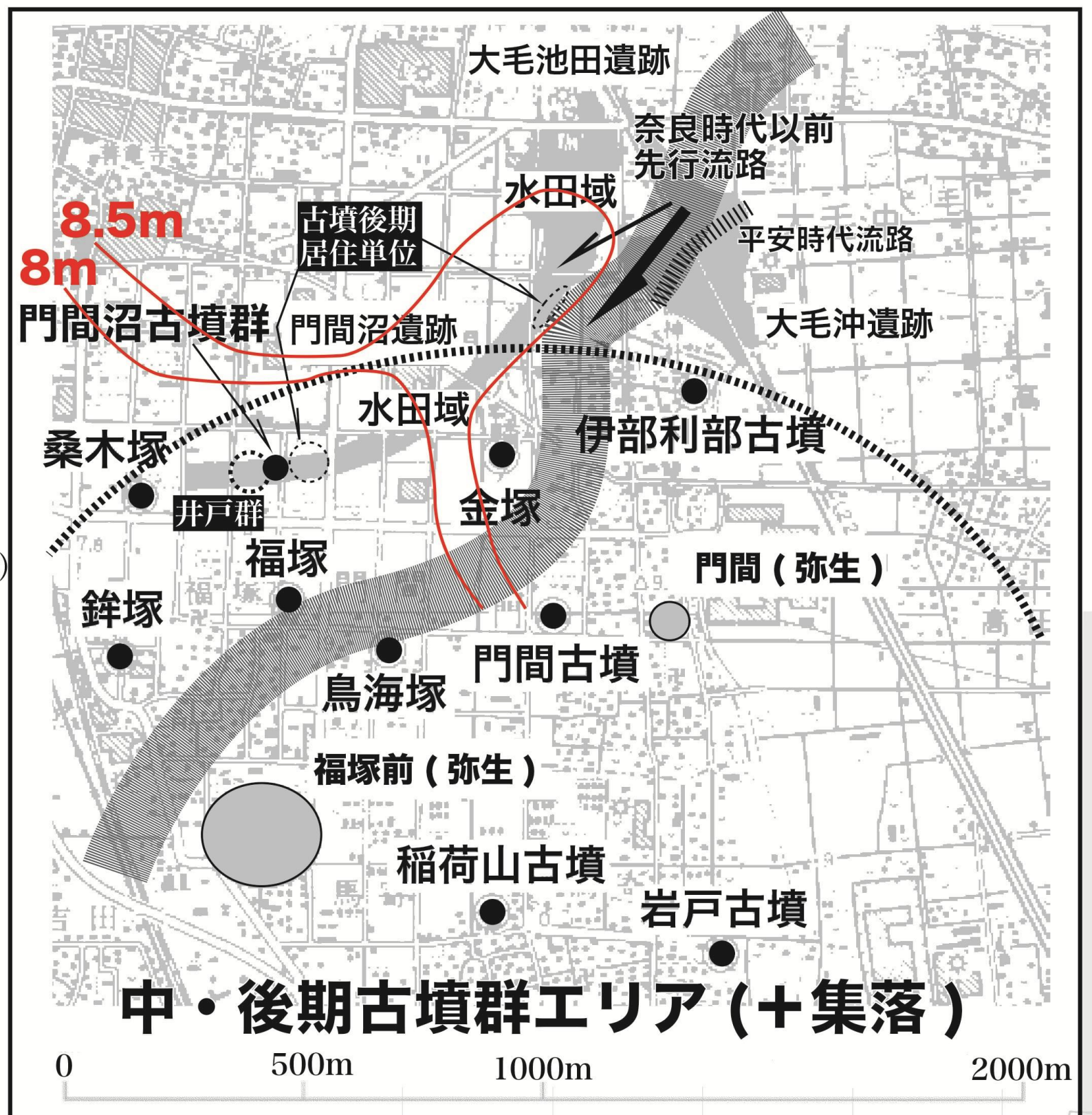
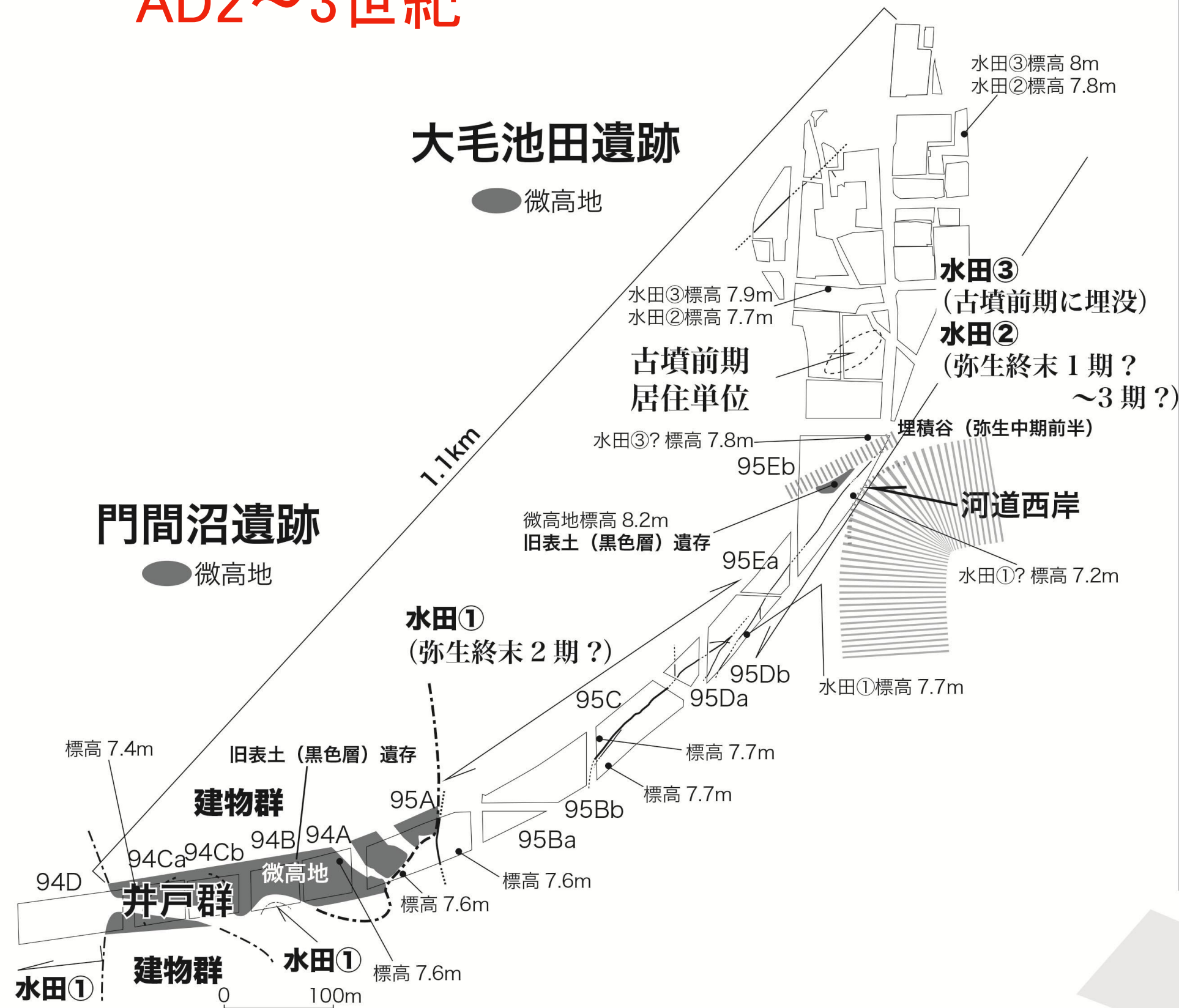
□ 有機分の多い堆積層

- 1. 2.5Y4/2 シルト
- ② 10YR4/2 シルト (マンガン少量含有)
- 3. 2.5Y5/4 シルト質粘土に2層をダマ状に含む (マンガン多量に含有)
- 4. 2.5Y4/2 砂質シルト (マンガン少量含有 炭やや混入)
- ⑤ 10YR4/2 粘土質シルト (マンガン少量含有 炭やや混入)
- 6. 2.5Y5/2 砂質シルト (マンガンやや含む)
- ⑦ 10YR4/3 シルト (マンガン多量に含有 炭やや混入)
- 8. 5Y3/2 シルト質細粒砂 (鉄斑含有 植物遺存)
- 9. 2.5Y5/2 シルトに黑色シルトをブロック状に含む (マンガン多量に含有 鉄斑含有)
- ⑩ 10YR5/2 シルト質粘土 (鉄斑含有)
- ⑪ 10YR4/2 粘土質シルト (マンガン少量含有 鉄斑含有 植物遺存)
- 12. 2.5Y4/3 シルト (鉄斑含有)
- 13. 2.5Y5/3 粘土質シルト (鉄斑含有 炭やや混入)
- 14. 2.5Y3/2 シルト (マンガンやや含有 炭多量に混入)
- 15. 2.5Y4/2 細粒砂 (鉄斑含有 植物遺存)
- ⑬ 5Y3/1 細粒砂 (鉄斑含有 炭やや混入)
- 17. 5Y5/2 細粒砂
- 18. 2.5Y4/2 砂質シルトに19層をダマ状に含む
- 19. 2.5Y5/3 粘土質シルト (マンガン少量含有 鉄斑含有)
- ⑭ 10YR3/1 シルト質細粒砂 (炭多量に混入)
- ⑮ 5Y3/1 細粒砂 (炭少量混入)
- 22. 7.5Y4/1 細粒砂：SD29(弥生前期環濠)
- 23. 2.5Y4/2 粘土質シルト (マンガン多量に含有)
- 24. 2.5Y4/4 中粒砂 (マンガン僅かに含有 鉄斑含有)：SD03(古代溝)
- ⑯ 10YR2/2 シルト質粘土 (マンガン少量含有 炭やや混入)
- 26. 2.5Y4/3 粘土 (マンガン少量含有 炭やや混入)
- ⑰ 10YR4/2 砂質シルト (マンガン少量含有)
- ⑱ 10YR4/1 粘土質シルト (マンガン少量含有 炭僅かに混入)
- 29. 2.5Y4/2 粗粒砂
- 30. 2.5Y4/2 細粒砂) 洪水層
- 31. 2.5Y5/2 粘土 (鉄斑含有)
- ⑳ 5Y2/1 粘土 (炭多量に混入 植物遺存)
- 33. 2.5Y5/1 粘土 (炭やや混入 鉄斑含有 植物遺存)
- 34. 2.5Y3/1 粘土質シルト (炭多量に混入 植物遺存)
- ㉑ 5Y3/1 シルト質粘土 (炭やや混入 植物遺存)
- 36. 5Y4/2 細粒砂 (鉄斑僅かに含有)
- 37. 5Y4/1 シルト質細粒砂 (炭やや混入)
- 38. 5Y4/1 細粒砂に39層をマーブル状に含む (植物 木器等遺存)：NR01-3層(下層)
- 39. 5Y5/1 粗粒砂
- 40. 5Y4/2 極細粒砂
- 41. 2.5Y4/2 シルト (マンガン多量に含有)
- ㉒ 10YR4/2 砂質シルト (マンガン多量に含有)
- ㉓ 10YR4/2 粘土質シルト (マンガンやや含有 炭やや混入)
- 44. 2.5Y4/2 粘土質シルト
- 45. 2.5Y4/2 シルト質細粒砂 (マンガン少量含有)
- 46. 2.5Y4/3 砂質シルトに29層をブロック状に含む) 洪水層
- 47. 2.5Y4/3 粗粒砂 (鉄斑含有)

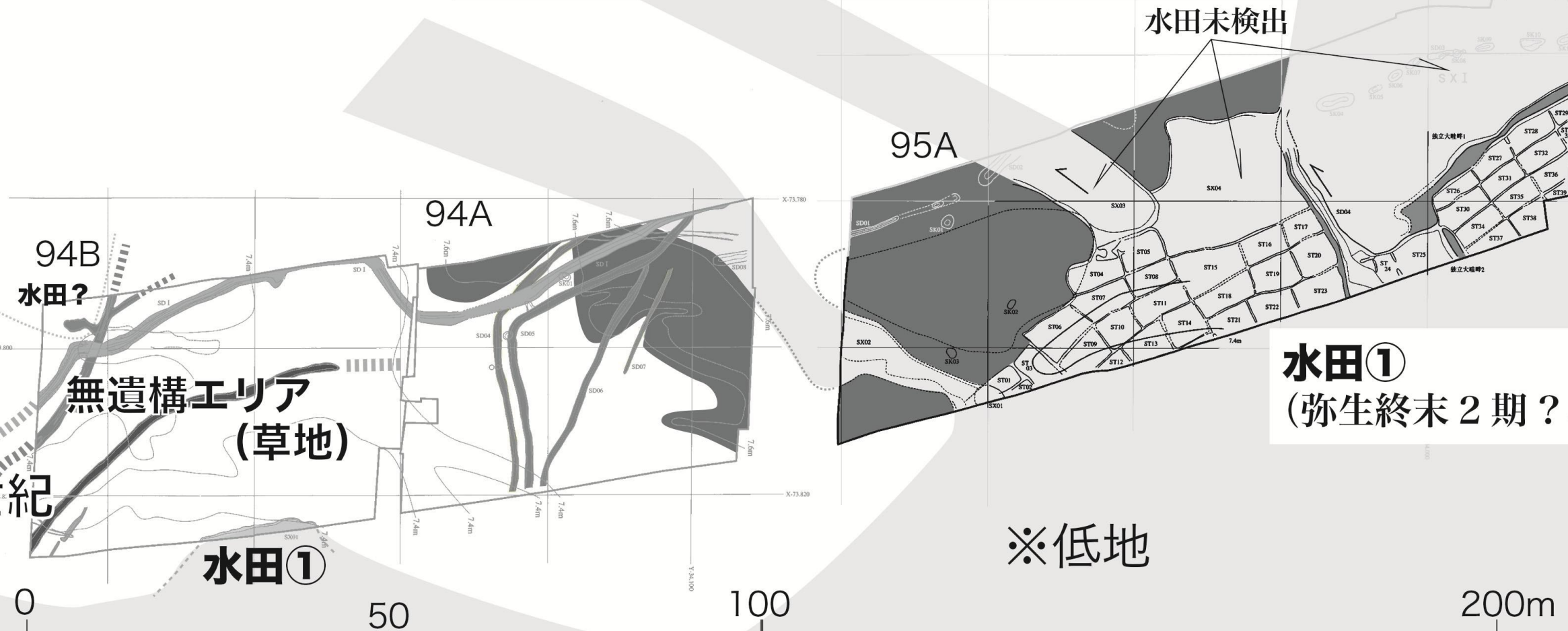
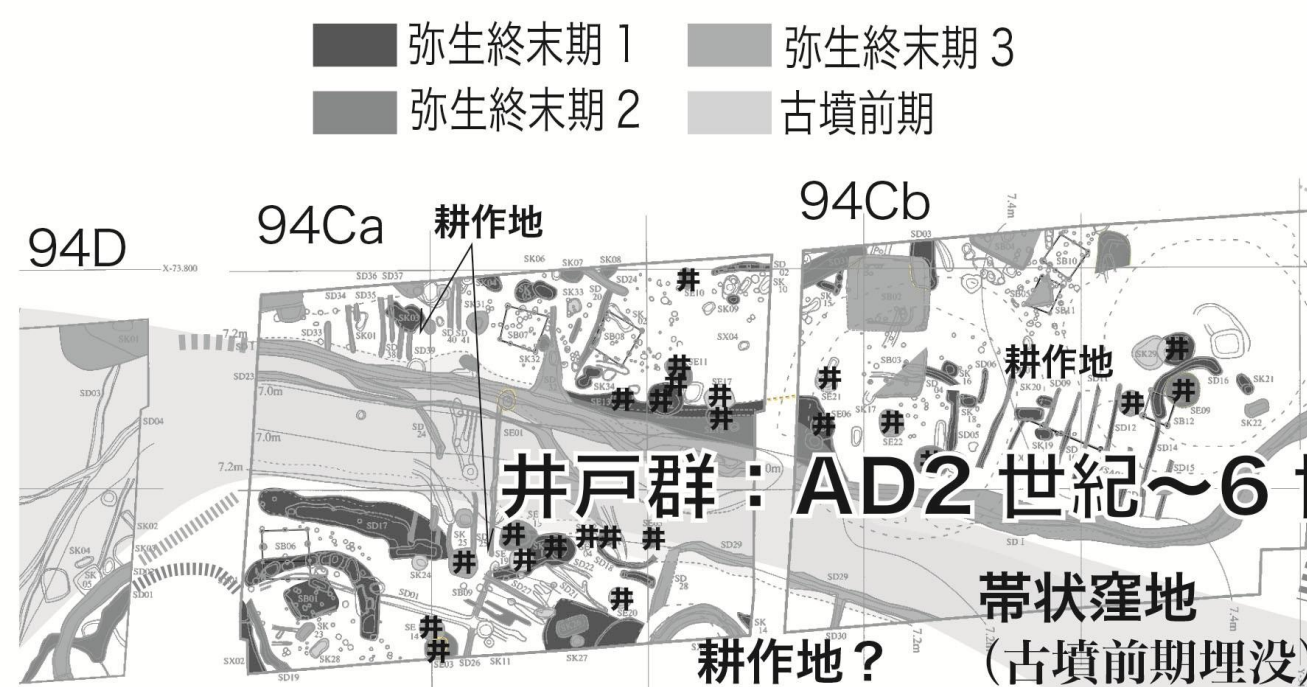


# 一宮市門間沼遺跡

AD2~3世紀



弥生終末 3期掘削 古墳前期埋没  
 弥生終末 3期掘削 ※複数回の改修後、松河戸Ⅱ式以降に埋没



周溝建物? 群: ~弥生終末期 2

弥生終末期 1~古墳前期集落

流れの方向

# 弧帯文

AD2~3世紀

# 弧帯文参考資料

# 鰐面線刻土器 AD2~3世紀

1段階 (バチ+鍵+直) 旋回  
鳥取県妻木晩田

2段階 荒尾南  
バチ直融合+突起

3段階 5方旋回+単位紋  
荒尾南(手廻り覆部)

西谷  
円圏旋回

中原  
「巴形」孔

荒尾南(市)  
バチ+直(突起部)

荒尾南B1  
鉤形

荒尾南BII  
片側開放ループ

荒尾南B1  
鉤形

Y字形重複

入江内湖

高田

結束部

朝日 1982

対向開放ループ 旋回

並列 開放ループ

根崎 a-b直交配置  
b単位 並列

a単位 旋回

対向開放ループ

対向開放ループ

滋賀県福満

滋賀県岩畑

1 荒尾南・今宿・米野  
2 馬場  
3 南青柳  
4 八王子  
5 朝日・廻間・阿原神門  
6 見晴台  
7 根塚・東上条・宮下  
8 東光寺  
9 納所・里前  
10 琵琶垣内  
11 入江内湖  
12 国友・高田・桜内  
13 舟寄福島通  
14 鐘向  
15 橋梁・矢部南向・上東  
16 百間川原尾島  
17 仙遊  
18 妻木晩田

浮き彫り  
滋賀県下長

馬場

米野 浮き彫り

閉鎖ループ 重複

荒尾南(市)

鈴木元氏案「第192図 裝飾帯にみる原単位(1:8)」

透孔

浮き彫り 彫刻円盤?

※米野を除き、赤線は欠損部分及び消去部分の復元線。薄い赤線は推定線取り案。



組帯紋と鰐面線刻土器

八王子

関連資料出土遺跡  
○後期II(山中式・近畿V様式中頃)  
●弥生終末期(廻間I式) ~ (廻間II式前半)

★: 人(鰐)面表現  
T: 原単位図形関連  
K: 櫛描表現  
原単位図形関連資料の連係

琵琶湖

伊勢湾

三河湾

荒尾南系列(「今宿型」: 設楽博巳19\*\*)

1段階 清須市朝日 大垣市荒尾南1

2段階 大垣市今宿1a 大垣市今宿2a 安城市東上条

3段階 大垣市荒尾南2 一宮市八王子1

4段階 津市納所 大垣市荒尾南(市) 清須市阿原神門

5段階 一宮市八王子B 清須市廻間 安城市宮下

大ききの比較

倉敷市上東

善通寺市仙遊 箱式石椁石材9

安城市亀塚

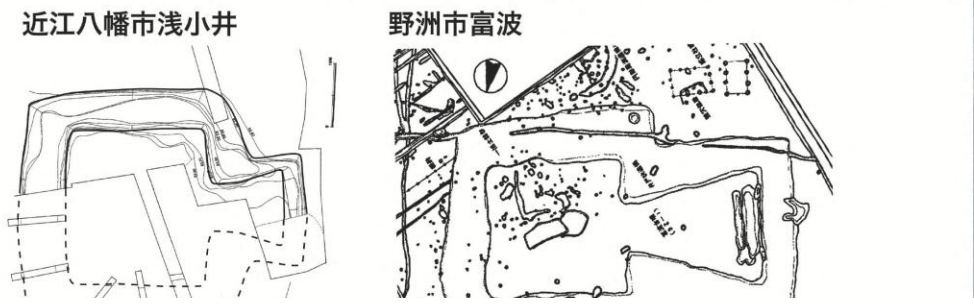
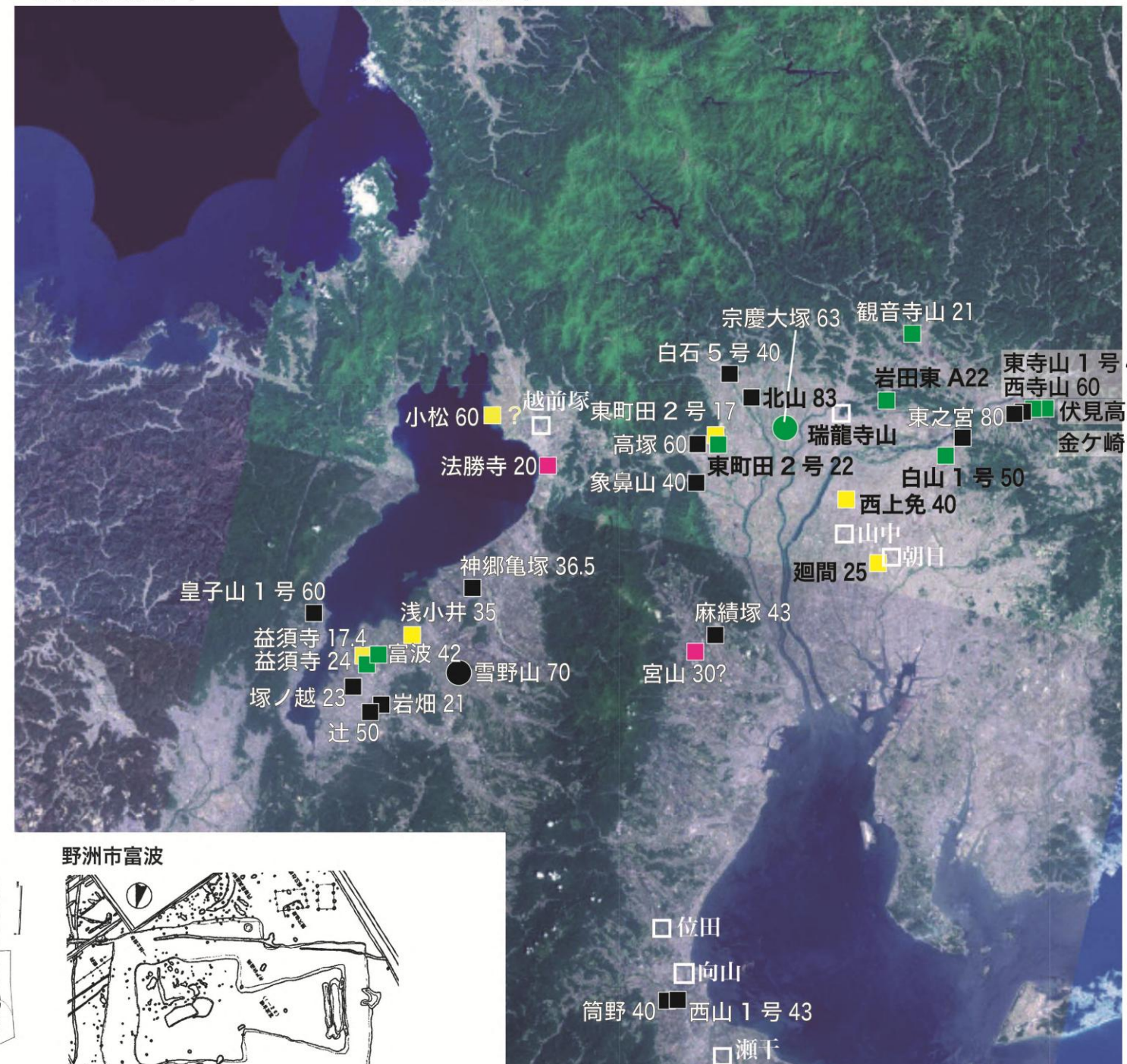
縮尺不同

1/10

# 前方後方形墳墓の分布 AD2~4世紀

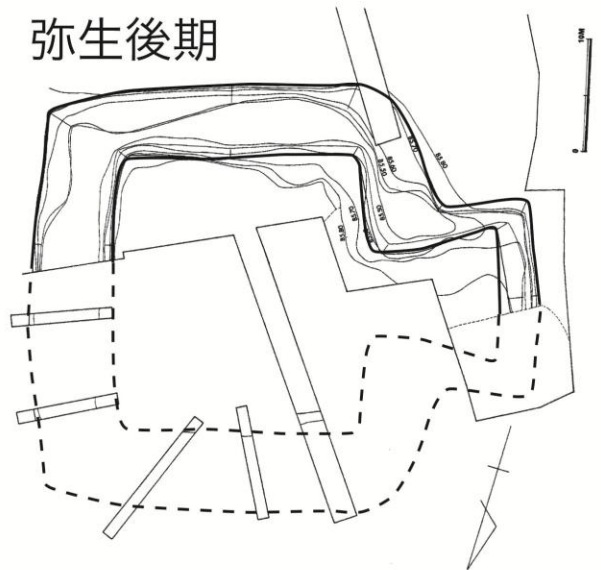
前方後方形 B2-C (20m 超級)

- 弥生後期末から終末期
- 弥生終末期
- 古墳前期初頭
- 古墳前期前半
- 前方後円形
- 古墳前期初頭
- 古墳前期前半

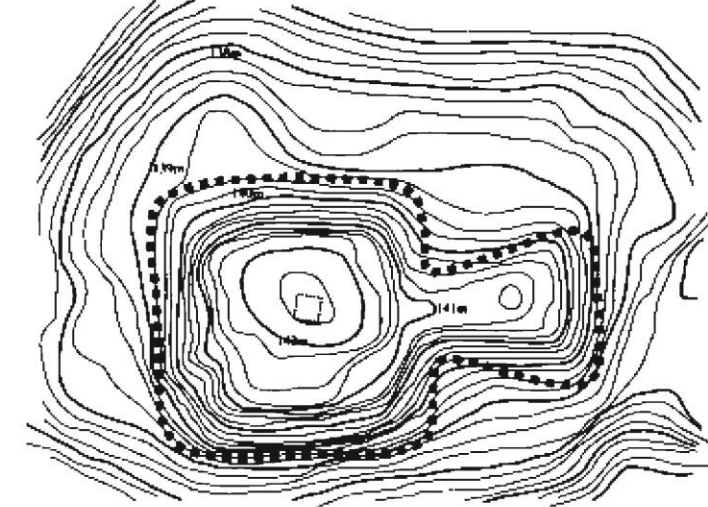


# 各地の前方後方墓・墳 AD2~4世紀

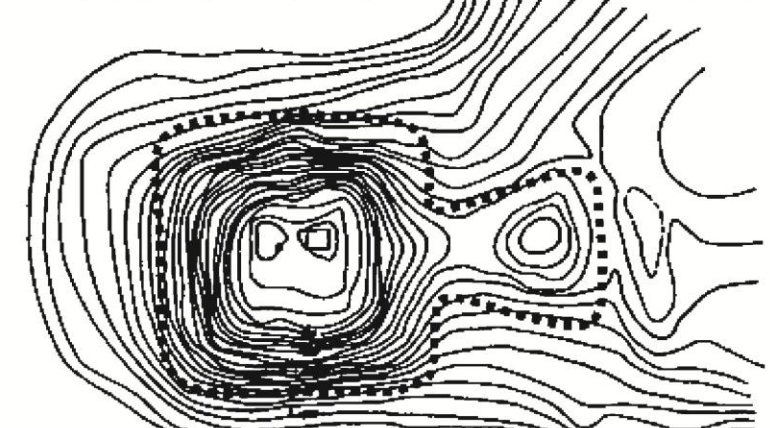
滋賀県近江八幡市浅小井墓



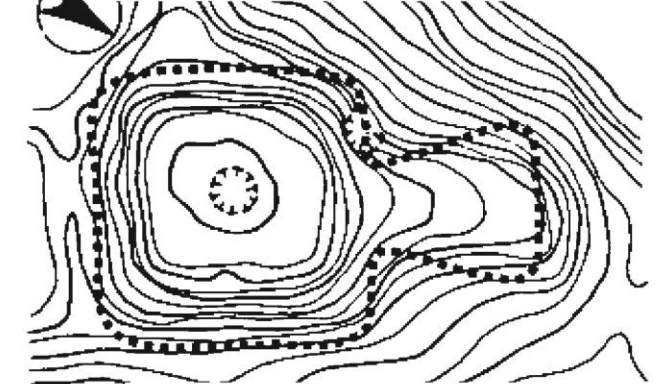
岐阜県養老町象鼻山 1号墳



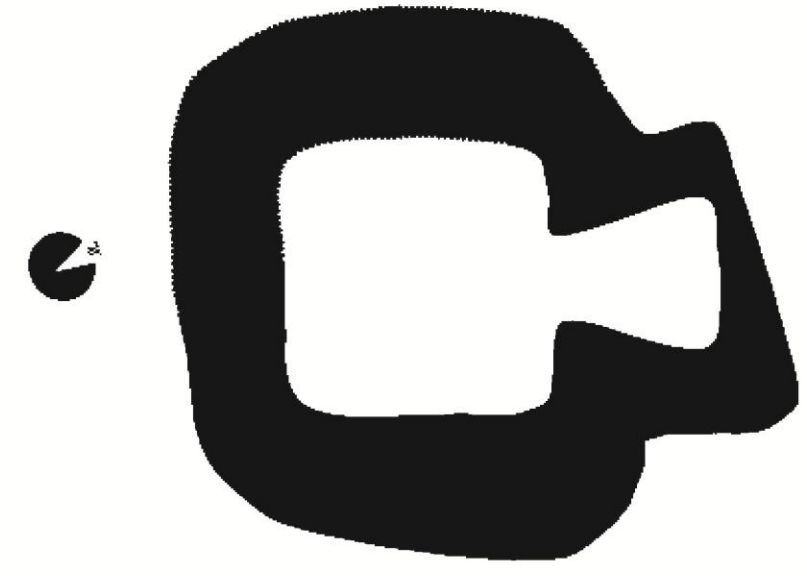
岐阜県可児市伏見高倉山古墳



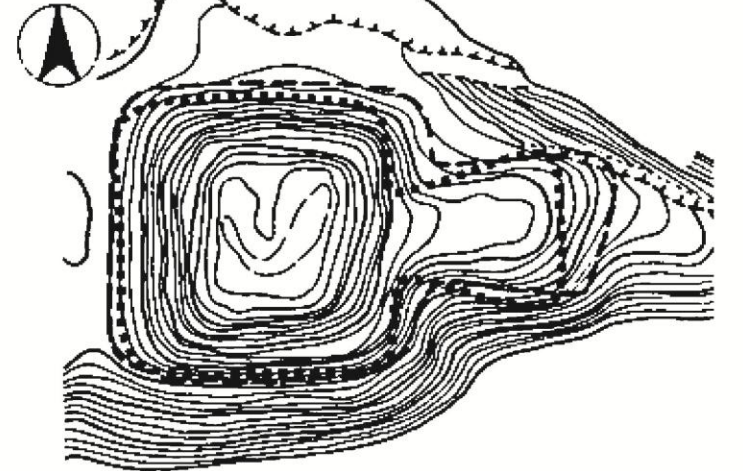
三重県松阪市西山 1号墳



愛知県一宮市西上免 1号墓

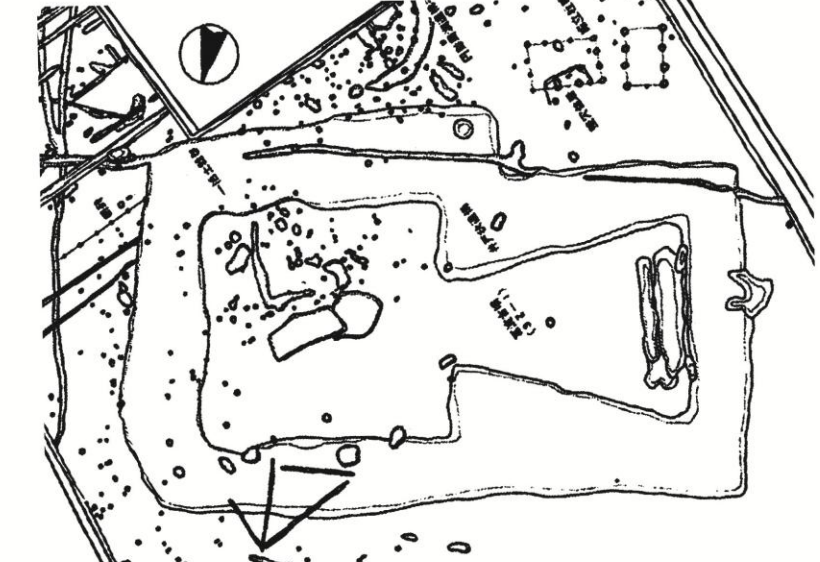


三重県松阪市筒野 1号墳



※三角縁神獸鏡 2面

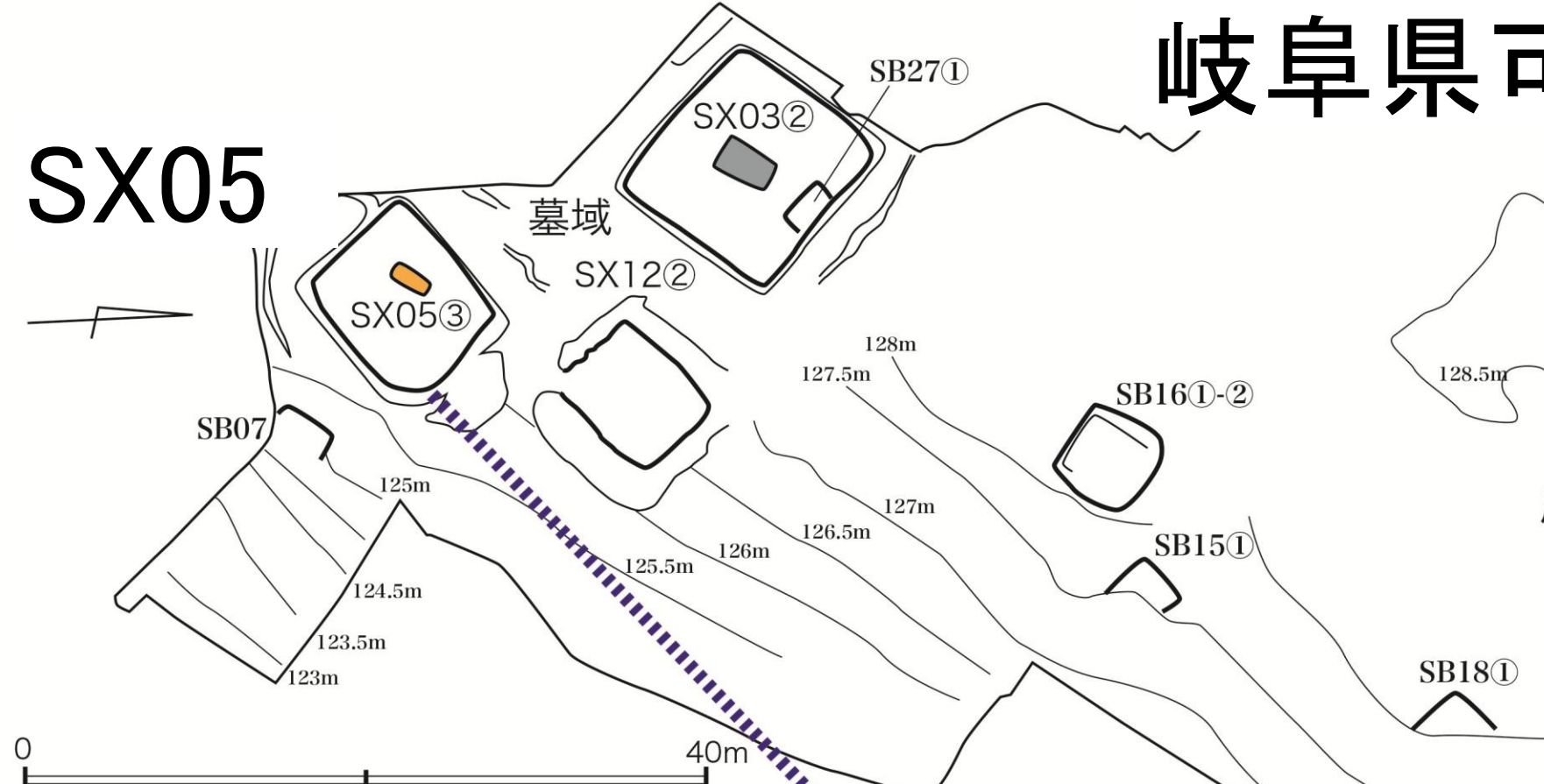
滋賀県野洲市富波古墳



# 岐阜県可児市金ヶ崎遺跡

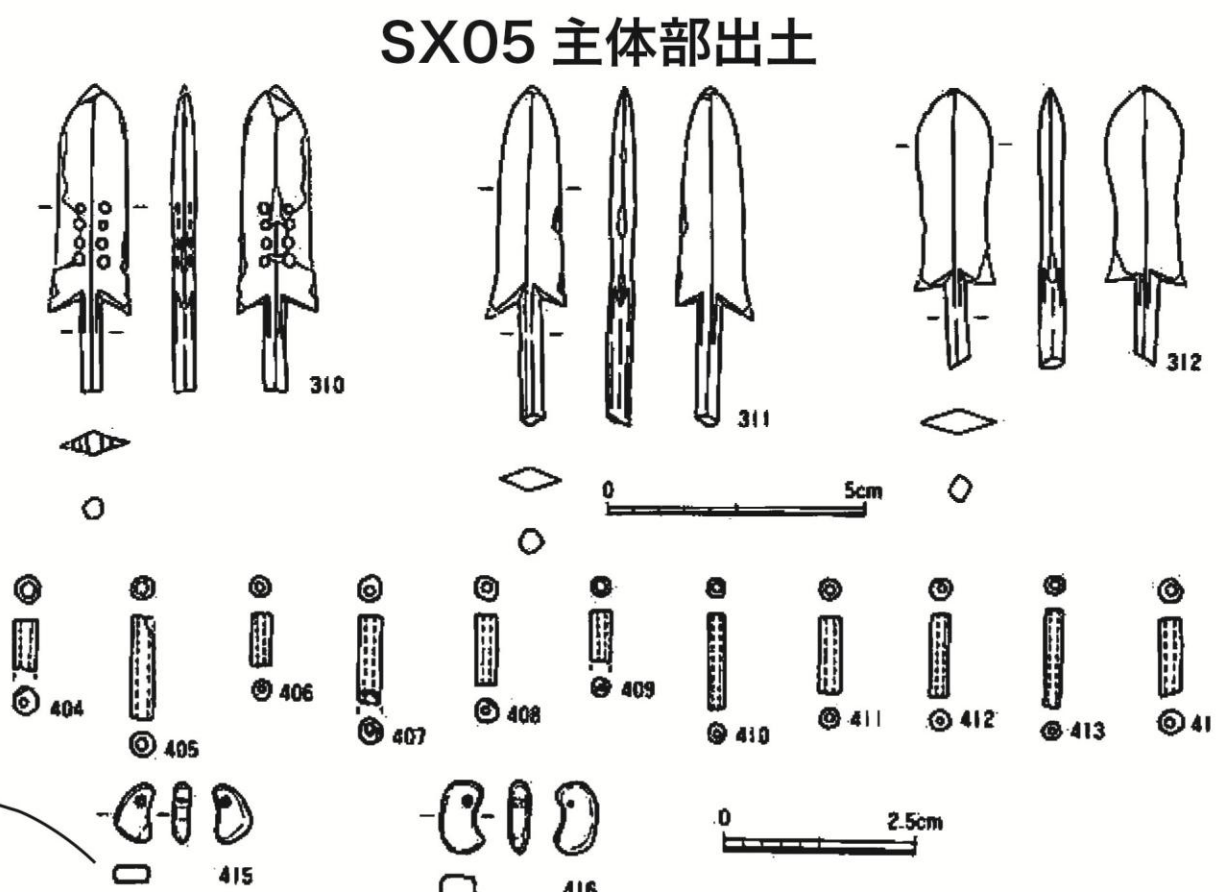
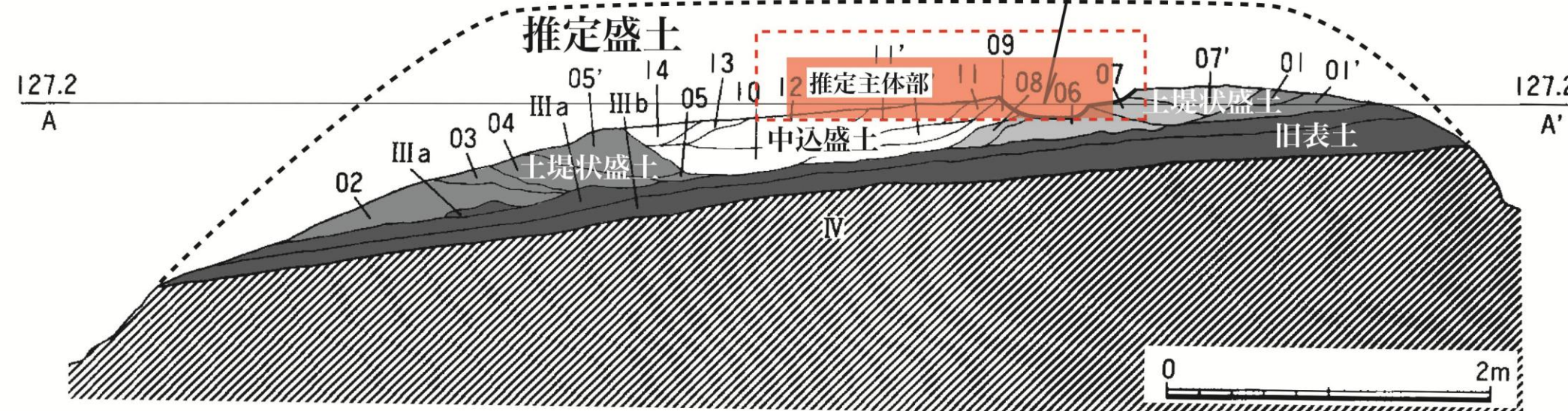
AD3世紀

SX05

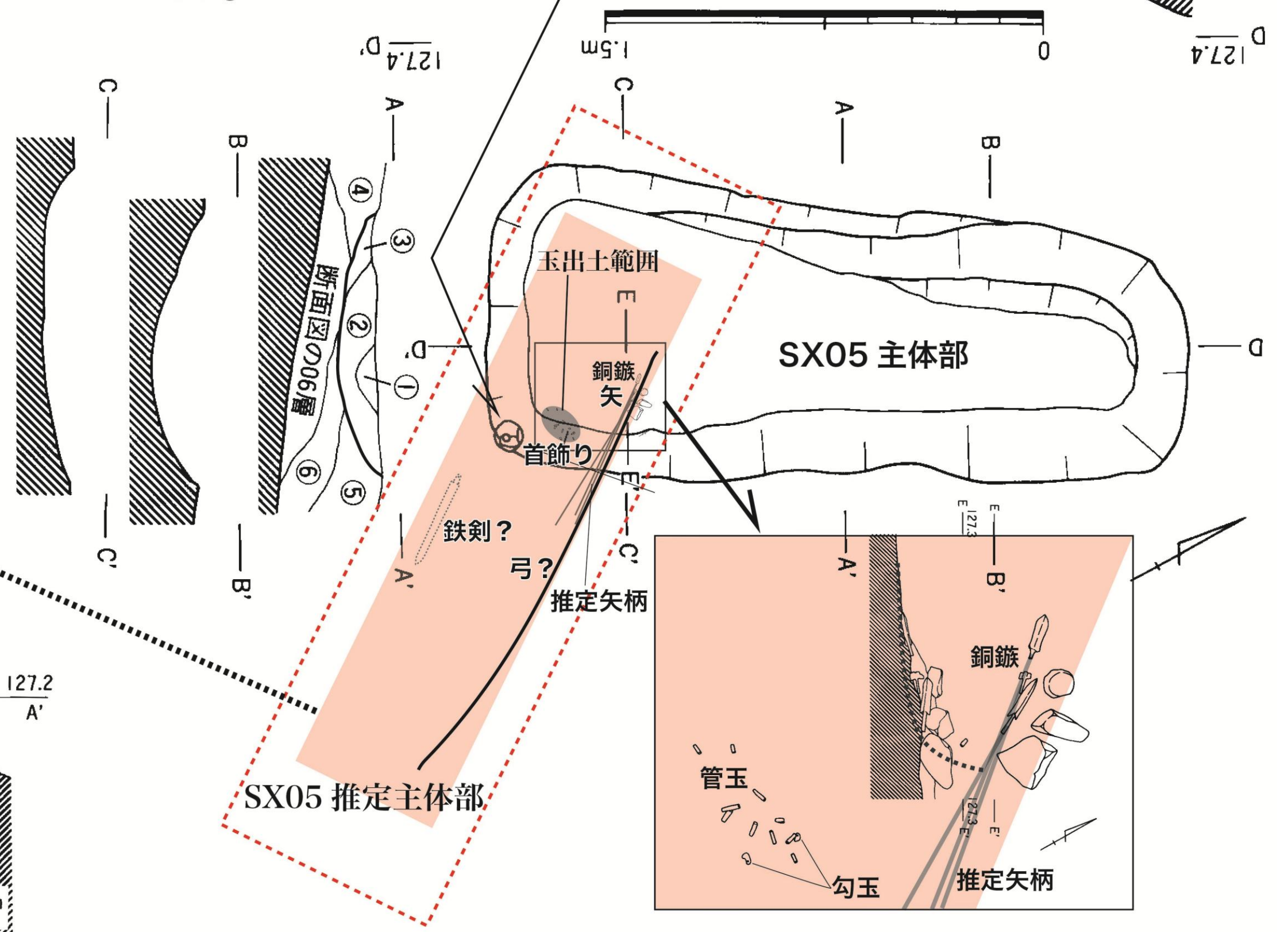
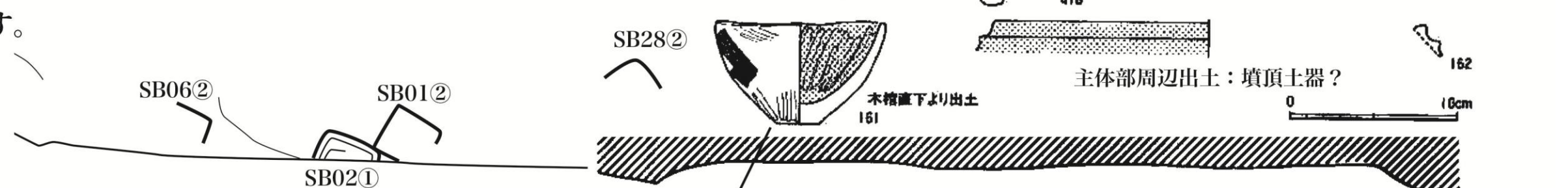


※遺構名に続く丸数字は時期区分を示す。

- ① 弥生終末期 1 前半
- ② 弥生終末期 1 後半
- ③ 弥生終末期 2 前半



SX05 主体部出土



SX05 推定主体部

# 前方後方形墓の成立地・中心地

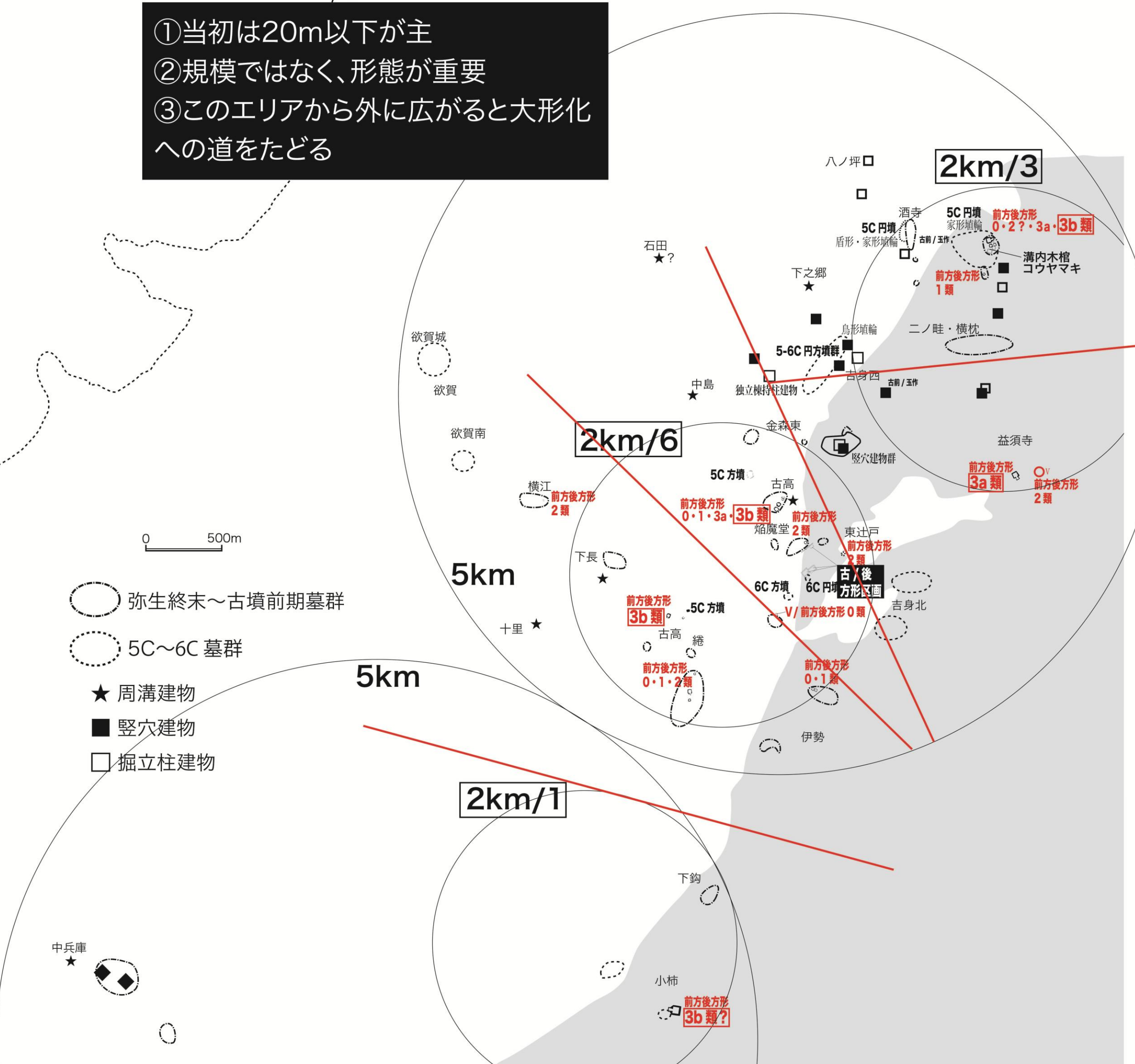
野洲川下流左岸域

AD2~3世紀

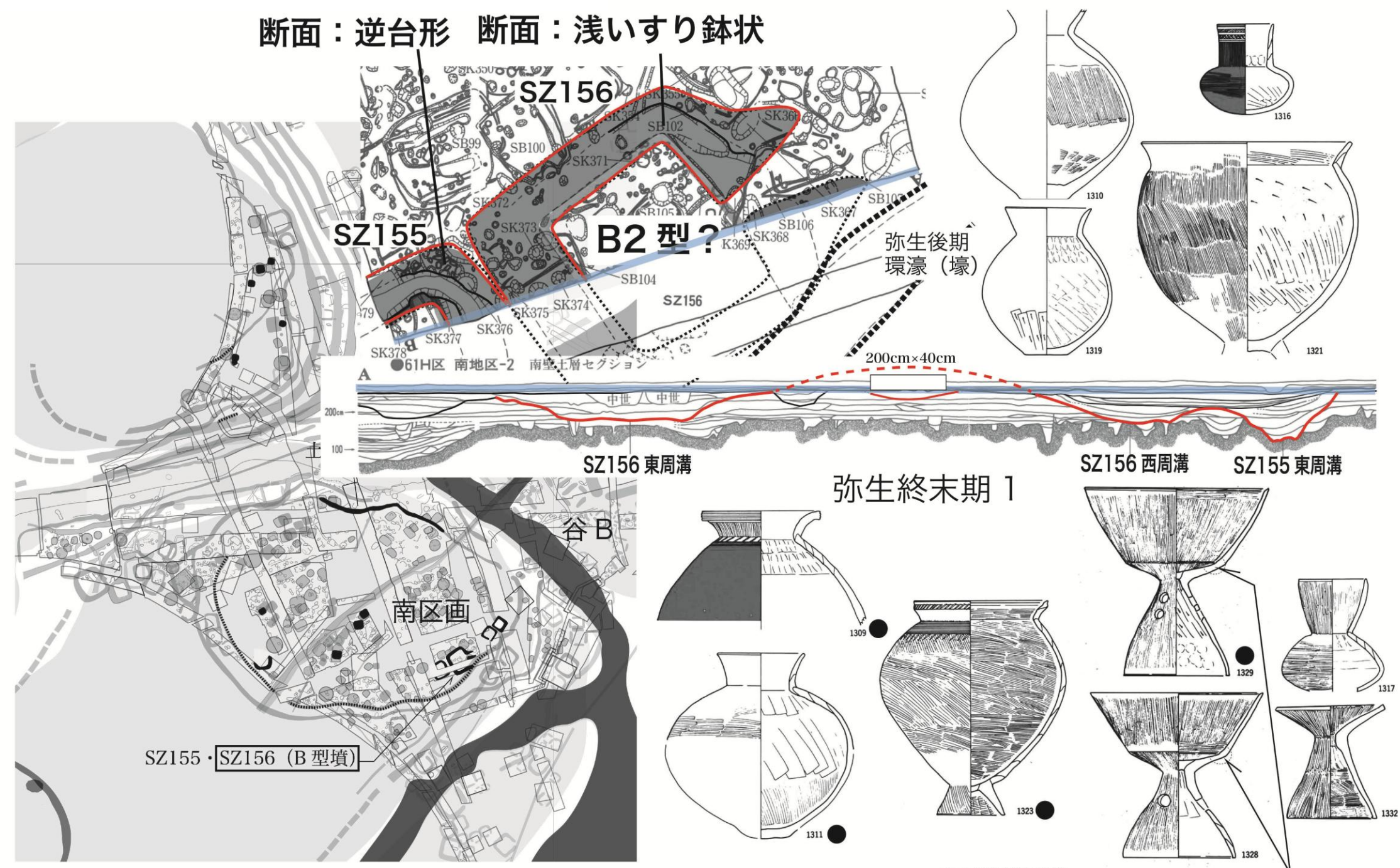
## 前方後方形墓分布

※2km圏 / 前方後方形 B2 類以上の数

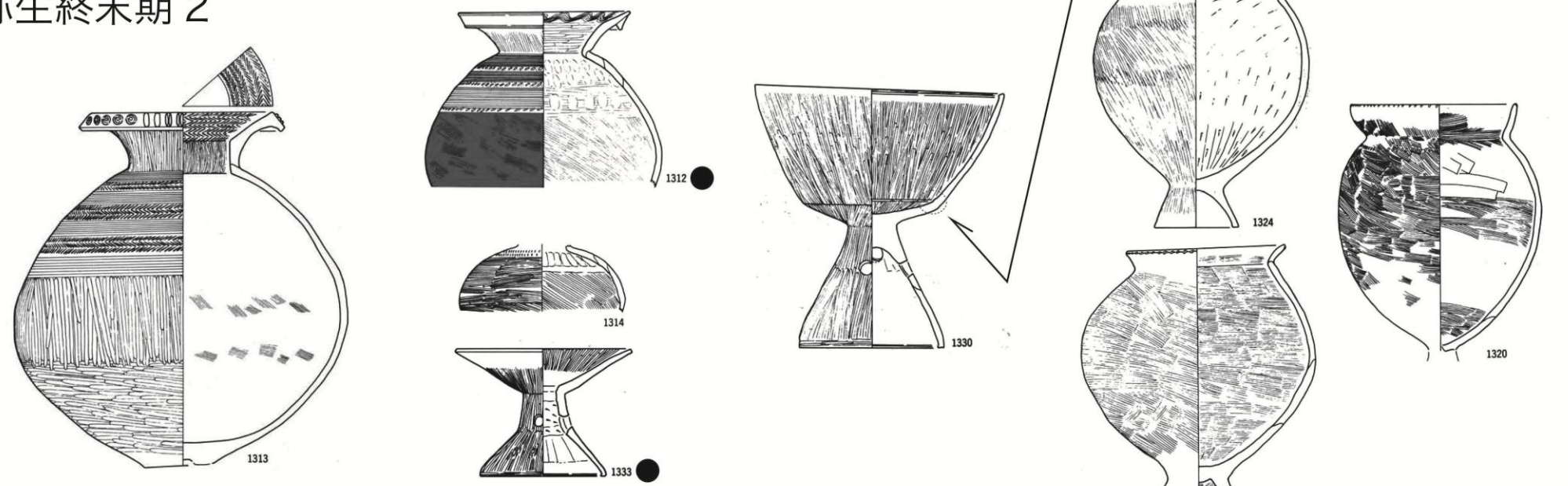
- ①当初は20m以下が主
- ②規模ではなく、形態が重要
- ③このエリアから外に広がると大形化への道をたどる



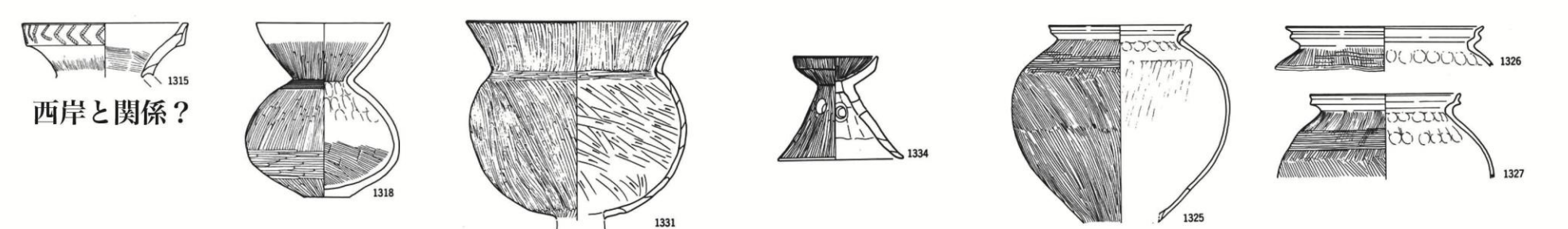
# 朝日遺跡のB形墳 AD2~3世紀



## 弥生終末期 2

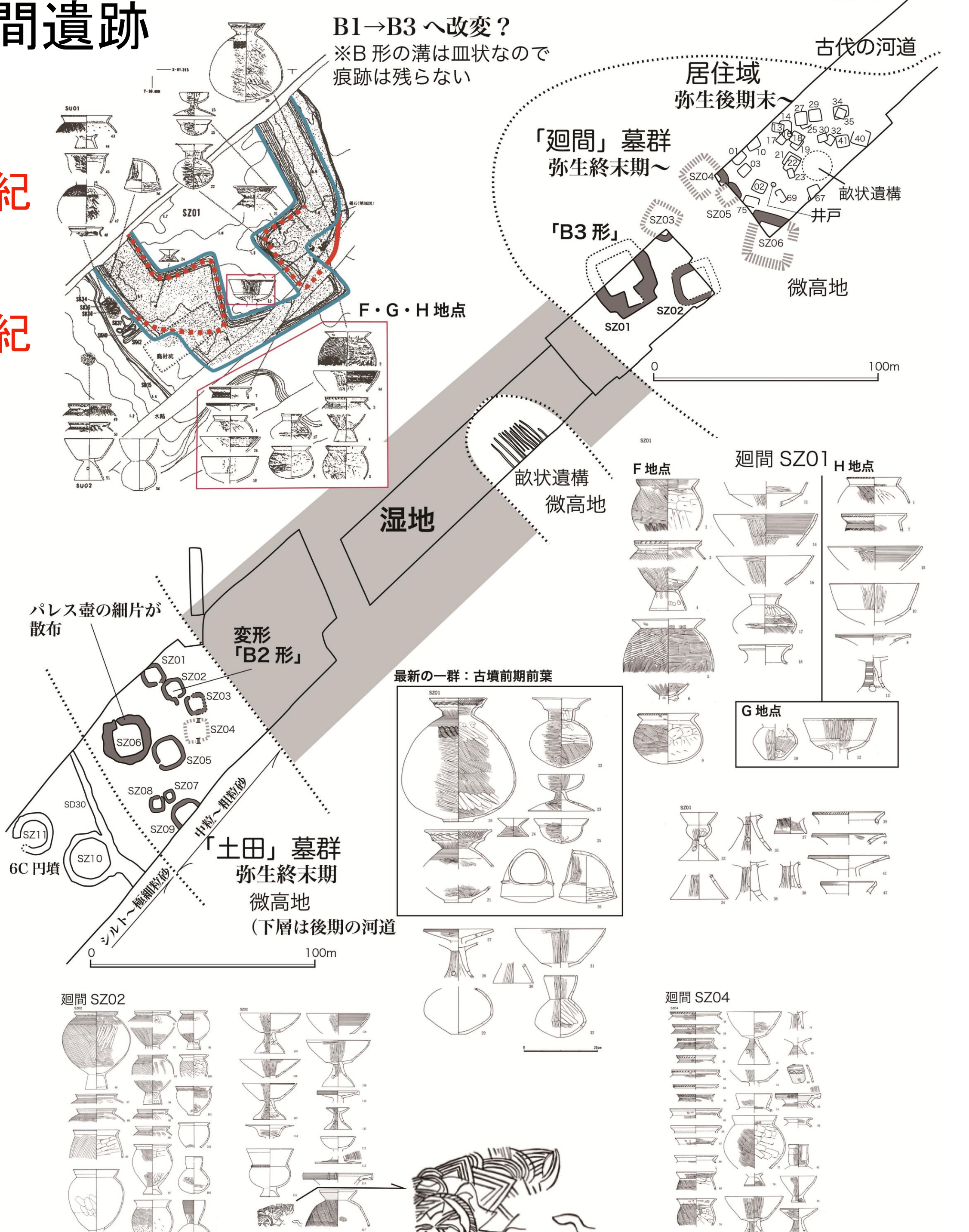


## 弥生終末期 3



# 廻間遺跡

AD2世紀  
↓  
AD3世紀

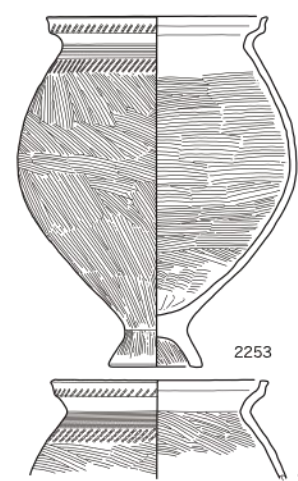


八王子遺跡 SK73 **AD2世紀**

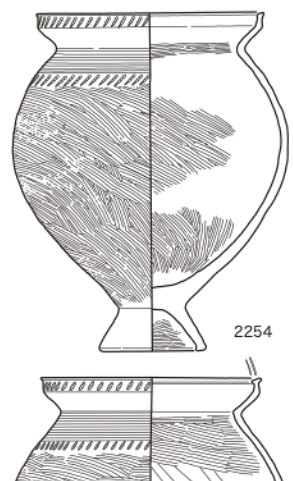
祭儀後の  
廃棄土坑  
出土土器

受口状口縁

刺突文  
クシ

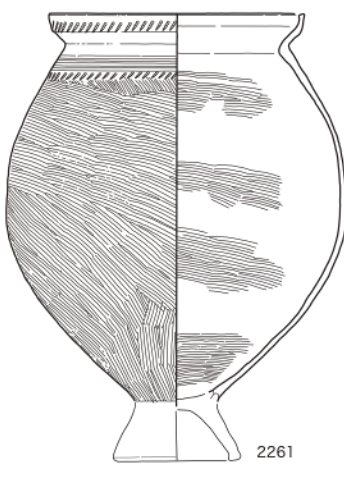


ハケ：長

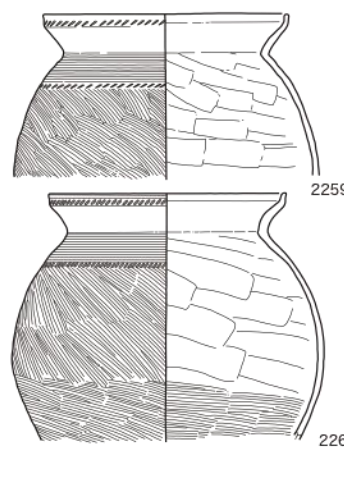


直線+刺突

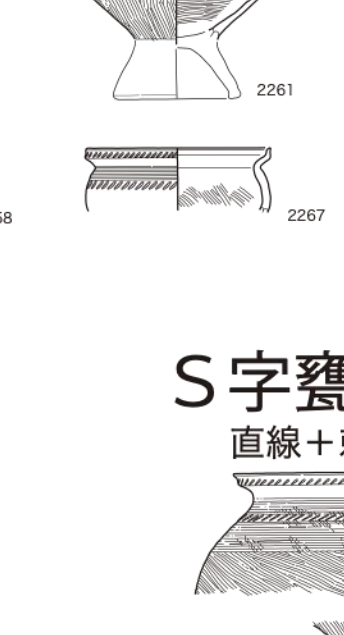
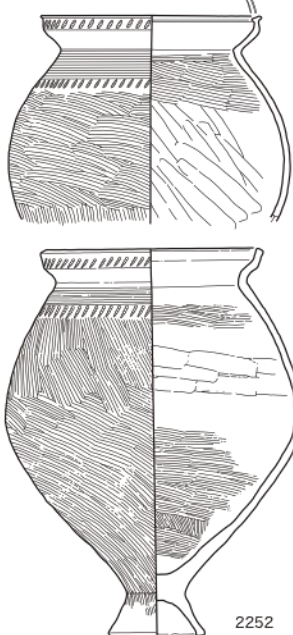
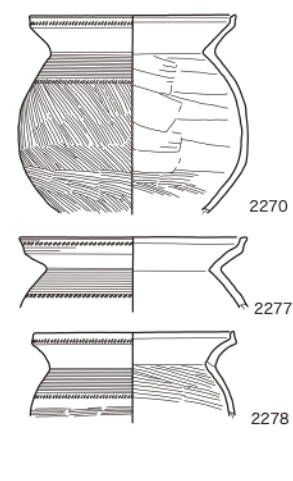
ハケ：中



ハケ：短

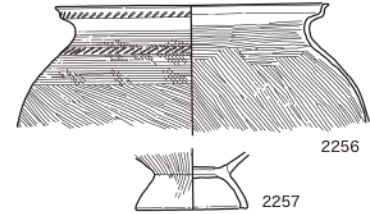


ハケ：極短



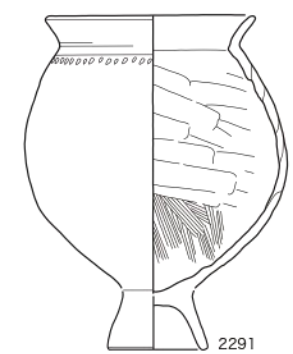
S字甕初期型

直線+刺突×2

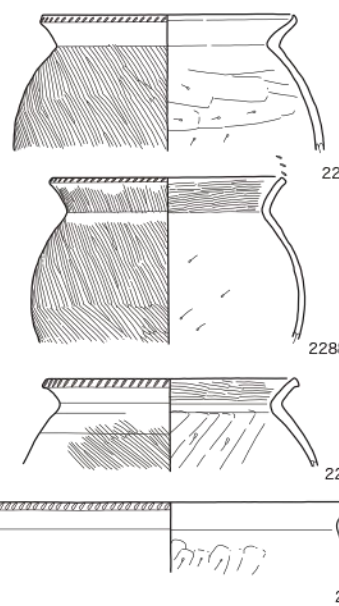


く字状口縁

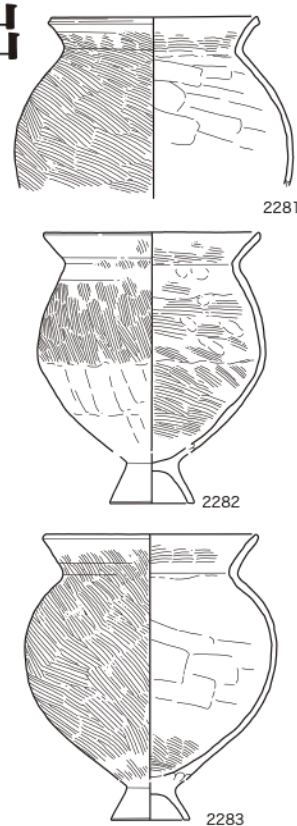
直線+刺突



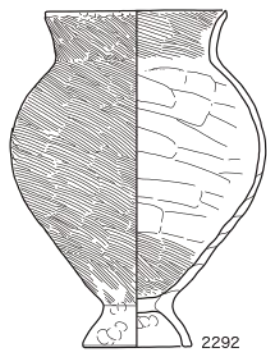
山中式系



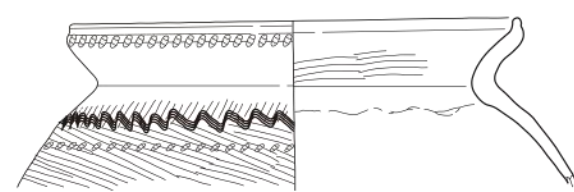
新出



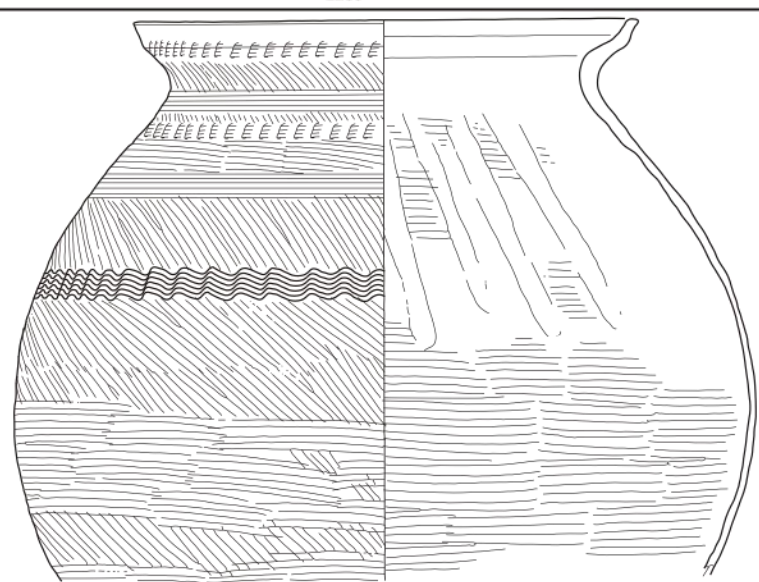
琵琶湖地域北部



直線+刺突以外の文様



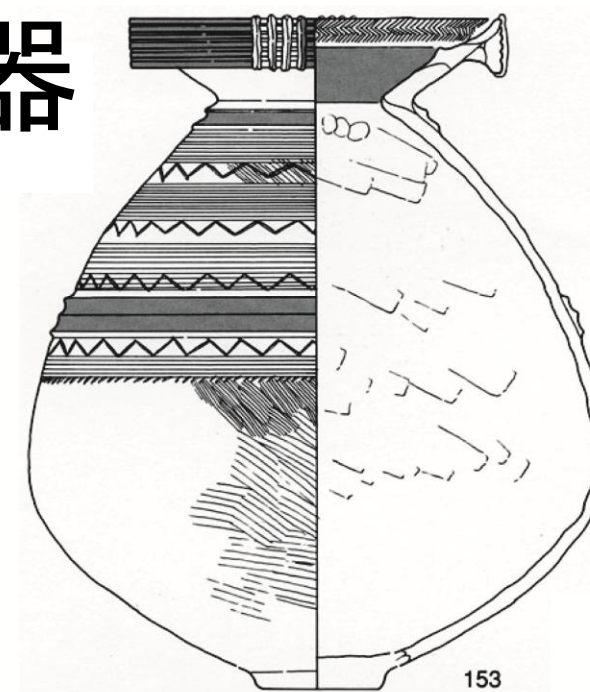
2423



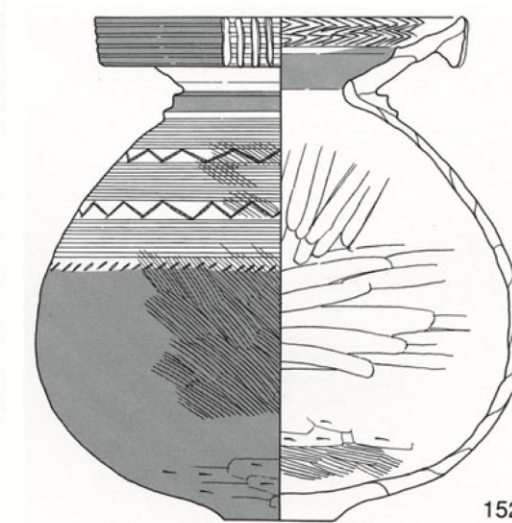
2413

西上免古墳の土器

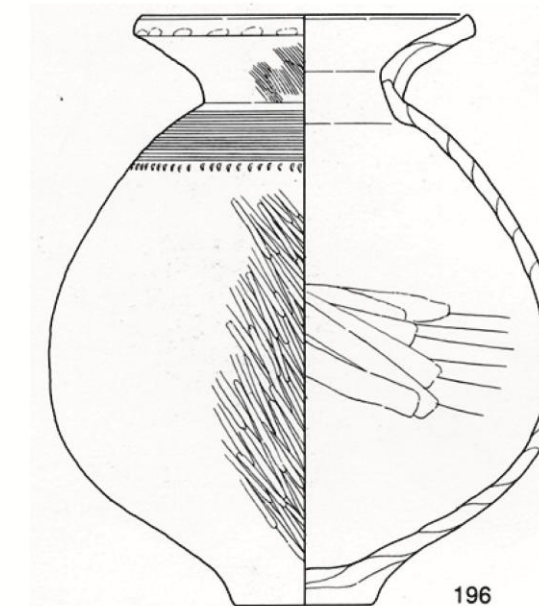
**AD3世紀**



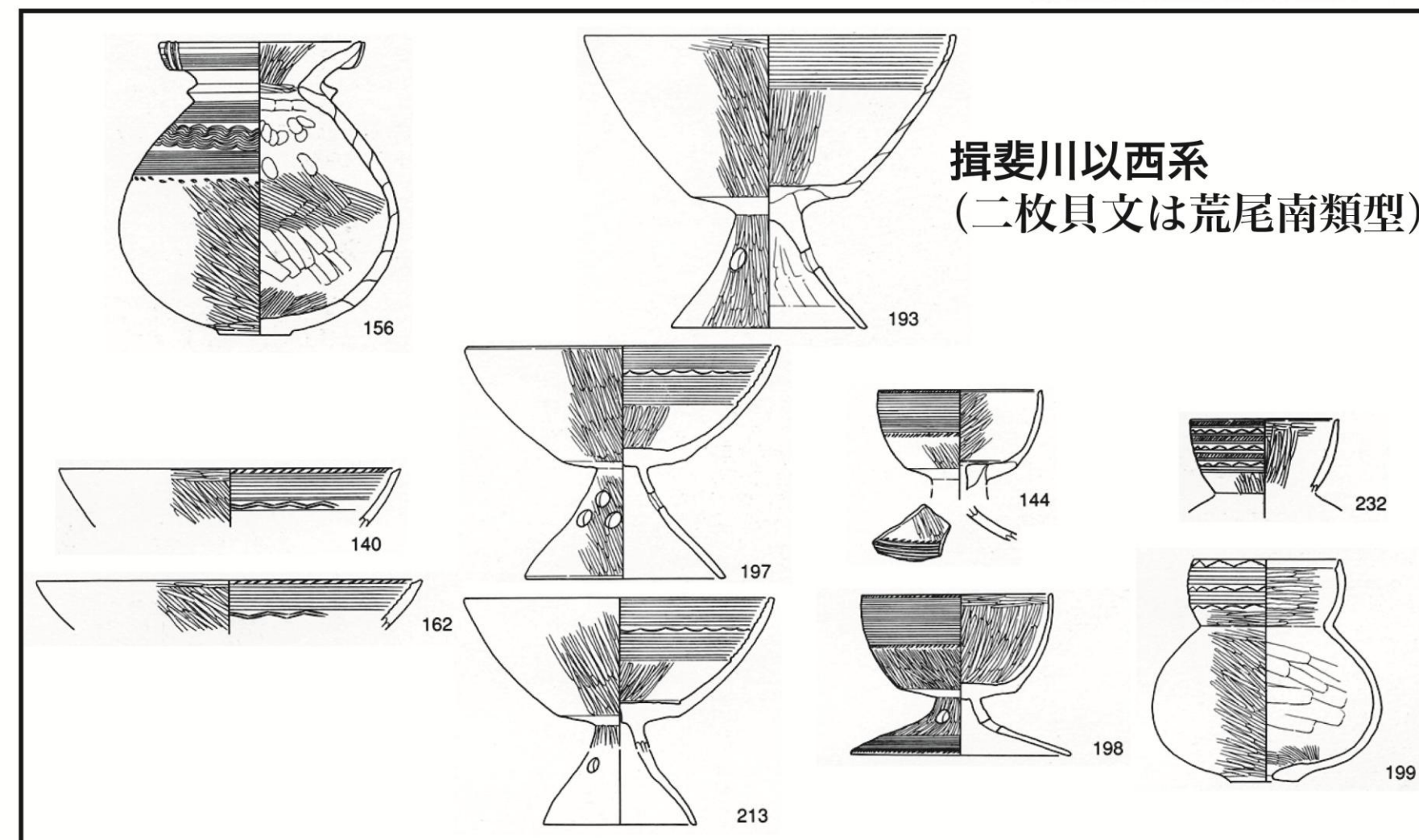
153



152



196



揖斐川以西系  
(二枚貝文は荒尾南類型)

156

193

140

144

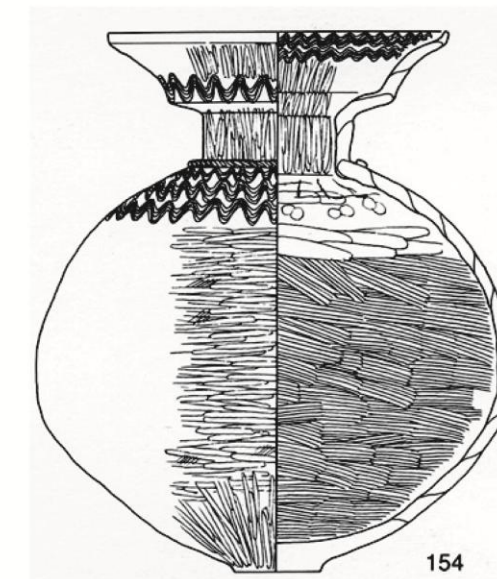
232

162

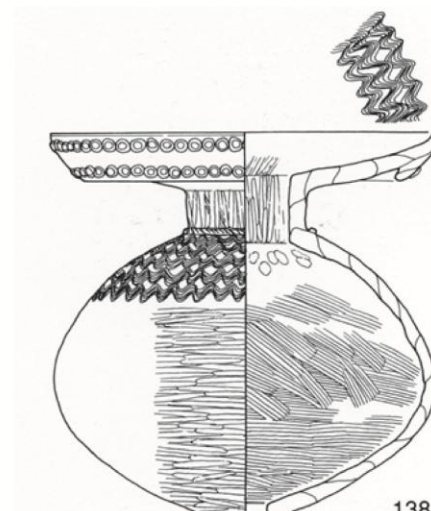
198

199

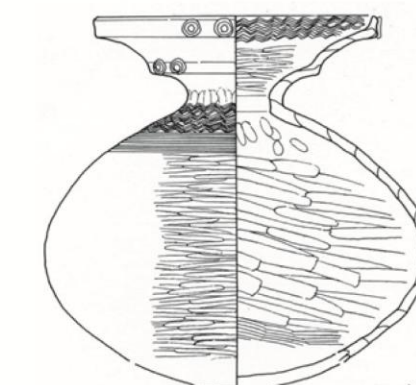
213



154



138

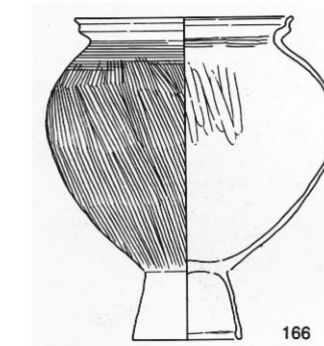


139

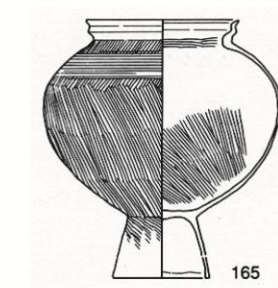
S字甕：くの字？甕  
20以上：1



167



166



165



205

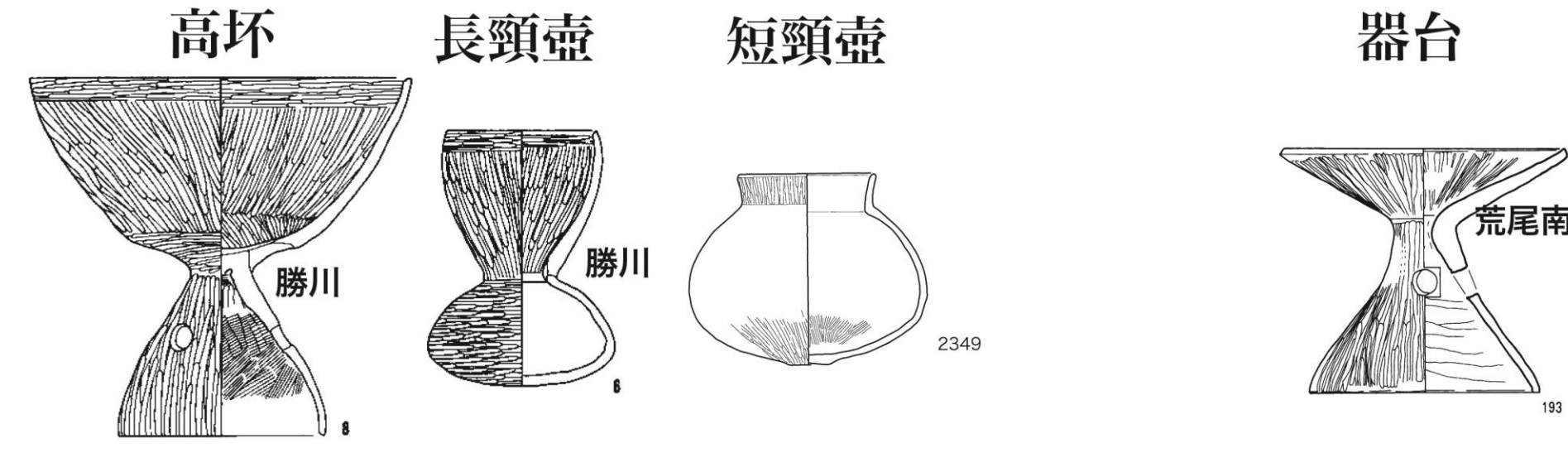
0 25cm

# 大垣市荒尾南類型

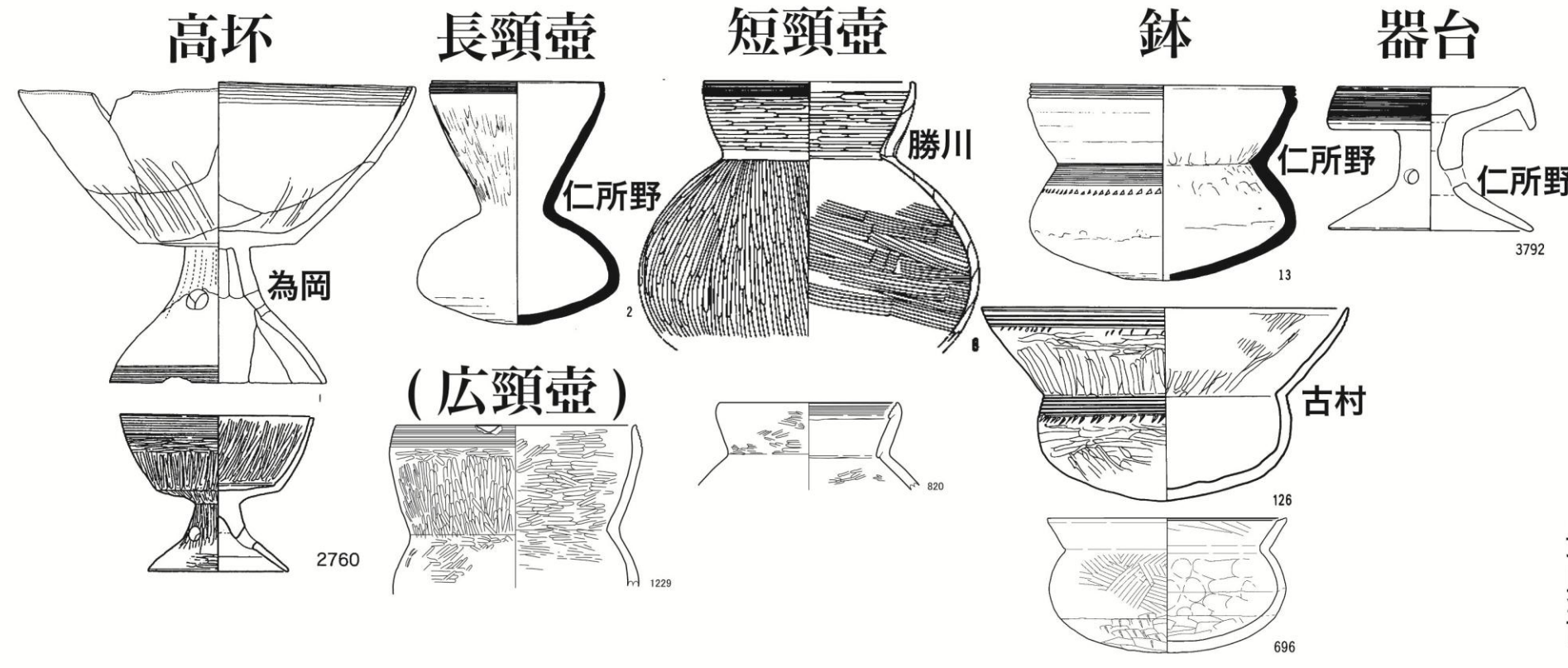
## 土器の様相

AD2世紀

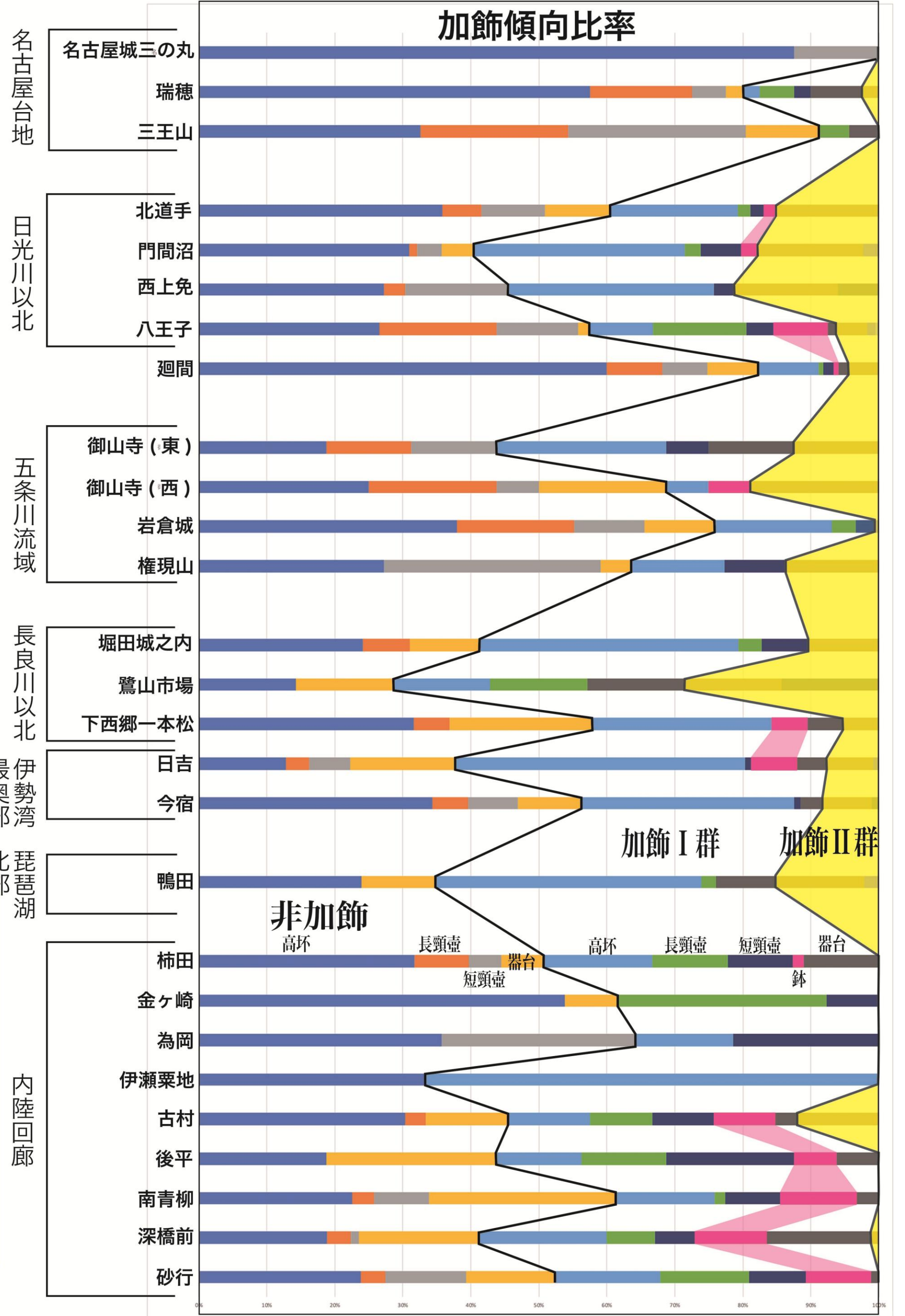
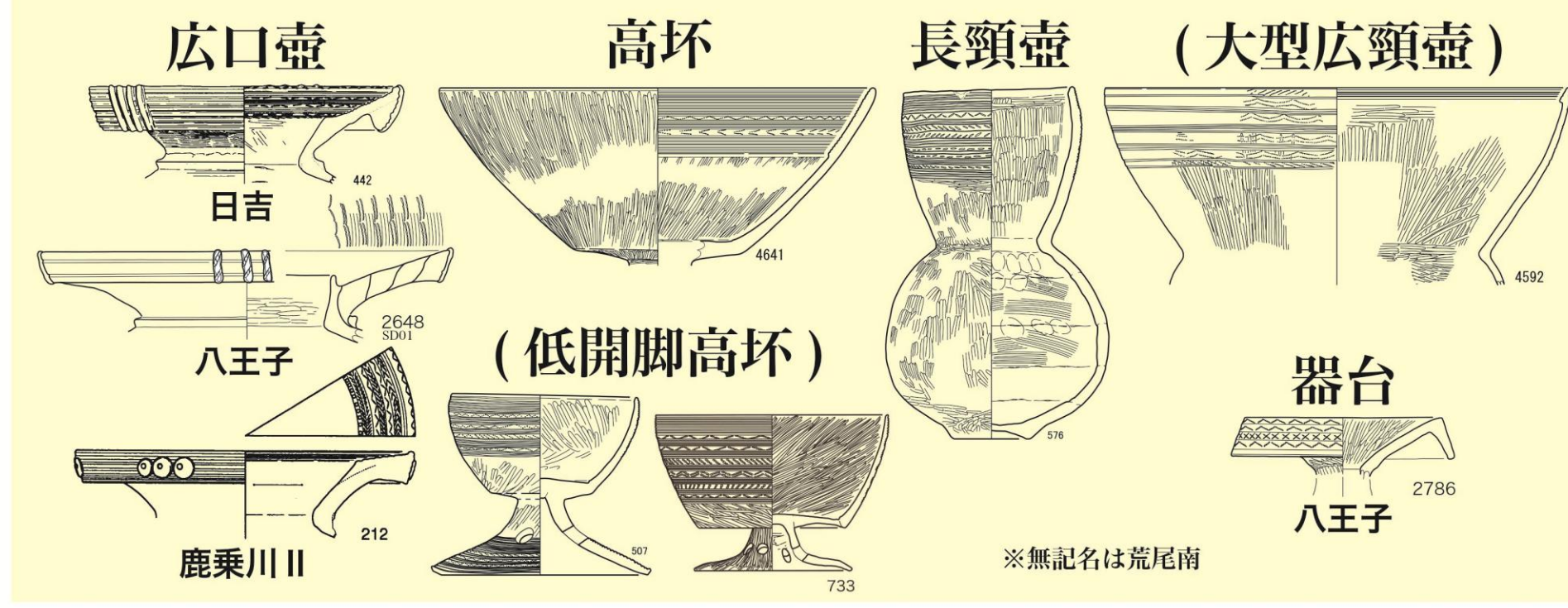
### 非加飾



### 加飾 I 群 端部櫛描文



### 加飾 II 群 荒尾南類型：刺突文多用 二枚貝・櫛



# 地域圏の考え方

AD2~3世紀



琵琶湖  
北東岸域

掛斐川  
下流域

濃尾平野  
北西域

犬山扇状地

伊勢湾  
奥域

伊勢湾  
北岸域

濃尾平野  
南東域

知多半島  
北端域

- 居住地
- ▲ 墓地
- ◇ 不明
- 方形周溝墓群
- 弥生後期
- 弥生終末期
- 弥生終末期前方後方形
- 古墳前期初頭墳墓

改修・前方後方形墓

# 濃尾平野洪水歴

